

平成 29 年 9 月 13 日

行財政改革・大都市制度調査特別委員会

総務部政策法務課

外郭団体への関与について

- 1 外郭団体への関与について 【資料 1】
- 2 新・外郭団体コミットメント（平成 29 年度～平成 31 年度） 【資料 2】
- 3 外郭団体コミットメント（平成 29 年 3 月総括） 【資料 3】

外郭団体への関与について

1 浜松市の外郭団体

1-1 外郭団体の設置目的

1-2 外郭団体の定義

1-3 外郭団体数

2 関与の基本方針

3 具体的な関与の方法

4 外郭団体マネジメントシステムによる関与

5 実施のフロー(スケジュール)

1 浜松市の外郭団体

1-1 外郭団体の設置目的

以下の条件を満たす場合、行政代行的業務を行う団体として、市主導により外郭団体を設置する。

- ① 事業の性質が企業的経営になじむ
- ② 制度上の制約から、効率的・効果的な市の直接経営が期待できない
- ③ 事業を実施する民間の担い手が存在しない(十分でない)

<外郭団体設置のメリット>

- 機動性、弾力性、経済性というメリットを活かした事業実施が可能
- 多様化・複雑化する行政課題への専門的な対応が可能

※上記メリットを最大限生かすため、市は外郭団体の経営における「自主性・独立性・弾力性」等について最大限尊重し、外郭団体は自らの判断により効率的・効果的な経営を推進していく必要がある。

1 浜松市の外郭団体

1-2 外郭団体の定義

- 地方自治法等の法令では、外郭団体の一般的な定義は存在せず、地方公共団体等において、必要に応じて定義している
- 指定都市における外郭団体の定義では、監査委員の監査対象となる法人（＝市出資が25%以上の法人）を基本とする例が多い

【浜松市における外郭団体の定義】

市組織の外部にあって、市がその設立に主体的に関わり、市の事務を代行し、又は市との連携により市の事務に関連する事業を行う団体であって、次のいずれかに該当するものをいう。

- ア 浜松市が行う資本金又は基本財産の出資又は出えんの割合が25%以上である団体
- イ 市から負担金、補助金（助成金、利子補給その他これらに類するものを含む。）、委託料（随意契約に係るものに限る。）その他これらに類するものを合計で年間1千万円以上支出している団体

※ 浜松市外郭団体の設立及び運営に対する関与の基本方針第2条より抜粋

1-3 外郭団体数 (平成29年9月現在団体数・・14団体)

公益財団法人(8団体)

浜松国際交流協会、浜松市文化振興財団、浜松市体育協会、浜松市医療公社、浜松地域イノベーション推進機構、浜松観光コンベンションビューロー、浜松市勤労福祉協会、浜松市花みどり振興財団

一般財団法人(2団体)

浜松市清掃公社、浜松まちづくり公社

公益社団法人(1団体)

浜松市シルバー人材センター

社会福祉法人(2団体)

浜松市社会福祉協議会、浜松市社会福祉事業団

株式会社(1団体)

なゆた浜北

2 関与の基本方針

(1) 策定の目的

外郭団体は、設立に市が主体的に関わり、市の事務を代行し、又は市との連携により市の事務に関連する事業を行っており、市として継続的な関与を必要とする団体である。

外郭団体が担う重要な役割として、市に代わって市民の暮らしを支える行政代行的業務があり、業務が着実に実施されていない場合や、経営が著しく悪化した場合は、本市の政策実現に深刻な影響を及ぼす可能性がある。また、団体の経営が破たんし、損失補てんを求められた場合は、市の財政に悪影響を及ぼすこととなる。

このため、そもそもの外郭団体の存在意義(必要性、公益性)について抜本的な見直しを行うだけでなく、市の行政代行的業務として外郭団体が実施している事業の成果、また外郭団体の経営健全化に向けた取り組みについて、市として必要な関与を実施していく必要がある。

(2) 基本方針の策定<平成20年4月～>

外郭団体自らの判断と責任により、事業の効率化と経営健全化を進めるため、また、市と外郭団体の公正で透明な関係を確保するため、「外郭団体の設立及び運営に対する関与の基本方針」(以下「基本方針」という)を策定した。

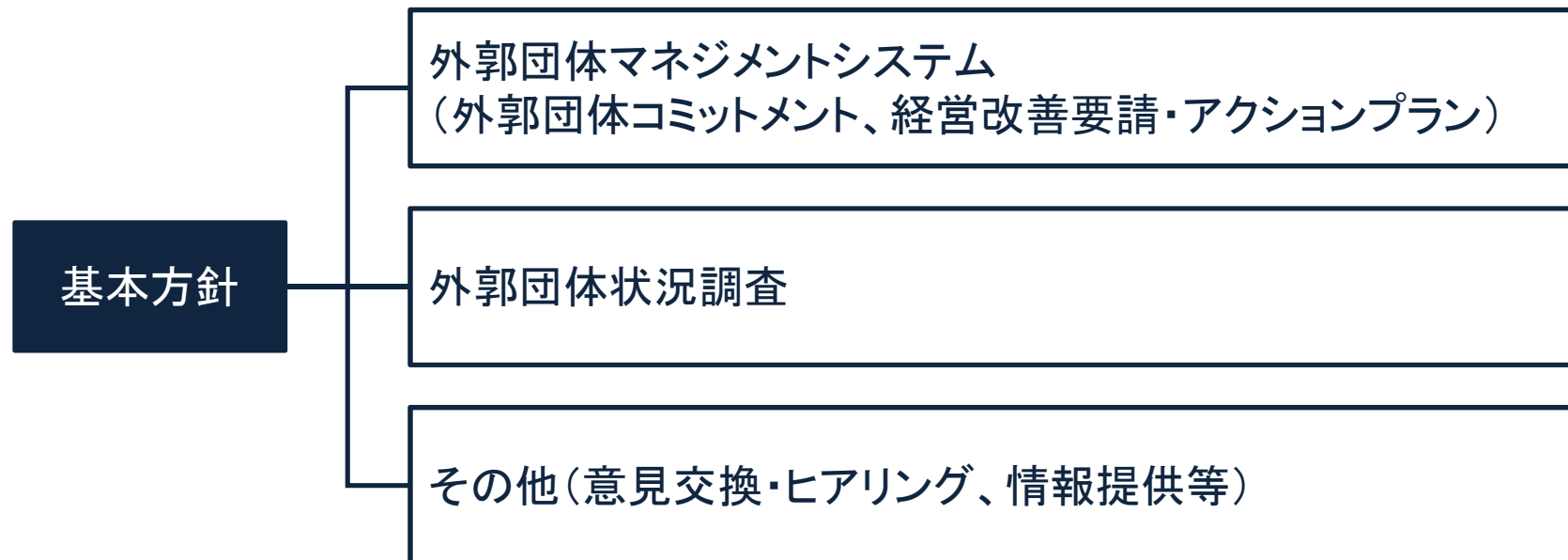
(3) 基本方針の概要

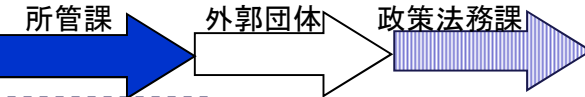
- ① 関与の基本方針(自主性の尊重、同等関与の原則、最小限度の関与、情報の公開)
- ② 統廃合等の基準(目的達成時の廃止、類似・同種団体の統合等)
- ③ 補助金支出等の基準(みなし運営費補助を含めた公表等)

3 具体的な関与の仕組み

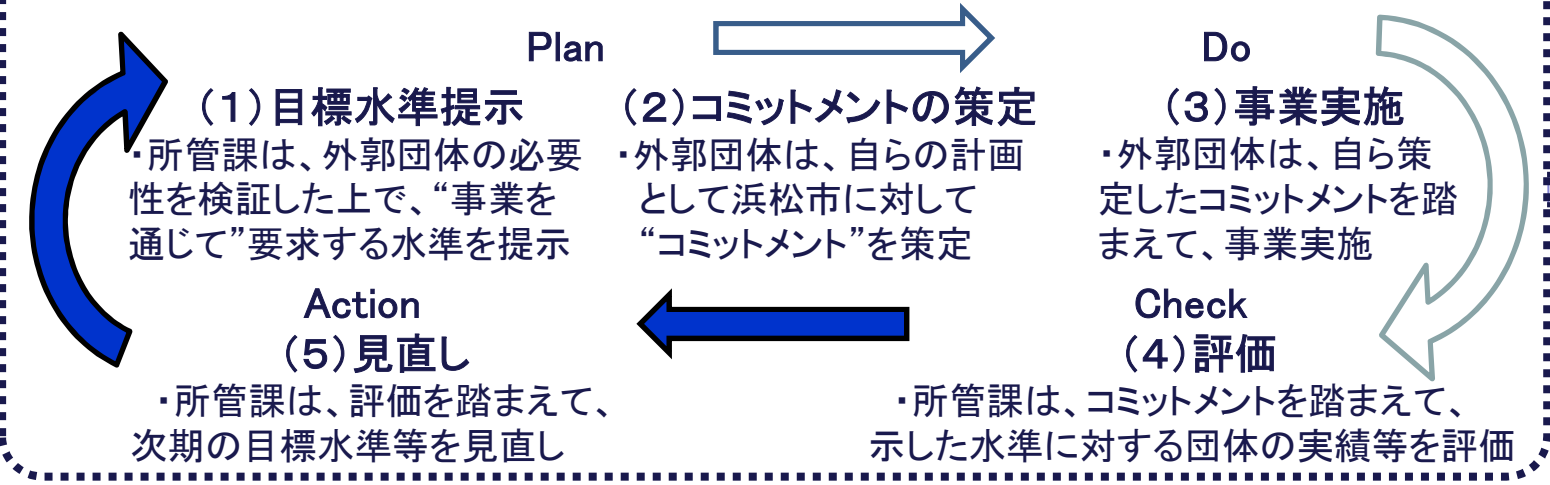
外郭団体の必要性について毎年度必要な検証を実施するとともに、検証の結果、必要とされた団体について、市は、外郭団体の経営や事業遂行における自主性を尊重しつつ、継続的・安定的に行政代行業務を担う団体として安定的な経営を進めてもらうため、「基本方針」に基づき、市として必要な関与を実施する。

<関与の仕組み>



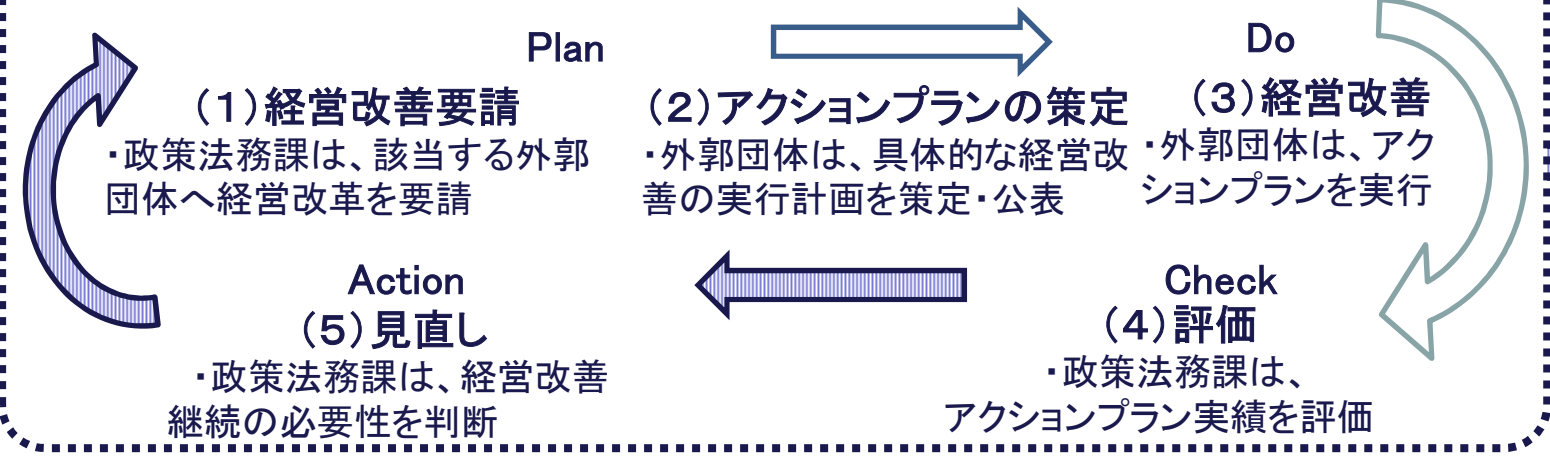


【通常】事業のPDCA(目標水準・外郭団体コミットメント)



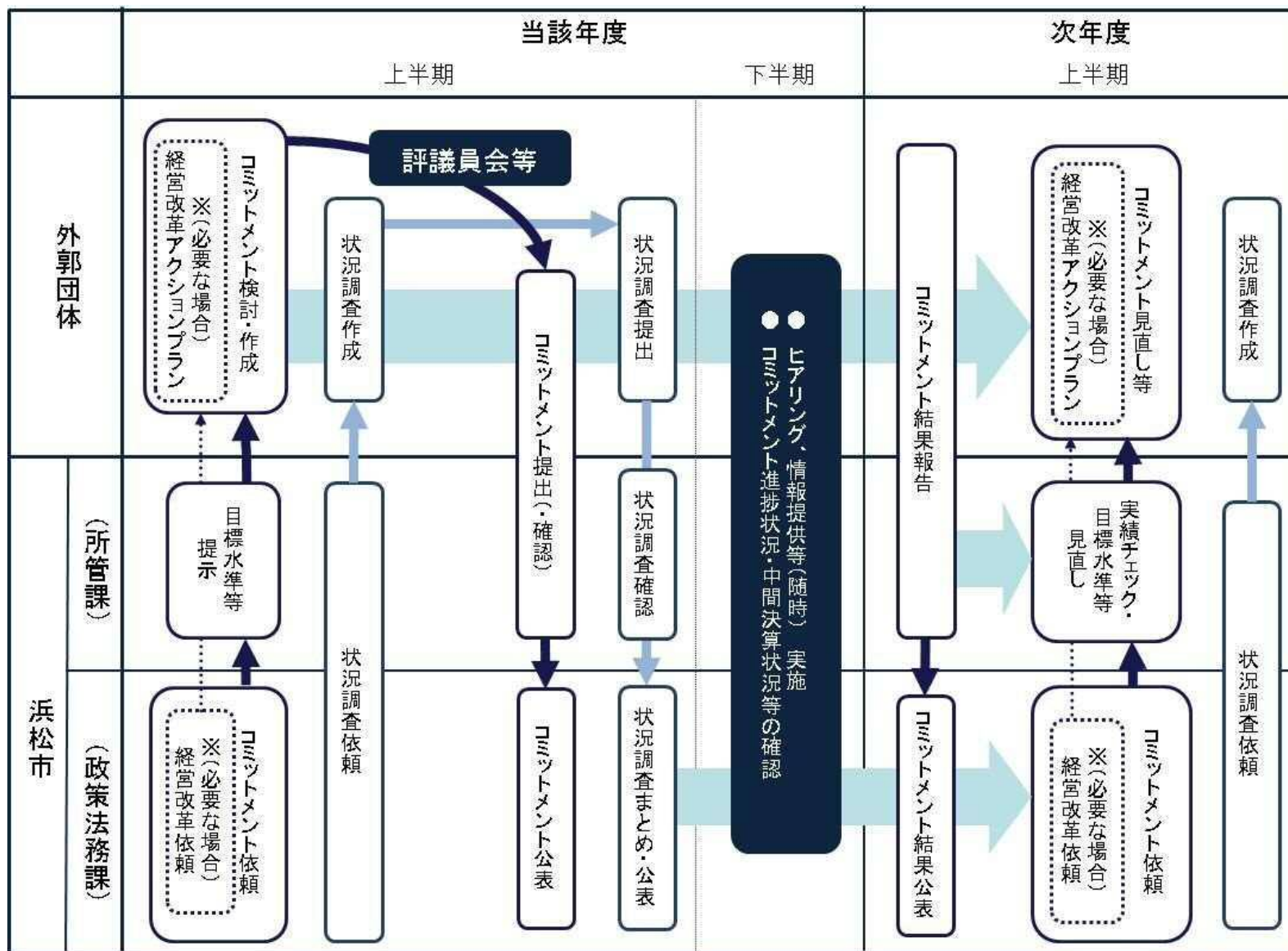
【特に必要な場合】経営改善のPDCA(経営改善要請・アクションプラン)

★外郭団体状況調査等を踏まえ、健全経営に特に課題があると判断した場合



(毎年度)PDCAの状況を総括・公表

5 実施のフロー(スケジュール)



新・外郭団体コミットメント（平成29年度～平成31年度）

団体名		個票ページ
公益財団法人	浜松国際交流協会	P.1～3
公益財団法人	浜松市文化振興財団	P.4～7
公益財団法人	浜松市体育協会	P.8～10
社会福祉法人	浜松市社会福祉協議会	P.11～16
公益社団法人	浜松市シルバー人材センター	P.17～20
社会福祉法人	浜松市社会福祉事業団	P.21～25
公益財団法人	浜松市医療公社	P.26～29
一般財団法人	浜松市清掃公社	P.30～32
公益財団法人	浜松地域イノベーション推進機構	P.33～35
公益財団法人	浜松観光コンベンションビューロー	P.36～39
公益財団法人	浜松市勤労福祉協会	P.40～42
公益財団法人	浜松市花みどり振興財団	P.43～45
一般財団法人	浜松まちづくり公社	P.46～48
株式会社	なゆた浜北	P.49～51

【平成29～31年度】浜松市外郭団体 コミットメント（平成29年4月策定）



1. 団体基本情報（平成29年4月1日現在）

団体名	公益財団法人浜松国際交流協会	市所管課	企画調整部国際課
資本金	353,986 千円	市出資・出捐額 (市出資・出捐率)	150,000 千円 (42.4 %)
設立目的 (簡潔に記載)	浜松市の特性を生かし、経済、学術、文化等の国際交流事業及び在住外国人の生活支援事業を幅広く行い、国際都市浜松の創造に寄与する。		
		設立年月	平成3年10月

2. (政策実現のパートナーとして) 市と外郭団体の関わり方

		廃止を検討すべき基準	該当状況
浜松市 (所管課)	外郭団体の必要性検証 (「浜松市外郭団体の設立及び運営に対する関与の基本方針」第5条第1項第1号)	設立目的について「達成した」場合、又は設立目標について「達成できないことが確定した」「外部的要因により達成若しくは消滅した」のいずれかに該当する場合は法人の廃止を検討	該当しない
		外郭団体の行う事業の大半の事業と同種又は類似の事業を行う民間法人がある場合は法人の廃止を検討	該当しない
		市から運営費補助、随意契約による委託及び職員派遣を現在行なっており、将来もこれらが不要と見込まれる場合は市の関与の廃止を検討	該当しない
		検証に対する考え方	設立目的である市民主体の国際交流及び在住外国人支援事業については、一層ニーズが高まる多文化共生施策の必要性に対応し、これまで以上に取り組んでいく必要があります。市の国際化施策の推進母体として、官民連携により同種の事業を効果的に実施可能な団体は他に存在していません。運営費補助は行っており、市の施策実現のために必要な事業費を随意契約による委託料等として実施しています。また、市の施策の推進母体としての円滑な事業の実施のため、市とのパイプ役として職員派遣を行っています。こうしたことから、外郭団体は必要です。
外郭団体	経常収支状況の過年度 (H29年度) 実績に関する評価	—	—
浜松市 (所管課)	コミットメントの過年度 (H29年度) 実績に関する評価	—	—
浜松市 (政策法務課)	経営改革方針 の必要性	—	—
外郭団体	理念	多様性を都市の力と捉え、誰もが能力を発揮し活躍できる多文化共生社会の実現と、世界的な視野を持つグローバル人材の育成と活用	
	ビジョン (コミットメント期間において、目指す基本方向)	<ul style="list-style-type: none"> ○多文化共生のまちづくり ○グローバル人材の育成と活用 ○体制の整備・財政基盤の充実 	
	(ビジョンに関連する外郭団体における計画等)	第2次中期計画（平成29～31年度）	
	上記計画における平成29年度の課題と重点目標	国の外国人材受入れ拡大に伴う在留外国人の増加など、社会環境の変化への的確な対応が課題となりますが、これまでの経験の中で培ってきた関係諸機関とのネットワークや取組の成果を生かした課題解決のための効果的な事業推進に注力します。	

3 コミットメント設定の考え方

浜松市 (所管課)	市が 団体 役割に 求める	役割	<ul style="list-style-type: none"> ○市民が主体となった国際交流活動や多文化共生活動の促進 ○市民活動と行政とをつなぐ中間支援組織としての機能の充実 ○地域社会における課題やニーズの把握と市の先導的・政策的な取組の実施 		
		位置付け	<ul style="list-style-type: none"> ・浜松市多文化共生都市ビジョン（計画期間：平成25～29年度） ・浜松市国際戦略プラン（計画期間：平成26～30年度） 		
					
対応方針	浜松市が 定める 事業等の 目標	1	グローバル化の進展や社会情勢の変化に的確に対応し、市の国際交流・多文化共生施策がより効果的で発展的に展開されるよう、支援団体や関係機関等とお互いの専門性や強みを活かした連携・協働による事業実施に取り組んでください。		
		2	日本人市民と外国人市民がともに暮らしやすい、多様性を地域の活性化に積極的に生かした多文化共生のまちづくりを進めるとともに、国際理解教育や語学教育等を通じたグローバル人材の育成を図ってください。		
		3			
					
外郭団体	コミットメント	外郭団体が策定し、浜松市に約束する内容	1	公益	増え続け多様化するニーズの把握や新たな課題解決のため、様々な分野の市民団体や関係機関等とのネットワーク化を一層図りながら、連携・協働事業の強化充実を図ります。
			2	公益	これまでの取組の成果を生かした必要なサービスの安定した提供や外国人市民の地域活動への参画を促進するとともに、国際社会で活躍できるグローバル人材の育成に積極的に取り組みます。
			3		

公益…公益的な使命や市民（利用者）目線での達成する目標

財務…外郭団体の財務状況（市からの支出金含む）について達成する目標

組織…組織や業務プロセス改善等について達成する目標

その他…上記以外

4. コミットメント

コミットメント名			評価指標							
外郭団体	1	公益	連携・協働事業の強化充実	連携・協働団体数						
	概要	増え続け多様化するニーズの把握や新たな課題解決のため、様々な分野の市民団体や関係機関等とのネットワーク化を一層図りながら、連携・協働事業の強化充実を図ります。		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
				計画	団体	-	81	85	88	91
				実績						
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限		多様なニーズの把握と課題の解決のため、NPO等支援団体や関係機関等と連携・協働し、お互いの特徴を活かした効果的で発展的な事業実施を図ります。							
	準指標1-1	新たな連携・協働による事業実施件数		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	準指標1-2	協賛や後援による活動支援件数		計画	件	19	23	20	20	20
				実績						
	準指標1-3	ネットワーク会議参加団体数		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
				計画	団体	55	41	45	45	45
コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		第2次中期計画においても多くの関係団体等との連携強化を掲げています。また、収益性の観点からも効率的・効果的な事業実施が求められています。								
評価指標の過年度結果分析及び平成29年度の目標水準の設定根拠		<p>【過年度分析】 これまでも文化庁や高等学校、外国人雇用企業など多様な関係機関や活動団体との連携・協働による事業展開を意識して取り組んできました。</p> <p>【目標水準の根拠】 連携・協働により事業を実施する団体数をカウントし、3年間で10団体の増加を目標とします。</p>								
外郭団体	コミットメント名			評価指標						
	2	公益	国際交流・多文化共生事業の充実	事業参加者の満足度						
	概要	これまでの取組の成果を生かした必要なサービスの安定した提供や外国人市民の地域活動への参画を促進するとともに、国際社会で活躍できるグローバル人材の育成に積極的に取り組みます。		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
				計画	%	-	76	80	85	85
				実績						
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限		地域共生・多文化交流イベントや国際理解教育講座などの事業の充実に努めるとともに、地域における協会活動の担い手の育成を進めます。							
	準指標2-1	地域共生モデル事業実施件数		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	準指標2-2	多文化交流プログラム参加者数		計画	人	2,167	2,338	2,300	2,300	2,300
				実績						
	準指標2-3	国際理解教育事業参加者数		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
計画				人	11,868	11,279	11,500	11,500	11,500	
コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		第2次中期計画に定めた協会ミッションに直結する指標です。また、多くの市民への協会活動の一層の理解促進の観点からも重要な指標です。								
評価指標の過年度結果分析及び平成29年度の目標水準の設定根拠		<p>【過年度分析】 魅力的な講座やイベントの実施に取り組み、参加者数は堅調に推移していることから、今後は参加者の満足度向上にもより注力する必要があります。</p> <p>【目標水準の根拠】 「満足度」については、参加者アンケートで測るものとし、「とても満足」「満足」の割合を高水準に維持することを目標とします。</p>								

【平成29～31年度】浜松市外郭団体 コミットメント（平成29年4月策定）



1. 団体基本情報（平成29年4月1日現在）

団体名	公益財団法人 浜松市文化振興財団	市所管課	市民部 創造都市・文化振興課
資本金	2,139,769 千円	市出資・出捐額 (市出資・出捐率)	2,000,000 千円 (93.5 %)
設立目的 (簡潔に記載)	優れた芸術その他の文化（以下「芸術文化」という。）の提供、交流、創造、発信を行うこと並びに市民・地域の芸術文化活動の支援をととして市民文化の向上及び地域社会の活性化に資する。		
		設立年月	平成5年7月

2. （政策実現のパートナーとして）市と外郭団体の関わり方

		廃止を検討すべき基準	該当状況
浜松市 (所管課)	外郭団体の必要性検証 (「浜松市外郭団体の設立及び運営に対する関与の基本方針」第5条第1項第1号)	設立目的について「達成した」場合、又は設立目標について「達成できないことが確定した」「外部的要因により達成若しくは消滅した」のいずれかに該当する場合は法人の廃止を検討	該当しない
		外郭団体の行う事業の大半の事業と同種又は類似の事業を行う民間法人がある場合は法人の廃止を検討	該当しない
		市から運営費補助、随意契約による委託及び職員派遣を現在行なっておらず、将来もこれらが不要と見込まれる場合は市の関与の廃止を検討	該当しない
		検証に対する考え方	これまで培ってきたノウハウを活用し、本市の音楽文化を都市資産として市内外に幅広く発信するとともに、高度な舞台芸術の提供や次代を担う人材育成、市内各所における音楽交流の推進しており、商業ベースに乗らない分野の文化活動や地理的条件等に拘らず、すべての市民が文化を享受するための取組を進めるなど、「音楽の都・浜松」を牽引していく外郭団体として必要です。
外郭団体	経常収支状況の過年度(H29年度)実績に関する評価	—	
浜松市 (所管課)	コミットメントの過年度(H29年度)実績に関する評価	—	
浜松市 (政策法務課)	経営改革方針の必要性	—	
外郭団体	理念	浜松市文化振興ビジョンに示されたミッションを果たしていく	
	ビジョン (コミットメント期間において、目指す基本方向)	浜松市の芸術文化活動に関わる様々な組織のプラットフォームとしての機能など、中間支援組織としての役割強化を図ることとあわせ、先端的な創造・発信に関わる事業に取り組み「創造都市・浜松」を推進する。	
	(ビジョンに関連する外郭団体における計画等)	芸術及び文化の提供、交流、創造及び発信を行うこと並びに市民・地域の芸術文化活動の支援をととして市民文化向上及び地域社会の活性化に資することを目的とする。(定款第3条)	
	上記計画における平成29年度の課題と重点目標	「創造都市・浜松」各事業の準備及び開催、浜松版アーツカウンシル発足の準備協力。 ※アーツカウンシルとは、高い専門性を持つスタッフが、芸術文化の振興を目的に、各種芸術文化に対する助成等の支援を行う機関のことで。	

3 コミットメント設定の考え方

浜松市 (所管課)	市が団体役割に求める	役割	市は、浜松市文化振興ビジョンに「音楽の都・浜松」の推進を掲げており、(公財)浜松市文化振興財団には、これまで培ってきたノウハウを活用し、本市の音楽文化を都市資産として市内外に幅広く発信するとともに、「音楽の都・浜松」を牽引していく外郭団体として、高度な舞台芸術の提供や次代を担う人材育成、市内各所における音楽交流の推進を期待します。		
		位置付け	浜松市文化振興ビジョン		
					
対応方針	浜松市が定める事業等の目標	1	○「音楽の都・浜松」の牽引 「音楽の都・浜松」を市内外に発信する高度な舞台芸術の提供と次代を担う人材育成に積極的に取り組んでください。		
		2	○中間支援組織の機能強化と市民の芸術文化活動の自立支援 市と文化団体及び文化団体同士の活動をつなぐ中間支援組織としての機能を強化するとともに、市民が主体となっていく文化・芸術活動の自立に向けた機動的な支援や、市内全域の文化活動や情報の収集及び提供の充実を図ってください。		
		3	○すべての市民が文化を享受するための取組み 商業ベースに乗らない分野の文化活動や地理的条件等に拘らず、すべての市民が文化を享受するための取組を進めてください。		
					
外郭団体	コミットメント	外郭団体が策定し、浜松市に約束する内容	1	公益	良質な鑑賞型事業の実施（鑑賞型事業等に対する事業評価制度を継続し、良質な事業を実施します）
			2	公益	中間支援組織としての機能を強化（浜松在住の演奏家と公演開催希望者とのマッチング事業を行い、地域における演奏家活動の活発化、演奏会機会の増加、市内広域での芸術文化事業の実施を支援します）
			3	公益	「創造都市・浜松」の推進（これまで培った人的ネットワークや事業開催ノウハウを活用し、新たに組織される浜松版アーツカウンシルと連携して、「創造都市・浜松」実現のために必要な芸術文化事業を実施します）

公益…公益的な使命や市民（利用者）目線での達成する目標

財務…外郭団体の財務状況（市からの支出金含む）について達成する目標

組織…組織や業務プロセス改善等について達成する目標

その他…上記以外

4. コミットメント

コミットメント名			評価指標							
外 郭 団 体	1	公益	良質な鑑賞型事業の実施	評価A判定事業の割合						
	概要	鑑賞型事業等に対する事業評価制度を実施し、良質な事業を実施します。		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
				計画	%	90	75	80	80	80
				実績						
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限			過去評価の課題事項を参考とした事業改善に取り組みます。平成31年度までにA評価判定率を安定させます。						
	準指標1-1	鑑賞型事業の実施本数		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
				計画	件	24	24	25	20	25
				実績						
	コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性			良質な鑑賞型事業の選定・実施にむけて、結果を可視化し、客観的に評価するために、事業評価制度を継続します。						
	評価指標の過年度結果分析及び平成29年度の目標水準の設定根拠			<p>【過年度分析】</p> <p>平成28年度は、12事業中3事業がA判定に達せず実績値が計画を下回りました。(普及事業等一部の公演の入場者数が目標に達せず)いずれの事業も来場者の満足度は高いことから、今後は普及事業の広報・販促手段及び価格設定の更なる見直しを図ります。</p> <p>また、内部評価と併用して、外部評価(静岡文化芸術大学と研究)も活用し、すでに指摘のあった事項の改善に着手しました。</p> <p>【目標水準の根拠】</p> <p>H29年度は前年度の実績を上回る目標値を設定しました。、H30年度はピアノコンクール本番年のため下方修正、H31年度はアクト25周年事業実施のため上方修正しました。</p>						

コミットメント名			評価指標							
外 郭 団 体	2	公益	中間支援組織としての機能を強化	演奏家マッチング数						
	概要	浜松在住の演奏家と公演開催希望者とのマッチング事業を行い、地域における演奏家活動の活発化、演奏会機会の増加、市内広域での芸術文化事業の実施を支援します。		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
				計画	件	135	129	100	100	100
				実績						
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限		演奏者登録受付システムや過年度に築いた学校・NPO法人・民間主催者とのコネクションを活かし、平成31年度に向けて安定的・恒常的に事業を継続します。							
	準指標2-1	演奏派遣先のカテゴリー数		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
				計画	種類	—	—	5	5	5
				実績						
	コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		「すべての市民が文化を享受する」ための取り組みとして、浜松市内で開催される芸術文化公演の機会を様々な分野の団体・場所で創出することで、演奏家・主催者・聴衆の文化活動の中間支援を実現します。							
	評価指標の過年度結果分析及び平成29年度の目標水準の設定根拠		<p>【過年度分析】 民間の大口の演奏開催は予算縮小・件数減少の傾向にあるため、マッチング件数はH26年度をピークに減少が続きました。学校や社会教育団体、公共団体等、多様な分野から広く公演主催者を募り、引き続き演奏家の活躍の場を確保する必要があります。</p> <p>【目標水準の根拠】 継続的に活動の場を紹介し続けることが演奏家にとって重要と考え、事業の安定的持続に必要な数値を設定しました。平成29年度は福祉団体、学校教育団体、交通施設、公共施設、商業施設の5つのカテゴリーを想定しています。</p>							
外 郭 団 体	コミットメント名			評価指標						
	3	公益	「創造都市・浜松」の推進	支援事業・提携事業の本数						
	概要	これまで培った人的ネットワークや事業開催ノウハウを活用し、新たに組織される浜松版アーツカウンシルと連携して、「創造都市・浜松」実現のために必要な芸術文化事業を実施します。		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
				計画	件	—	—	0	20	20
				実績						
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限		平成29年度は浜松市と協力して浜松版アーツカウンシルの運営統括を行うプログラムディレクター(PD)と事業(助成・自主事業の検討、調査研究等)の実施を担うプログラムオフィサー(PO)の募集選考を実施し、平成30年度の事務局の組織立上げと運営体制構築に取り組みます。							
	準指標3-1	アーツカウンシルのプログラムディレクター(PD)とプログラムオフィサー(PO)の選定		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
				計画	%	—	—	100	100	100
				実績						
	コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		浜松版アーツカウンシルの構築が「創造都市・浜松」の推進に重要と理解し、財団の担う文化活動の中間支援機能と連携を図ります。							
評価指標の過年度結果分析及び平成29年度の目標水準の設定根拠		<p>【過年度分析】 創造都市事業の中核事業、特に浜松から世界に発信する芸術文化事業の企画制作や他都市との連携事業等を、浜松市と協力し実施しました。</p> <p>【目標水準の根拠】 浜松版アーツカウンシルのH30年度開設をふまえ、新しい評価指標を設定しました。H29年度は事務局開設準備に焦点をあてた準指標を設定しました。</p>								

【平成29～31年度】浜松市外郭団体 コミットメント（平成29年4月策定）

1. 団体基本情報（平成29年4月1日現在）



団体名	公益財団法人浜松市体育協会		市所管課	市民部 スポーツ振興課		
資本金	331,513	千円	市出資・出捐額 (市出資・出捐率)	50,000	千円	設立 年月
			(15.1 %)			昭和55年4月
設立目的 (簡潔に記載)	浜松市における健康・体力づくりを推進し、アマチュア精神を培い、スポーツの普及・向上を図る					

2. (政策実現のパートナーとして) 市と外郭団体の関わり方

		廃止を検討すべき基準	該当状況
浜松市 (所管課)	外郭団体の必要性検証 (「浜松市外郭団体の設立及び 運営に対する関与の基本方針」 第5条第1項第1号)	設立目的について「達成した」場合、又は設立目標について「達成できないことが確定した」「外部的要因により達成若しくは消滅した」のいずれかに該当する場合は法人の廃止を検討	該当しない
		外郭団体の行う事業の大半の事業と同種又は類似の事業を行う民間法人がある場合は法人の廃止を検討	該当しない
		市から運営費補助、随意契約による委託及び職員派遣を現在行なっており、将来もこれらが不要と見込まれる場合は市の関与の廃止を検討	該当しない
		検証に対する考え方 設立趣旨については、浜松市における健康・体力づくりを推進し、アマチュア精神を培い、スポーツの普及・向上を図り、もって健康で明るい市民の育成に寄与することとしています。 体育協会の傘下に11の支部、65の体育振興会、49の競技団体、18のレクリエーション協会、174のスポーツ少年団、中学校体育連盟、小学校体育連合などのスポーツ団体を網羅している組織です。傘下団体のネットワークを活かし、生涯スポーツの普及・推進の中核的推進機関として活躍することを期待します。	
外郭団体	経常収支状況の過年度 (H29年度) 実績に関する評価	—	
浜松市 (所管課)	コミットメントの過年度 (H29年度) 実績に関する評価	—	
浜松市 (政策法務課)	経営改革方針 の必要性	—	

外郭団体	理念	多くの市民にスポーツに接する機会を提供し、スポーツの普及・向上を図り、健康で明るい市民の育成に寄与する。
	ビジョン (コミットメント期間において、目指す基本方向)	幅広い年齢層からなる加盟団体とのネットワークにより、施設を活用し多くの市民がスポーツに触れる機会を創出し、する、観る、支える(育てる)スポーツの推進に寄与する。
	(ビジョンに関連する外郭団体における計画等)	<ul style="list-style-type: none"> ・「浜松アリーナの管理に関する基本協定書(平成26年度～平成30年度)その他施設の指定管理に係る基本協定書 ・公益財団法人浜松市体育協会事業計画書
	上記計画における平成29年度の課題と重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域を含めた市内全域のスポーツの振興 ・若手スポーツ人材の育成、支援 ・国際的なスポーツ大会やイベント、及び東京オリンピック・パラリンピックに向けた事前合宿の誘致 ・施設の効果的、効率的な運営

3 コミットメント設定の考え方

浜松市(所管課)	市が団体役割に求める	役割	<p>市は、浜松市スポーツ推進計画において、生涯スポーツの推進を中心に「スポーツ文化都市 浜松」の実現を目指すこととしています。</p> <p>公益財団法人浜松市体育協会においては、生涯スポーツの普及・推進の中核的推進機関として活躍すること及びスポーツ施設を活用したスポーツ振興や地域活性化に寄与することを期待しています。</p>			
		位置付け	浜松市スポーツ推進計画(計画期間:平成26～30年度)			
			対応方針	浜松市が定める事業等の目標	1	子どもから高齢者まで幅広い世代によるスポーツ活動の取り組み成果として、指定管理施設における年間利用者数160万人を目標としてください。
2						
3						
		外郭団体	コミットメント	外郭団体が策定し、浜松市に約束する内容	1	公益 指定管理施設の年間利用者数、1,600,000人を確保します。
2						
3						

公益…公益的な使命や市民(利用者)目線での達成する目標

財務…外郭団体の財務状況(市からの支出金含む)について達成する目標

組織…組織や業務プロセス改善等について達成する目標

その他…上記以外

4. コミットメント

コミットメント名			評価指標							
外 郭 団 体	1	公益	スポーツの普及・向上	指定管理施設利用者数						
	概要	指定管理施設年間利用者数160万人を確保します。		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
				計画	人	164万7千人	162万8千人	160万人	160万人	160万人
				実績						
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限			営業プロジェクトと各加盟競技団体が連携しスポーツ大会、イベントの誘致を行います。また、事業プロジェクトによる教室や自主事業の見直しによる参加者増を図ります。						
コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性			指定管理施設を活用し、大会等の誘致や自主事業のソフト面を充実させ、市民がスポーツに接する機会を創出し、スポーツの普及・向上を図ります。							
評価指標の過年度結果分析及び平成29年度の目標水準の設定根拠			<p>【過年度分析】 大規模大会やイベントでの利用が不定期であり、また、天候に左右される屋外施設がある中、年間160万人の利用者数を維持しています。</p> <p>【目標水準の根拠】 平成29年度以降、施設の老朽化等に伴い大規模改修が行われ、施設の利用制限が余儀なくされますが、各プロジェクトを中心に160万人を確保します。</p>							

【平成29～31年度】浜松市外郭団体 コミットメント（平成29年4月策定）



1. 団体基本情報（平成29年4月1日現在）

団体名	社会福祉法人 浜松市社会福祉協議会	市所管課	健康福祉部 福祉総務課
資本金	18,000 千円	市出資・出捐額 (市出資・出捐率)	0 千円 (0.0 %)
設立目的 (簡潔に記載)	浜松市における社会福祉事業その他の社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化により、地域福祉の推進を図る。		
設立年月	昭和26年9月		

2. (政策実現のパートナーとして)市と外郭団体の関わり方

		廃止を検討すべき基準	該当状況
浜松市 (所管課)	外郭団体の必要性検証 (「浜松市外郭団体の設立及び運営に対する関与の基本方針」第5条第1項第1号)	設立目的について「達成した」場合、又は設立目標について「達成できないことが確定した」「外部的要因により達成若しくは消滅した」のいずれかに該当する場合は法人の廃止を検討	該当しない
		外郭団体の行う事業の大半の事業と同種又は類似の事業を行う民間法人がある場合は法人の廃止を検討	該当しない
		市から運営費補助、随意契約による委託及び職員派遣を現在行なっており、将来もこれらが不要と見込まれる場合は市の関与の廃止を検討	該当しない
		検証に対する考え方 少子高齢化や法改正など社会、経済の変化に伴い、行政では対応できない、地域に根ざした取り組みやインフォーマルサービス（家族や近隣住民、ボランティアなどによる支援）の促進が求められており、地域福祉の充実と推進のためには、市社協が今後も行政との相互補完・連携協働を強化しながら、事業を推進していく必要性があります。	
外郭団体	経常収支状況の過年度 (H29年度)実績に関する評価	—	
浜松市 (所管課)	コミットメントの過年度 (H29年度)実績に関する評価	—	
浜松市 (政策法務課)	経営改革方針 の必要性	—	
外郭団体	理念	市民の参加と支えあいによる誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり	
	ビジョン (コミットメント期間において、目指す基本方向)	地域福祉活動計画に基づく地域福祉事業の推進	
	(ビジョンに関連する外郭団体における計画等)	第3次地域福祉活動計画(平成26～30年度)	
	上記計画における平成29年度の課題と重点目標	<p>地域支援、仕組みづくり強化のため、全市域にコミュニティーソーシャルワーカーを配置し、関係機関との連携・協働を図りながら取り組みます。特に地区社協への支援では、介護保険制度の改正による生活支援体制づくりに関して地域の生活支援コーディネーター業務実施機関との連携が必須であり、地域への働きかけについて連携して実施します。</p> <p>また、生活困窮者の自立支援に向けて今まで以上に相談体制の充実を図るとともに、他団体と協力して子どもの貧困等の側面的支援にも重点的に取り組みます。</p>	

3. コミットメント設定の考え方

浜松市 (所管課)	市が 団 体 割 に 求 め る	役割	市が策定をした第3次浜松市地域福祉計画には、地域福祉を推進するために目指す理念や目標像を示しており、(福)浜松市社会福祉協議会が策定する第3次地域福祉活動計画と整合を図りながら、市社協は市と連携をし、市民や民間団体の地域福祉への参画と協働を進め、社会福祉事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化が図られ、より地域福祉が推進されていくことを期待しています。		
		位置付け	第3次浜松市地域福祉計画(平成26~30年度)		
					
	対応方針	浜松市が定める事業等の目標	1	コミュニティソーシャルワーカー(CSW)を配置し、地域における個別課題に対し、地域の見守り・発見・つなぎ機能を強化するとともに、地域支援の仕組みづくりなど地域福祉の向上を求めます。	
		2	住民主体の地域福祉活動の母体となる地区社協の活動を活発化し、地域福祉に対する住民の意識の向上と地域で住民同士が支え合う地域づくりを求めます。		
		3	地域の団体やインフォーマルサービスを活用した小地域での福祉活動を通して、様々な福祉的な課題を抱える生活困窮者への対策が充実することを求めます。		
					
外郭 団 体	コミットメント	外郭団体が策定し、浜松市に約束する内容	1	公益 地区社協の活動支援と個別の生活課題・福祉課題を解決するための生活支援を行うコミュニティソーシャルワーカーを配置し、地域福祉の向上に努めます。	
			2	公益 地区社協が主体になり、地域の中でのちょっとした困りごとを住民の互助により解決する「家事支援サービス事業」を推進し、地域の中での助け合いの仕組みづくりを推進します。	
			3	公益 生活困窮者への支援について、インフォーマルな取り組みの活性化を図り、地域での課題発見、解決までの支援に努めます。特に、子どもの支援を重視し、NPO法人や社会福祉法人との連携・協働を図り、広く市内に活動の輪の拡大を目指します。	

公益…公益的な使命や市民(利用者)目線での達成する目標

財務…外郭団体の財務状況(市からの支出金含む)について達成する目標

組織…組織や業務プロセス改善等について達成する目標

その他…上記以外

4. コミットメント

コミットメント名			評価指標							
外 郭 団 体	1	公益	コミュニティソーシャルワーカー(CSW)事業の推進	地域支援の取り組み件数						
	概要	地区社協の活動支援と個別の生活課題・福祉課題を解決するための生活支援を行うコミュニティソーシャルワーカーを配置し、地域福祉の向上に努めます。		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
				計画	件	—	220	400	500	700
				実績						
	コミットメントを達成するための取り組み内容及び期限		平成29年度・・・全市(8名)への配置とスキルアップ研修の実施 平成30年度・・・エリアを考慮しながらの増員とスキルアップ研修の実施 平成31年度・・・配置5年となるため、業務と機能の検証							
	準指標1-1	配置人数		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
				計画	人	2	4	8	10	14
				実績						
	準指標1-2	新規個別相談平均件数 (CSW1人当たり年間件数)		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
				計画	件	83.5	83.8	84.0	87.0	90.0
			実績							
準指標1-3	研修会等延べ参加回数		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
			計画	回	7	14	28	35	50	
			実績							
コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		<p>選定理由は、地域の狭間の課題への対応と地域の福祉力向上のため、コミュニティソーシャルワーカー(CSW)への期待が高まっていることに伴い、社協としてCSWの配置を重点事業に位置づけ、その充実強化を図ることで地域福祉の推進を図ることができると考えています。</p> <p>また、CSWの役割の一つである個別支援を丁寧にする中で、その先にある地域支援や仕組みづくりに向けて取り組みを強化することが可能になります。</p> <p>中期計画としては「地域福祉活動計画」があり、平成28年度の見直しの中でも、CSWの強化がうたわれています。</p>								
評価指標の過年度結果分析及び平成29年度の目標水準の設定根拠		<p>【過年度分析】</p> <p>配置については、平成27年度に2名、28年度に4名を配置し、中区、東区、南区、北区、浜北区を担当地区にしました。相談件数は前年度の約2倍となり、専門職をはじめ地域での認知度も徐々に向上しているとみています。</p> <p>また、平成28年度も平成27年度に引き続き第三者のアドバイザーを迎え、研修の充実とともに日々の取り組みへの助言をいただくことでCSWの資質向上にも努めてきました。</p> <p>【目標水準の根拠】</p> <p>関係機関と連携して中で個別支援の解決に取り組むことで、コミュニティソーシャルワーカーだけではなく専門職等と協働し全市的に福祉の推進が図れることを目指します。指標数値に関しては、平成27年度、28年度の推移を参考に、配置人数の増加を見込み設定しました。</p>								
コミットメント名			評価指標							
2	公益	地域たすけあい支援事業の推進	地区社協内の家事支援サービス実施件数							
概要	地区社協が主体になり、地域の中でのちょっとした困りごとを住民の互助により解決する「家事支援サービス事業」を推進し、地域の中での助け合いの仕組みづくりを推進します。		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
			計画	件	3,804	4,538	4,700	4,900	5,100	
			実績							

外 郭 団 体	コミットメントを達成するための取組内容及び期限		平成29年度・・・協力員養成講座の開催や地域への周知を強化し、新たに1地区の実施を支援します。 平成30年度・・・協力員養成講座の開催や地域への周知を強化し、新たに1地区の実施を支援します。 平成31年度・・・協力員養成講座の開催や地域への周知を強化し、新たに1地区の実施を支援します。						
	準指標2-1	実施地区社協数	区分 計画 実績	単位 地区	27年度 25	28年度 27	29年度 28	30年度 29	31年度 30
	準指標2-2	協力員活動延べ人数	区分 計画 実績	単位 人	27年度 5,274	28年度 6,911	29年度 7,200	30年度 7,500	31年度 7,800
	準指標2-3	養成講座等延べ参加人数	区分 計画 実績	単位 回	27年度 133	28年度 52	29年度 60	30年度 60	31年度 60
	コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		選定理由は、これからの地域の中で、制度のみでは解決できない、特に高齢者の生活を支えるたすけあい活動は重要になるためです。地区社協が実施主体となる事業ですが、市社協として支援することが必要であり、この活動を通して生活支援体制を充実強化できると考えられます。 中期計画としての、地域福祉活動計画の中間見直しの中で、重点事業の中に位置づけられています。						
	評価指標の過年度結果分析及び平成29年度の目標水準の設定根拠		【過年度分析】 平成28年度については、上半期において実施地区社協数の目標を達成することができました。この事業は、実施主体である地区社協への支援をすることにより、地域の生活支援体制の充実を図るものです。介護保険の改正により、今まで以上に地域での活動が求められます。 ただし、事業実施には数年間の準備が必要であることと今後NPO法人や企業の参画も考えられ、地区社協の事業としての位置づけは地域の状況で考慮する必要があります。						
			【目標水準の根拠】 実施地区数の推移と他の団体の実施も考慮し、前年度比約0.5%増の目標を設定しました。						

コミットメント名			評価指標						
外 郭 団 体	3	公益 生活困窮者(世帯)への支援体制の充実強化	社会福祉協議会が関わった学習支援団体数						
	概要	生活困窮者への支援について、インフォーマルな取り組みの活性化を図り、地域での課題発見、解決までの支援に努めます。特に、子どもの支援を重視し、NPO法人や社会福祉法人との連携・協働を図り、広く市内に活動の輪の拡大を目指します。	区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
			計画	団体	6	10	12	14	16
			実績						
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限		<p>平成29年度・・・連絡会等の開催やNPO法人と連携して支援団体への研修会を開催し、地域への周知と支援団体のネットワークを強化します。</p> <p>平成30年度・・・連絡会等の開催やNPO法人と連携して支援団体への研修会を開催し、地域への周知と支援団体のネットワークを強化します。</p> <p>平成31年度・・・連絡会等の開催やNPO法人と連携して支援団体への研修会を開催し、地域への周知と支援団体のネットワークを強化します。</p>						
	準指標3-1	研修会等の実施回数	区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
			計画	回	—	—	1	1	1
			実績						
	コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		<p>選定理由は、生活困窮者への支援は喫緊の課題であり、特にインフォーマルの取り組みの強化が求められていると考えるからです。地域の中には、公的制度のみでは支援できない状況もあり、そのため様々な実施主体による多種多様な支援が必要です。特に、子どもへの貧困対策を重視して取り組むこととします。</p> <p>中期計画としての、地域福祉活動計画の中間見直しの中で、重点事業の中に位置づけられています。</p>						
	評価指標の過年度結果分析及び平成29年度の目標水準の設定根拠		<p>【過年度分析】</p> <p>平成28年度より、学習支援団体とのネットワークを図りながら、NPO法人等と連携し、子どもの貧困対策に取り組んでいます。</p> <p>支援の拡大のためには、NPO法人や社会福祉法人、地区社協や企業等の参画も考えられ、地域の実情を考慮しながら実施していきます。</p>						
		<p>【目標水準の根拠】</p> <p>平成28年度の実施数等を考慮し、目標を設定しました。</p>							

5. 経営改革アクションプラン

(政策法務課) 浜松市	<p>【平成26年度から平成28年度までの決算に対する評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度決算では、当期活動収支差額が計画値を上回って1,220千円となるなど、赤字から黒字に転換されたことを評価します。 ・社会福祉法人の会計基準の変更に伴う影響額を除けば全体的に経営状況は改善していると判断します。 ・福祉基金の取崩しによる適正化を伴う中での黒字であるため、平成29年度以降の福祉基金適正化後にも引き続き安定して収支相償を実現することが必要です ・引き続き厳しい財政運営が続いてはいますが、第3次強化発展計画を見直していく中で、福祉基金の適正化を含め、平成30年度の収支相償を目指すため、平成29年度以降も市の関与（経営改善要請・アクションプランによる関与）を継続していく必要があると判断します。 										
	年度決算等		H27決算	H28決算	H29決算	H30決算	H31決算	H28-H27			
	資産の部（合計）		1,836,608	1,847,890				11,282			
	負債の部（合計）		391,647	401,994				10,347			
	正味財産の部（合計）		1,444,961	1,445,896				935			
	経常収益計		1,450,617	1,421,561				▲ 29,056			
	経常費用計		1,550,543	1,420,936				▲ 129,607			
	当期経常増減額		▲ 99,926	625				100,551			
	当期一般正味財産増減額		▲ 61,180	1,220				62,400			
	年度目標等		H29計画	H29実績	H30計画	H30実績	H31計画	H31実績			
	当期経常増減額		556	0	864	0		0			
	当期一般正味財産増減額		1,067	0	1,364	0		0			
	アクションプラン				指標						
	1	その他	経営健全化		当期活動収支差額						
	内容	強化・発展計画に基づき、平成30年度を目標に収支均衡を目指します。			区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
					計画	千円	▲ 61,180	1,220	1,067	1,364	-
					実績						
	団体の中期計画等との関連性		強化・発展計画においては、平成30年度までに基金・繰越金を適正額にするとともに、収支均衡を図ることとしています。								
	取組の選定理由		地域福祉を推進する中核的な団体として、その使命を果たすためには経営基盤の強化が求められています。								
	評価指標の過年度結果分析及び平成29年度の目標水準の設定根拠		<p>【過年度分析】</p> <p>平成27年度は、新会計基準導入による影響を受け大きな収支不足を生じましたが、平成28年度は、社協活動費補助金が減額となったものの、コミュニティーソーシャルワーカーの増員による市負担金の増や介護保険事業並びに障害者福祉サービス事業の経営努力により利用者が増え収益増となりました。また、元気はつつ教室事業の送迎方法見直しによる事業費の大幅減により、計画値▲6,419千円を上回る成果を得ることができました。</p> <p>【目標水準の根拠】</p> <p>強化・発展計画の収支計画並びに平成29年度当初予算（新会計基準導入の影響があるため、28決算承認後、改めて収支計画を見直す予定です。）</p>								
外郭団体											

【平成29～31年度】浜松市外郭団体 コミットメント（平成29年4月策定）



1. 団体基本情報（平成29年4月1日現在）

団体名	公益社団法人 浜松市シルバー人材センター	市所管課	健康福祉部 高齢者福祉課
資本金	- 千円	市出資・出捐額 (市出資・出捐率)	- 千円 (- %)
設立目的 (簡潔に記載)	「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」の規定に基づき、定年退職者等への就業機会の提供等により、高齢者の能力の活用と生きがいの充実を図り、地域社会の活性化に寄与すること		
		設立年月	昭和57年6月

2. (政策実現のパートナーとして)市と外郭団体の関わり方

		廃止を検討すべき基準	該当状況
浜松市 (所管課)	外郭団体の必要性検証 (「浜松市外郭団体の設立及び運営に対する関与の基本方針」第5条第1項第1号)	設立目的について「達成した」場合、又は設立目標について「達成できないことが確定した」「外部的要因により達成若しくは消滅した」のいずれかに該当する場合は法人の廃止を検討	該当しない
		外郭団体の行う事業の大半の事業と同種又は類似の事業を行う民間法人がある場合は法人の廃止を検討	該当しない
		市から運営費補助、随意契約による委託及び職員派遣を現在行なっており、将来もこれらが不要と見込まれる場合は市の関与の廃止を検討	該当しない
		検証に対する考え方	シルバー人材センターは「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」に基づき設置されている公益社団法人であり、少子高齢化が進展する中で、その果たすべき役割は今後更に期待されています。事業運営にかかる自己財源は、事務費収入と会費収入のみに限定されており、法の趣旨や事業の公益性の観点から国及び市からの支援が必要であるため、今後も市の関与は必要です。
外郭団体	経常収支状況の過年度 (H29年度)実績に関する評価	-	
浜松市 (所管課)	コミットメントの過年度 (H29年度)実績に関する評価	-	
浜松市 (政策法務課)	経営改革方針 の必要性	-	
外郭団体	理念	「自主・自立、共働・共助」	
	ビジョン (コミットメント期間において、目指す基本方向)	1会員の増強と育成 2就業機会の拡大と開拓	
	(ビジョンに関連する外郭団体における計画等)	第4次5ヶ年計画（平成29～33年度）	
	上記計画における平成29年度の課題と重点目標	5年間の重点目標 1 会員の増強と育成 2 就業機会の拡大と開拓 3 経営の健全化 4 組織の充実	

3 コミットメント設定の考え方

浜松市 (所管課)	市が 団体に 求める 役割	役割	高齢者に就業機会を提供し、知識・経験・技能の活用と生きがいの充実を図り、地域社会の活性化に寄与すること		
		位置付け	<ul style="list-style-type: none"> ・はままつ友愛の高齢者プラン（計画期間：平成27～29年度） ・静岡労働局と浜松市の雇用対策協定に基づく事業計画（計画期間：年度毎） 		
					
	対応方針	浜松市が定める事業等の目標	1	より多くの高齢者が、知識・経験・技能を活用できる就業機会を得ることで、生きがいの充実が図られることを目指してください。	
		2	少子高齢化が進展する中で、経済の担い手として期待されている高齢者の就業先（契約金額）を拡大することで、地域経済の活性化に寄与することを目指してください。		
		3	事業収入を増加させ、経営の健全化を図ることを目指してください。		
					
外郭団体	コミットメント	外郭団体が策定し、浜松市に約束する内容	1	公益	会員数の増加
			2	公益	就業率の向上
			3	公益 財務	就業先の確保と事業収入の増加

公益…公益的な使命や市民（利用者）目線での達成する目標

財務…外郭団体の財務状況（市からの支出金含む）について達成する目標

組織…組織や業務プロセス改善等について達成する目標

その他…上記以外

4. コミットメント

コミットメント名			評価指標							
外 郭 団 体	1	公益	会員数の増加		会員数					
	概要	高齢者の就業機会と社会参加を推進するために、会員数を平成31年度に4,520人以上にします。		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
				計画	人	4,332	4,409	4,453	4,495	4,520
				実績						
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限			「会員自らの加入促進活動」をはじめ、出張入会説明会の開催、電子媒体・報道関係等によるPR活動を積極的に行い、平成31年度までに会員数を4,520人以上にします。						
	準指標1-1	会員拡大活動月間(10月チラシ配布等)		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
				計画	月	1	1	1	1	1
				実績						
	準指標1-2	出張入会説明会の開催		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
				計画	回	0	3	3	3	3
実績										
準指標1-3	入会説明会DVD製作		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
			計画	回	0	0	1	0	0	
			実績							
コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性			「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」(第5条)において地方公共団体は、「高齢者等の意欲及び能力に応じた雇用の機会その他の多様な就業の機会の確保等を図るために必要な施策を総合的かつ効果的に推進するように努める」とされています。これは、当センターの設立目的でもあり、その上で会員数の増強を図ることは欠かすことができないことです。平成29年度からスタートする当センター第4次5ヶ年計画においても、重点取り組み事項としています。							
評価指標の過年度結果分析及び平成29年度の目標水準の設定根拠			<p>【過年度分析】 会員拡大のため、会員一人ひとりのチラシ配布活動、自治会内での回覧、新聞折込(3回)を実施。また、新たな取り組みとして出張入会説明会を市内3ヶ所で実施した結果、過去最多会員数となりました。</p> <p>【目標水準の根拠】 定年延長等により急激な伸びは期待できない状況にありますが、会員一人ひとりのチラシ配布活動や自治会内での回覧、新聞折込の他、平成28年度に新たに実施した出張入会説明会を継続して実施し、幅広い年齢層の会員確保を図ります。</p>							
コミットメント名			評価指標							
2	公益	就業率の向上		就業率						
概要	高齢者の能力を活かした活力ある地域社会づくりに寄与するために、就業率を平成31年度に80.6%にします。		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
			計画	%	77.5	77.5	79.2	79.9	80.6	
			実績							
コミットメントを達成するための取組内容及び期限			就業機会の拡大・開拓に取り組むとともに、未就業会員を中心に希望職種の把握、就業相談会の開催等により、平成31年度までに就業率を80.6%にします。							
準指標2-1	希望職種調査		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
			計画	回	1	1	1	1	1	
			実績							
準指標2-2	就業相談会の開催		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
			計画	回	4	4	4	4	4	
			実績							
コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性			「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」(第5条)において地方公共団体は、「高齢者等の意欲及び能力に応じた雇用の機会その他の多様な就業の機会の確保等を図るために必要な施策を総合的かつ効果的に推進するように努める」とされています。これは、当センターの設立目的でもあり、平成29年度からスタートする当センター第4次5ヶ年計画においても、就業機会の拡大等による就業率向上を重点取り組み事項としています。							

評価指標の過年度結果分析及び 平成29年度の目標水準の設定根拠		【過年度分析】 平成22年度の最高就業率80.6%から年々低下しています。平成28年度には労働者派遣事業への積極的な取り組みにより、労働者派遣事業で就業している会員を含めた就業率は77.5%でした。								
		【目標水準の根拠】 就業機会の拡大・開拓に加え、労働者派遣事業の積極的な取り組みにより、多様な就業形態への対応を図り、会員の希望職種調査等、未就業の会員を中心に積極的に就業提供を行います。								
外 郭 団 体	コミットメント名		評価指標							
	3	公益 財務	就業先の確保と事業収入の増加	契約金額						
	概要	就業機会の拡大に努め、就業先の確保と事業収入の増加を図ります。契約金額を平成31年度には1,736,600千円以上にします。		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
				計画	千円	1,630,015	1,699,668	1,700,800	1,717,900	1,736,600
				実績						
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限		希望職種に応じた就業先を会員に提供するため就業推進委員会を中心に就業開拓に取り組みます。新規企業訪問や既存就業先へのアフターフォロー及び同一企業内での新規分野での開拓を行います。また、チラシやパンフレットの配布の他、マスコミ媒体等を活用し、センター事業をPRします。契約金額を平成31年度には1,736,600千円にします。							
	準指標3-1	開拓員等による企業訪問		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
				計画	件	624	296	300	310	320
				実績						
	準指標3-2	就業先拡大活動月間(10月チラシ配布等)		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
			計画	月	1	1	1	1	1	
			実績							
コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		事業運営に係る自己財源の確保が厳しい中、就業先の確保と事業収入の増加を図ることにより、自立的な運営を目指していく必要があります。また、第4次5ヶ年計画においても就業機会の拡大と開拓を掲げています。								
評価指標の過年度結果分析及び 平成29年度の目標水準の設定根拠		【過年度分析】 新聞折込等を活用したPRを実施するとともに、就業開拓員を中心に企業訪問等(296件)を行い、就業機会の拡大を図った結果、民間企業の契約額が伸び、計画を上回る結果となりました。								
		【目標水準の根拠】 景気の動向が不透明ですが、会員の希望職種を勘案した就業開拓に取り組み、就業先の確保と事業収入の増加を図ります。								

【平成29～31年度】浜松市外郭団体 コミットメント（平成29年4月策定）

1. 団体基本情報（平成29年4月1日現在）



団体名	社会福祉法人 浜松市社会福祉事業団		市所管課	健康福祉部 障害保健福祉課	
資本金	3,000	千円	市出資・出捐額 (市出資・出捐率)	3,000 千円 (100.0 %)	設立年月 平成4年2月
設立目的 (簡潔に記載)	障害の早期発見・早期療育、リハビリテーションまでの一貫した障害福祉支援を目的として、平成4年7月に開所した発達医療総合福祉センターの管理運営を行うため。				

2. (政策実現のパートナーとして)市と外郭団体の関わり方

		廃止を検討すべき基準	該当状況
浜松市 (所管課)	外郭団体の必要性検証 (「浜松市外郭団体の設立及び運営に対する関与の基本方針」第5条第1項第1号)	設立目的について「達成した」場合、又は設立目標について「達成できないことが確定した」「外部的要因により達成若しくは消滅した」のいずれかに該当する場合は法人の廃止を検討	該当しない
		外郭団体の行う事業の大半の事業と同種又は類似の事業を行う民間法人がある場合は法人の廃止を検討	該当しない
		市から運営費補助、随意契約による委託及び職員派遣を現在行なっており、将来もこれらが不要と見込まれる場合は市の関与の廃止を検討	該当しない
		検証に対する考え方	医療や福祉サービス、リハビリテーションを一貫して提供するとともに障害児者の自立更正、社会参加の支援を行う総合福祉施設を運営しており、障害福祉施策の中核的推進機関としての役割を担っています。同様の一体的サービスを提供できる市内民間法人は無く、今後も医療・福祉共にニーズの増加が見込まれていることから外郭団体は必要です。
外郭団体	経常収支状況の過年度(H29年度)実績に関する評価	—	
浜松市 (所管課)	コミットメントの過年度(H29年度)実績に関する評価	—	
浜松市 (政策法務課)	経営改革方針の必要性	—	

外 郭 団 体	理念	すべての人の生命に安全を、すべての人の生活に安心を、すべての人の人生に輝きを
	ビジョン (コミットメント期間において、目指す基本方向)	医療と福祉の専門性を通じて ①支援を必要とする人々のよき伴走者となる ②人生や地域をつなぐ軸となり安全網となる ③新たな価値観・文化を創造する
	(ビジョンに関連する外郭団体における計画等)	浜松市社会福祉事業団中期経営計画
	上記計画における平成29年度の課題と重点目標	<p>【課題】</p> <p>①友愛のさと診療所、子どものこころの診療所の医療部門では、利用（診療）延べ人数の増加が続いており、新患患者の待機期間が延長しています。</p> <p>②児童発達支援センター「ひまわり」の毎日通園部では、毎年、希望者全員の受入れが難しい状態が続いています。また、子どものこころの診療所では、重度の発達障がいのある子どもが増加しているため集団療育の場が必要となっています。</p> <p>③医療と障がい福祉サービスを総合的に提供できる当事業団へのニーズが引き続き増加すると予測されます。</p> <p>【重点目標】</p> <p>課題解決とニーズ解消のため、子どものこころの診療所に隣接する浜松市保健所・母子保健センターの一部を浜松市より有償貸与を受け、法人自主事業として新規の児童発達支援事業所の整備、開設を平成29年度夏頃に予定しています。また、専門職、採用困難職種の人材の確保、育成に努めていきます。</p>

3 コミットメント設定の考え方

浜松市 (所管課)	市が団体 役割に 求める	役割	医療と福祉サービスの連携した障害福祉施策の中核的推進機関としての役割を担うことを期待しています。		
		位置付け	浜松市障がい者計画		
					
	対応方針	浜松市が定める事業等の目標	1	医療と福祉サービスを一体的に提供できる強みを活かすため、専門性の高い職員の確保・育成に努めてください。	
2			充実したサービス提供を目指してください。		
3			利用者のニーズや時代のニーズを取り入れて、地域課題を解決することを目指してください。		
外郭団体	コミットメント	外郭団体が策定し、浜松市に約束する内容	1	組織	質の高いサービスを提供するため、利用者増加に応じた専門職員の適正な人材確保（内部登用による正規化を含む）により、専門性の更なる向上を図ります。
			2	公益	施設の機能を最大限活かし、施設部門で稼働率100%以上を維持していきます。
			3	公益	地域課題を解決するため、自主事業を実施します。
					

公益…公益的な使命や市民（利用者）目線での達成する目標

財務…外郭団体の財務状況（市からの支出金含む）について達成する目標

組織…組織や業務プロセス改善等について達成する目標

その他…上記以外

4. コミットメント

コミットメント名			評価指標							
外郭団体	1	組織	専門性の高い職員の確保・育成	正規職員の資格保有率						
	概要	質の高いサービスを提供するため、専門職員の適正な人材確保(内部登用による正規化を含む)、育成により、資格保有率100%を目指します。		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
				計画	人	-	-	88%	89%	90%
				実績						
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限		正規職員の安定的採用と非正規職員の正規職員への内部登用試験を実施します。また、給与の調整額の支給や研修助成制度の運用、介護・育児・看護にともなう休暇等の取得要件の緩和等、資格保有者の採用及び定着に向けて取り組めます。							
	準指標1-1	正規職員への内部登用試験の実施		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
				計画	回	1	1	1	1	1
				実績						
	コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		医療と福祉サービスを一体的に提供できる強みを活かすため、専門性の更なる向上を目指し、専門職員の人材確保(内部登用による正規化を含む)への取り組みを継続していきます。							
	評価指標の過年度結果分析及び平成29年度の目標水準の設定根拠		<p>【過年度分析】 新規事業の実施及び二つの診療所における患者数の増加に対応するための診療体制の強化として、内部登用も含めた専門職員の確保に努めました。</p> <p>【目標水準の根拠】 計画的に人材確保(内部登用による正規化を含む)への取り組みを継続していきます。</p>							
コミットメント名			評価指標							
2	公益	施設稼働率の維持		施設稼働率						
概要	施設の機能を最大限活かし、施設部門で稼働率100%以上を維持していきます。		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
			計画	%	110	109	109	109	109	
			実績							
コミットメントを達成するための取組内容及び期限		施設毎に目標稼働率を設定し、計画的に利用者を受け入れます。								
準指標2-1	定員に対する契約者人数		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
			計画	%	137	137	135	135	135	
			実績							
コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		安定した経営を行うために、利用料金収入である施設部門の稼働率100%を維持します。中期経営計画にも目標施設稼働率100%を掲げています。								
評価指標の過年度結果分析及び平成29年度の目標水準の設定根拠		<p>【過年度分析】 施設部門(かがやき、はばたき、ふれんず、ひまわり)にて、障害者総合支援法、児童福祉法に基づく定員を遵守しながら、全ての施設で稼働率100%以上を達成しました。</p> <p>【目標水準の根拠】 計画的に利用者を受け入れ、安定した稼働率の維持への取り組みを継続していきます。</p>								

コミットメント名		評価指標							
3	公益 地域課題の解決	自主事業実施数							
	概要 地域課題(市民が抱える様々な悩みや課題)を解決するため、自主事業を実施します。	区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
		計画	事業	8	9	9	9	9	
		実績							
コミットメントを達成するための取組内容及び期限		地域課題、ニーズに即応した自主事業を実施していきます。							
外郭団体	準指標3-1	自主事業 実施回数(延べ)	区分 計画 実績	単位 回	27年度 27	28年度 23	29年度 25	30年度 25	31年度 25
	準指標3-2	自主事業 参加人数(延べ)	区分 計画 実績	単位 人	27年度 692	28年度 873	29年度 700	30年度 700	31年度 700
	準指標3-3	事業の見直し(新規含む)	区分 計画 実績	単位 事業	27年度 8	28年度 9	29年度 9	30年度 9	31年度 9
コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		時代のニーズを捉え、自ら発信し、新たな事業を展開することで、地域課題を解決することを目指します。中期経営経計画にも、地域の福祉ニーズを先取りした取り組みを進めることを掲げています。							
評価指標の過年度結果分析及び平成29年度の目標水準の設定根拠		<p>【過年度分析】 地域支援・家族支援・啓発事業として平成28年度は、「運動発達遅滞児の保護者対象の早期育児支援グループ」「きょうだいの会」「まとまり食・ミキサー食勉強会」「児童発達支援事業所職員の勉強会」「子ども発達セミナー」「福祉講演会」「外部講師を招いたABA研修会」「外部講師を招いたりハビリテーション研修会」「理学療法士、作業療法士による特別支援学校への訪問指導」の9つの事業を実施しました。</p> <p>【目標水準の根拠】 地域の福祉ニーズを反映した自主事業を継続して実施するとともに、ニーズの変化に応じて、事業の見直しを随時実施していきます。</p>							

【平成29～31年度】浜松市外郭団体 コミットメント（平成29年4月策定）



1. 団体基本情報（平成29年4月1日現在）

団体名	公益財団法人 浜松市医療公社		市所管課	健康福祉部 病院管理課	
資本金	530,000	千円	市出資・出捐額 (市出資・出捐率)	530,000 千円 (100.0 %)	設立年月 昭和47年11月
設立目的 (簡潔に記載)	浜松医療センターの運営団体として、医療及び公衆衛生活動に関する各種事業を行う。				

2. (政策実現のパートナーとして)市と外郭団体の関わり方

		廃止を検討すべき基準	該当状況
浜松市 (所管課)	外郭団体の必要性検証 (「浜松市外郭団体の設立及び運営に対する関与の基本方針」第5条第1項第1号)	設立目的について「達成した」場合、又は設立目標について「達成できないことが確定した」「外部的要因により達成若しくは消滅した」のいずれかに該当する場合は法人の廃止を検討	該当しない
		外郭団体の行う事業の大半の事業と同種又は類似の事業を行う民間法人がある場合は法人の廃止を検討	該当しない
		市から運営費補助、随意契約による委託及び職員派遣を現在行なっており、将来もこれらが不要と見込まれる場合は市の関与の廃止を検討	該当しない
		検証に対する考え方	地域住民の命と健康を守る最後の砦である浜松医療センターの運営団体として存続していく必要があります。また、市内には、他にも急性期病院がありますが、当院は、公立病院として急性期医療、高度医療、政策的医療を行い地域医療を確保する必要があります。そのため、市は不採算事業への交付金の支出が必要不可欠です。よって当外郭団体は必要です。
外郭団体	経常収支状況の過年度 (H29年度)実績に関する評価	—	
浜松市 (所管課)	コミットメントの過年度 (H29年度)実績に関する評価	—	
浜松市 (政策法務課)	経営改革方針 の必要性	—	
外郭団体	理念	安全・安心な、地域に信頼される病院	
	ビジョン (コミットメント期間において、目指す基本方向)	(1) 患者の権利と尊厳を尊重し、患者中心の安全・安心な医療を提供します (2) オープンシステムを活用し、地域医療連携ネットワークを強化します (3) 地域の救急・災害医療を支え、小児・周産期医療を守ります (4) 時代の要請に応えた高度・先進医療を推進します (5) 医療に関する調査・研究を推進し、国内外に情報を発信します (6) 職員の教育・研修に努め、国際的に通じる真の医療人を育成します (7) 効率的な病院経営に努め、健全な財政基盤を確立します	
	(ビジョンに関連する外郭団体における計画等)	浜松医療センター中期計画 (H28～H32)	
	上記計画における平成29年度の課題と重点目標	課題：入院収益の減少 重点目標：専門医療の充実、救急医療体制の強化、退院支援の充実などによる収益の確保	

3 コミットメント設定の考え方

浜松市 (所管課)	市が 団体に 役割に 求める	役割		浜松医療センター中期計画に基づき、安心・安全な、地域に信頼される公立病院として、地域医療機関との連携及び役割分担のもと、質の高い救急医療、小児・周産期医療、感染症医療、災害その他の緊急時における医療等の政策的医療や高度専門医療を提供するとともに、民間のコスト意識やノウハウによる効率的な病院経営を期待します。また、市と協働による新病院建設を計画通り確実に実施するための協力を期待します。		
		位置付け		新公立病院改革プラン（計画期間：平成28～32年度）		
						
対応方針	浜松市が定める事業等の目標	1	高度専門医療や地域医療を担う公立病院としての役割を果たしつつ、安定した経営基盤を確立し、健全な病院経営を維持してください。			
		2	公立病院として、一般の医療から政策的医療・高度専門医療まで、地域住民に質の高い安全な医療を提供してください。			
		3	県西部地域の中核的な医療機関として、地域の医療水準の向上に努め、地域医療に貢献してください。			
						
外郭団体	コミットメント	外郭団体が策定し、浜松市に約束する内容	1	財務	持続可能な病院運営を行うため、経常収支比率100%を維持します。	
			2	公益	地域住民に政策的医療・高度専門医療を提供します。	
			3	公益	地域の診療所等と連携し、地域の医療の質を向上させるため、紹介・逆紹介を積極的に行います。	

公益…公益的な使命や市民（利用者）目線での達成する目標

財務…外郭団体の財務状況（市からの支出金含む）について達成する目標

組織…組織や業務プロセス改善等について達成する目標

その他…上記以外

4. コミットメント

コミットメント名			評価指標							
外郭団体	1	財務	持続可能な病院運営	経常収支比率100%の維持						
	概要	持続可能な病院運営を行い、新病院への移行を円滑に進めるため、黒字経営を維持します。		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
				計画	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
				実績						
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限		中期計画に掲げる事業期間中の経常収支比率100%を維持するため、診療報酬改定に対応した施設基準の取得などによる収入の確保、ベンチマークシステムを活用した薬品や材料の価格交渉などによる経費の節減に努めます。計画値の設定は、中期計画の終期(平成32年度)までとしています。							
	準指標1-1	入院収益		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
			計画	億円	111.6	109.8	113.1	113.3	113.5	
			実績							
	準指標1-2	外来収益		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
			計画	億円	35.2	35.5	35.9	36.0	36.0	
		実績								
コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		業務運営の改善及び効率化等を進め、病院運営を的確に行うため、中期計画に掲げる「経常収支比率100%の維持」とします。								
評価指標の過年度結果分析及び平成29年度の目標水準の設定根拠		<p>【過年度分析】 経常収益の減少など厳しい経営環境でしたが、実質的な利益である指定管理者変動負担金を市に納付することができ、経常収支比率100%を達成することができました。</p> <p>【目標水準の根拠】 医師をはじめとする職員の増員により人件費の増が見込まれますが、それ以上の収益の増を確保することにより、実質的な利益である指定管理者変動負担金を市に納付できるよう、経常収支比率100%の維持を目指します。</p>								
コミットメント名			評価指標							
2	公益	政策的医療・高度専門医療の提供	救急車受入患者数							
概要	地域住民に救急医療、小児・周産期医療、感染症医療、災害その他の緊急時における医療等の政策的医療や高度専門医療を提供します。		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
			計画	人	6,056	6,281	6,095	6,100	6,200	
			実績							
		分娩件数								
		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
		計画	件	1,337	1,189	1,225	1,250	1,300		
		実績								
コミットメントを達成するための取組内容及び期限		断らない救急医療の実現、周産期医療の受け入れ強化、感染症患者の受け入れ、災害時の医療救護活動等を行います。計画値の設定は、中期計画の終期(平成32年度)までとしています。								
コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		政策的医療・高度専門医療の提供は、公立病院の使命であり、地域医療の要となるもので、中期計画での重要な項目です。								
評価指標の過年度結果分析及び平成29年度の目標水準の設定根拠		<p>【過年度分析】 断らない救急医療を目指して取り組んだ結果、救急車受入患者数は6,281人と前年度を225人上回りました。分娩については、件数は前年対比で減となりましたが、分娩制限することなく、受け入れることが出来ました。</p> <p>【目標水準の根拠】 高齢化により救急車搬送患者の増加が予想されるため、断らない救急医療を目指し、6,000人強の目標数値を設定しました。分娩件数については、他施設での分娩受入数減少に伴う当院の増加を見込んで設定しています。</p>								

コミットメント名			評価指標							
外 郭 団 体	3	公益	地域医療への貢献	紹介率						
	概要	地域診療所等と連携し、県西部地域の医療の質の向上に関する業務を行います。また、地域性を考慮した特定健診・生活指導等を実施するとともに、地域住民の健康増進及び疾病予防のための公衆衛生活動を実施します。		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
				計画	%	75.0	78.6	80以上	80以上	80以上
				実績						
				逆紹介率						
	区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度			
	計画	%	69.5	70.3	70以上	70以上	70以上			
実績										
コミットメントを達成するための取組内容及び期限		地域の医療の質の向上に努めるため、他の医療機関との役割分担と連携強化を図り、紹介・逆紹介を積極的に行います。計画値の設定は、中期計画の終期(平成32年度)までとしています。								
コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		民間病院と公立病院の適切な役割分担の下で、地域医療への貢献は、公立病院の重要な責務と考えており、中期計画の項目としても掲げられています。								
評価指標の過年度結果分析及び平成29年度の目標水準の設定根拠		【過年度分析】 紹介・逆紹介率は年々増加しており、診療所等との連携がスムーズに行われています。								
		【目標水準の根拠】 引き続き高い水準を維持できるような目標を設定しました。								

【平成29～31年度】浜松市外郭団体 コミットメント（平成29年4月策定）



1. 団体基本情報（平成29年4月1日現在）

団体名	一般財団法人 浜松市清掃公社		市所管課	環境部 ごみ減量推進課	
資本金	10,000	千円	市出資・出捐額 (市出資・出捐率)	5,000 千円 (50.0 %)	設立年月 昭和44年4月
設立目的 (簡潔に記載)	環境衛生の向上及び環境保全に関する事業を行い、市民の快適な生活に寄与すること				

2. (政策実現のパートナーとして)市と外郭団体の関わり方

		廃止を検討すべき基準	該当状況
浜松市 (所管課)	外郭団体の必要性検証 (「浜松市外郭団体の設立及び運営に対する関与の基本方針」第5条第1項第1号)	設立目的について「達成した」場合、又は設立目標について「達成できないことが確定した」「外部的要因により達成若しくは消滅した」のいずれかに該当する場合は法人の廃止を検討	該当しない
		外郭団体の行う事業の大半の事業と同種又は類似の事業を行う民間法人がある場合は法人の廃止を検討	該当しない
		市から運営費補助、随意契約による委託及び職員派遣を現在行なっておらず、将来もこれらが不要と見込まれる場合は市の関与の廃止を検討	該当しない
		検証に対する考え方 設立目的について：安定したし尿汲み取りや浄化槽清掃等は今後も公衆衛生の維持のために必要なものです。 同種の事業について：清掃公社は、長年にわたり旧浜松市域の唯一の許可業者として、し尿・浄化槽汚泥収集に携わっており、安定的な業務の継続が必要です。 市の関与について：経営の安定を継続するため市の関与は必要です。以上のことから、清掃公社はし尿処理部門における公益的な部分を担っており、外郭団体として必要と判断します。	
外郭団体	経常収支状況の過年度 (H29年度)実績に関する評価	—	
浜松市 (所管課)	コミットメントの過年度 (H29年度)実績に関する評価	—	
浜松市 (政策法務課)	経営改革方針 の必要性	—	
外郭団体	理念	市域の環境保全及び公衆衛生の向上に寄与するため、生活環境の清潔維持に努めます。	
	ビジョン (コミットメント期間において、目指す基本方向)	①設立時の使命である「し尿及び浄化槽汚泥の安定・確実な収集作業」を行い、環境衛生の向上に努めます。 ②清掃公社の業務量は、下水道の進捗により大きく影響を受けることとなり、今後も減少傾向にありますので、独立採算の経営を継続し、更なる安定経営の確保に努力をしていきます。	
	(ビジョンに関連する外郭団体における計画等)	第2次経営計画（平成29年度～平成33年度）	
	上記計画における平成29年度の課題と重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・効率的な運営による経営の安定化 ・業務量に見合った職員数の確保と適正な職員配置 ・ベテラン職員から若手職員への技術伝承 ・職員一人ひとりの意識改革や資質向上 	

3 コミットメント設定の考え方

浜松市 (所管課)	市が 団体に 役割に 求める	役割		清掃公社は、し尿・浄化槽汚泥の収集運搬や浄化槽清掃等を通じて、環境衛生の向上及び環境保全に関する事業を行い、市民サービスの維持・向上に努めることや、平時における他の許可事業者の模範的な役割を担うとともに、災害時には市との行政協力を積極的に行うことを期待します。		
		位置付け		浜松市一般廃棄物処理実施計画		
						
	対応 方針	浜松市が 定める 事業等の 目標		1	し尿収集業務は着実な収集作業に努めるとともに、浄化槽清掃についても業務を適切に実施してください。	
2				職員数の適正化や黒字決算の維持により、安定した組織運営に努めてください。		
3						
外郭 団体						
	コ ミ ツ ト メ ン ト	外郭団体が策定 し、浜松市に 約束する内容		1	公益	安定したし尿及び浄化槽汚泥の収集運搬業務を行い、市民の生活環境の清潔維持及び公共水域の水質保全に寄与してまいります。
				2	組織	独立採算の経営を継続するため、業務量に見合った職員数の適正化に努め、黒字決算による健全経営をしてまいります。
				3		

公益…公益的な使命や市民（利用者）目線での達成する目標

財務…外郭団体の財務状況（市からの支出金含む）について達成する目標

組織…組織や業務プロセス改善等について達成する目標

その他…上記以外

4. コミットメント

		コミットメント名	評価指標						
外 郭 団 体	1	公益 市民の生活環境の清潔維持及び公共水域の水環境の保全	し尿及び浄化槽汚泥の安定・確実な収集						
	概要	安定したし尿及び浄化槽汚泥の収集運搬業務を行い、市民の生活環境の清潔維持及び公共水域の水質保全に寄与してまいります。	区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
			計画	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
			実績						
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限		・快適な生活環境を維持するため、着実なし尿の収集を行います。 ・水環境の保全に寄与するため、浄化槽清掃の法定清掃回数の周知徹底に努めます。						
	コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		公社事業は、市民の快適かつ衛生的な生活環境の維持に必要不可欠であります。						
評価指標の過年度結果分析及び平成29年度の目標水準の設定根拠		【過年度分析】計画どおり達成できました。 【目標水準の根拠】計画的なし尿の定日収集を行い、100%であることが、本来あるべき姿です。浄化槽清掃の法定清掃回数の周知徹底に努め、公共水域の水質保全に寄与してまいります。							
		コミットメント名	評価指標						
外 郭 団 体	2	組織 安定経営の継続	黒字決算による健全経営の維持						
	概要	独立採算の経営を継続するため、業務量に見合った職員数の適正化に努め、黒字決算による健全経営をしております。	区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
			計画		▲ 107,519 (市への寄附3億円含む)	▲ 53,160 (市への寄附2億円含む)	45,552	25,148	39,516
			実績	千円					
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限		職員数の適正化及び事業経費の節減、並びに業務の合理化に取り組み、健全かつ安定経営を維持します。						
	準指標2-1	業務量に見合った職員数の適正化	区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
		計画	人	60	58	58	58	57	
		実績							
コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		・黒字決算による健全経営を持続し、お客様に満足していただけるサービスの提供を心がけます。 ・安定経営を維持するため、業務量に見合った職員数の適正化に努めます。							
評価指標の過年度結果分析及び平成29年度の目標水準の設定根拠		【過年度分析】公益目的支出計画の実施に伴い、市へ平成26年度に3億円、平成27年度に3億円、平成28年度に2億円の寄附を行い、赤字決算が続きましたが、いずれの年度も寄附を除く当年度純利益は黒字であり、健全経営を維持することができました。 【目標水準の根拠】平成29年3月に策定しました第2次経営計画により、今後、減少傾向にある業務量の推移を予測し、それに応じた経費の節減等を考慮しました。							

【平成29～31年度】浜松市外郭団体 コミットメント（平成29年4月策定）



1. 団体基本情報（平成29年4月1日現在）

団体名	公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構	市所管課	産業部産業振興課
資本金	965,700 千円	市出資・出捐額 (市出資・出捐率)	543,000 千円 (56.2%)
設立目的 (簡潔に記載)	産学官との交流及び連携のもとに各種事業を通じて地域企業の経営基盤強化を図ることにより、浜松地域はもとより静岡県産業経済の発展に寄与することを目的とする。		
		設立年月	昭和56年3月

2. (政策実現のパートナーとして)市と外郭団体の関わり方

		廃止を検討すべき基準	該当状況
浜松市 (所管課)	外郭団体の必要性検証 (「浜松市外郭団体の設立及び運営に対する関与の基本方針」第5条第1項第1号)	設立目的について「達成した」場合、又は設立目標について「達成できないことが確定した」「外部的要因により達成若しくは消滅した」のいずれかに該当する場合は法人の廃止を検討	該当しない
		外郭団体の行う事業の大半の事業と同種又は類似の事業を行う民間法人がある場合は法人の廃止を検討	該当しない
		市から運営費補助、随意契約による委託及び職員派遣を現在行なっており、将来もこれらが不要と見込まれる場合は市の関与の廃止を検討	該当しない
		検証に対する考え方	設立目的については産業振興施策の中核的な推進機関として地域の産業経済発展のための各種事業を展開しています。同種の事業、随意契約の委託については地域企業の様々な課題や要求に対して満足度の高い対応ができる体制を有し総合的に高いレベルで事業実施できる唯一の機関です。職員派遣等については市の施策遂行のため組織の一員としてその役割を担っています。よって外郭団体は必要です。
外郭団体	経常収支状況の過年度 (H29年度)実績に関する評価	—	
浜松市 (所管課)	コミットメントの過年度 (H29年度)実績に関する評価	—	
浜松市 (政策法務課)	経営改革方針 の必要性	—	
外郭団体	理念	「はままつ産業イノベーション構想」の実現に向けて、地域企業における経営資源の強化や成長分野への参入支援等を推進する。	
	ビジョン (コミットメント期間において、目指す基本方向)	経営・技術・知財・地域連携のコーディネーター等を配置し、創業から、人材育成、知財活用、新技術・新製品開発、新事業展開、補助金等の資金確保、販路開拓まで、企業の各段階のニーズに応じたきめ細かな支援事業の立案・実施を通じて、地域企業のイノベーションの実現を支援する。	
	(ビジョンに関連する外郭団体における計画等)	なし	
	上記計画における平成29年度の課題と重点目標	地域企業の状況・ニーズなどに基づく支援を求められているため、企業訪問等による情報収集を積極的に行い、地域企業の課題解決をサポートすることにより経営資源の強化を推進します。また、時代を先読み、優れた技術の融合などを図りながら成長産業・新産業の創出を支援します。	

3 コミットメント設定の考え方

浜松市 (所管課)	市が 団体に 役割に 求める	役割		<ul style="list-style-type: none"> ・「はままつ産業イノベーション構想」において、構想を実現するための地域の総合的な産業支援機関として、公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構を位置付けており、本市の産業振興施策の中核的な推進機関としての役割を期待します。 ・県西部地域の市町との連携を強化した広域事業を展開することで、地域全体の発展を図るとともに、市内企業と外部資源とのイノベーション創出を担う推進機関としての役割を期待します。 									
		位置付け		<ul style="list-style-type: none"> ・浜松市未来ビジョン（計画期間：平成27～56年度） ・はままつ産業イノベーション構想（計画期間：平成23～32年度） 									
													
	対応 方針	浜松市が 定める 事業等の 目標		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="background-color: #ffff00; text-align: center;">1</td> <td>成長分野における新規事業化数の増加</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #ffff00; text-align: center;">2</td> <td>経営の健全化</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #ffff00; text-align: center;">3</td> <td></td> </tr> </table>	1	成長分野における新規事業化数の増加	2	経営の健全化	3				
1	成長分野における新規事業化数の増加												
2	経営の健全化												
3													
外郭 団体													
	コ ミ ツ ト メ ン ト	外郭団体が策定し、浜松市に約束する内容		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="background-color: #ffff00; text-align: center;">1</td> <td style="background-color: #ffff00; text-align: center;">公益</td> <td>新産業の創出・新事業展開に向け、地域企業の研究開発を支援し、製品試作や事業化を支援します。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #ffff00; text-align: center;">2</td> <td style="background-color: #ffff00; text-align: center;">財務</td> <td>財産の取り崩しを伴う「地場産業振興事業」と公益事業会計の過年度黒字分の解消事業を除き、収支相償を達成します。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #ffff00; text-align: center;">3</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	1	公益	新産業の創出・新事業展開に向け、地域企業の研究開発を支援し、製品試作や事業化を支援します。	2	財務	財産の取り崩しを伴う「地場産業振興事業」と公益事業会計の過年度黒字分の解消事業を除き、収支相償を達成します。	3		
	1	公益	新産業の創出・新事業展開に向け、地域企業の研究開発を支援し、製品試作や事業化を支援します。										
	2	財務	財産の取り崩しを伴う「地場産業振興事業」と公益事業会計の過年度黒字分の解消事業を除き、収支相償を達成します。										
3													

公益…公益的な使命や市民（利用者）目線での達成する目標

財務…外郭団体の財務状況（市からの支出金含む）について達成する目標

組織…組織や業務プロセス改善等について達成する目標

その他…上記以外

4. コミットメント

コミットメント名			評価指標						
外郭団体	1	公益 成長分野における新規事業化数の増加	支援の成果による製品試作数・事業化数						
	概要	新産業の創出・新事業展開に向け、地域企業の研究開発を支援し、製品試作や事業化を支援します。	区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
			計画	件	31	35	30	30	30
			実績						
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限		財団の経営、技術、知財、地域連携のコーディネーターが、国県市の施策と一体になって、地域企業の製品開発や事業化を支援します。						
	準指標1-1	人材育成事業受講企業数	区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
			計画	社	680	777	700	700	700
			実績						
	準指標1-2	企業訪問数	区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
			計画	件	-	978	1,000	1,000	1,000
		実績							
コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		「はままつ産業イノベーション構想」が目指す新産業の創出・新事業展開には、個々の企業の製品化、事業化の積み重ねがベースとなります。							
評価指標の過年度結果分析及び平成29年度の目標水準の設定根拠		<p>【過年度分析】 新産業の創出・新事業展開に向け、地域企業の研究開発を通じた製品試作や事業化を支援した結果、目標数を超える成果がありました。</p> <p>【目標水準の根拠】 国県市等の施策と一体となった経営・知財・技術等のコーディネーターの支援により、個々の企業の製品化、事業化を促進します。</p>							
コミットメント名			評価指標						
2	財務	経営健全化の達成	当期経常増減額から「地場産業振興事業」と過年度黒字解消分を除いた額						
概要	財産の取り崩しを伴う「地場産業振興事業」と公益事業会計の過年度黒字分の解消事業を除き、収支相償を達成します。	区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
		計画	千円	42,756	24,337	0	0	0	
		実績							
コミットメントを達成するための取組内容及び期限		財団運営の経費節減に努め、毎年度決算の上記黒字化を達成します。							
準指標2-1	法人会計(管理費会計)については黒字化を目指す	区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
		計画	千円	11,872	11,761	0	0	0	
		実績							
コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		公益財団法人として、「公益事業の収支相償」と「財団の経営健全化」と両立させていくために、公益事業については事業計画にもとづいて事業費を執行していくこと、財団運営に関しては、経費削減・安定的な収入の確保につとめます。							
評価指標の過年度結果分析及び平成29年度の目標水準の設定根拠		<p>【過年度分析】 毎月作成している事業行程表で、事業の進捗管理を行っています。経営の黒字化については、経営の健全化の努力の結果もありますが、時限(5か年)の国補助金プロジェクトが28年度で終了、また県へ28年度中に基金の返還など、財政基盤が不安定であったため、自主財源での事業は縮小、欠員人員の確保も積極的に行わなかったことも黒字化要因です。</p> <p>【目標水準の根拠】 H29年度以降については、事業計画どおり事業を行いながら、経費節減につとめ、特殊要因を除いた実質黒字決算を確保します。</p>							
コミットメント名			評価指標						

【平成29～31年度】浜松市外郭団体 コミットメント（平成29年4月策定）



1. 団体基本情報（平成29年4月1日現在）

団体名	公益財団法人 浜松観光コンベンションビューロー	市所管課	産業部 観光・シティプロモーション課
資本金	480,000 千円	市出資・出捐額 (市出資・出捐率)	100,000 千円 (20.8 %)
設立目的 (簡潔に記載)	浜松市及びその周辺地域の有する文化的・社会的・経済的優位性を生かし、地域社会の健全な発展を目指し、国内外の観光客及びコンベンションの誘致等を行うことにより、観光コンベンションの振興を図り、もって国際相互理解の増進並びに地域経済の活性化及び文化の向上に資することを目的とする。		
設立年月	平成元年6月		

2. (政策実現のパートナーとして)市と外郭団体の関わり方

		廃止を検討すべき基準	該当状況
浜松市 (所管課)	外郭団体の必要性検証 (「浜松市外郭団体の設立及び運営に対する関与の基本方針」第5条第1項第1号)	設立目的について「達成した」場合、又は設立目標について「達成できないことが確定した」「外部的要因により達成若しくは消滅した」のいずれかに該当する場合は法人の廃止を検討	該当しない
		外郭団体の行う事業の大半の事業と同種又は類似の事業を行う民間法人がある場合は法人の廃止を検討	該当しない
		市から運営費補助、随意契約による委託及び職員派遣を現在行なっておらず、将来もこれらが不要と見込まれる場合は市の関与の廃止を検討	該当しない
		検証に対する考え方	設立目的達成に向けて取り組んできたが、DMOの候補法人として国から認定を受け、平成30年4月設立・移行準備を進めています。観光プラットフォームの中核を担うために、さらなる組織及び業務の拡充、KPIの設定等を含め、本市として、DMOの活動が軌道に乗るまでの間、運営費補助や随意契約の委託、職員派遣等を継続して行きます。そのため、当該外郭団体は必要です。
外郭団体	経常収支状況の過年度 (H29年度)実績に関する評価	—	—
浜松市 (所管課)	コミットメントの過年度 (H29年度)実績に関する評価	—	—
浜松市 (政策法務課)	経営改革方針 の必要性	—	—
外郭団体	理念	国内外から、観光目的として、コンベンションの開催地として、信頼され、好まれ、そして選ばれる「浜松」!!	
	ビジョン (コミットメント期間において、目指す基本方向)	財団の柔軟性と機動力を活用し、 ①「人」をつなぐ ②「地域」をつなぐ ③「情報」をつなぐ	
	(ビジョンに関連する外郭団体における計画等)	中期計画 (平成27年度～29年度)	
	上記計画における平成29年度の課題と重点目標	浜名湖観光圏におけるプラットフォーム機能の強化 コンベンション誘致 プロパー職員の育成	

3 コミットメント設定の考え方

浜松市 (所管課)	市が団体に求める役割	役割	コンベンション及び観光の持続的な発展を推進するため、「コンベンションの誘致及び主催者への支援事業」、「観光振興事業」、「観光インフォメーションセンターの管理運営」を3本柱として、「コンベンションの誘致事業」、「コンベンションの支援事業」、「観光圏整備推進事業」、「インバウンドの推進事業」、「観光インフォメーションセンターの管理運営事業」等を推進するほか、「浜松まつり組織委員会」、「出世の街 浜松 家康公祭り実行委員会」、「都市型レンタサイクル推進協議会」等において事務局を務め、観光地域づくりプラットフォームの役割を担います。	
	市が団体に求める位置付け	位置付け	<ul style="list-style-type: none"> ・浜松市観光ビジョン（計画期間：平成19～28年度（29年度に新規ビジョン策定）） ・浜名湖観光圏整備実施計画（計画期間：平成26～30年度） 	
				
対応方針	浜松市が定める事業等の目標	1	地域全体のコーディネーターとして、地域に多数存在する魅力ある観光資源を掘り起こすとともに、地域独自の価値に基づいた滞在プログラムを造成し、情報発信によって、来訪者の回遊性の向上や滞在時間の延長を図ってください。	
		2	地域と地域をつなぐ観光地域づくりプラットフォームとして、地域にある民間事業者をとりまとめ、観光情報の集約、一元化及びコンテンツの充実を図り、来訪者に適切な情報提供を行い、情報の一元化によるWEBサイトの見える化を実現してください。	
		3	戦略的コンベンションセールスマーケティング活動として、国内外のコンベンションを誘致するため、企画提案型のセールス活動や視察コーディネートなどを行い、地域への経済効果を生み出してください。	
				
外郭団体	コミットメント	外郭団体が策定し、浜松市に約束する内容	1	公益 地域全体のコーディネーターとして、地域に多数存在する魅力ある観光資源の掘り起こしを行うとともに、地域独自の価値に基づいた滞在プログラムを造成し、情報発信することによって、来訪者の回遊性の向上や滞在時間の延長を図ります。
			2	公益 2～3年後を見据えて国内外のコンベンションを誘致するため、企画提案型のセールス活動や視察コーディネートなどに積極的に取り組み、地域への経済効果として平成31年度におけるコンベンション総消費額90億円を達成します。
			3	組織 観光地域づくりのプラットフォームとして、また、日本版DMOの候補法人として登録された（仮称）浜松・浜名湖地域DMOの受け皿法人として機能強化に向けて検討するとともに、プロパー職員の専門知識の習得や能力の開発に努め、組織力の強化を図ります。

公益…公益的な使命や市民（利用者）目線での達成する目標

財務…外郭団体の財務状況（市からの支出金含む）について達成する目標

組織…組織や業務プロセス改善等について達成する目標

その他…上記以外

4. コミットメント

コミットメント名			評価指標							
外郭団体	1	公益	地域をつなぐ「プラットフォーム」戦略	滞在プログラム参加者数						
	概要	地域全体のコーディネーターとして、地域に多数存在する魅力ある観光資源の掘り起こしを行い、地域独自の価値に基づいた滞在プログラムを造成し、おもてなしの向上や地域の情報を発信することによって、来訪者の回遊性の向上や滞在時間の延長を図ります。		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
				計画	人	3,778	3,055	3,100	3,200	3,300
				実績						
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限		地域の回遊性、滞在時間の向上を図るため、着地型旅行や体験メニュー等の造成・収集や効果的な情報発信に努め、当地域における滞在プログラムの参加者数を、平成31年度に、年間3,300名にします。							
	準指標1-1	海外視察受け入れ数		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
				計画	人	594	1,232	1,300	1,400	1,500
				実績						
	準指標1-2	「浜松だいすきネット」ページビュー数		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
				計画	万件	418	452	460	470	480
			実績							
コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		観光地域づくりプラットフォームとして、滞在プログラム造成や情報発信の機能強化を図る必要があり、中期計画においても、情報の一元化と効果的な情報提供に努め、ブランドイメージの確立を目指しています。								
評価指標の過年度結果分析及び平成29年度の目標水準の設定根拠		<p>【過年度分析】観光地域づくりプラットフォームとして、地域内の関係団体との連携強化を図りながら観光資源の掘り起こしと新たな体験プログラムの造成、観光情報の一層の集約化に取り組むとともに、「女子旅特集」などターゲットを明確にした取り組みを実施した結果、目標を達成することが出来ました。</p> <p>【目標水準の根拠】観光地域づくりプラットフォームとして、ニーズ調査を行うとともに、継続して観光資源の掘り起こしとニーズを踏まえた新たな体験プログラムの造成に積極的に取り組みます。</p>								
コミットメント名			評価指標							
外郭団体	2	公益	戦略的コンベンション セールスマーケティング活動	コンベンション「総消費額」						
	概要	2～3年後を見据えて国内外のコンベンションを誘致するため、企画提案型のセールス活動や視察コーディネートなどに積極的に取り組み、地域への経済効果を生み出します。		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
				計画	億円	90	83	90	90	90
				実績						
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限		コンベンション関連産業とのネットワークを構築し、平成31年度までに、支援するコンベンションを年間180件に増加させ、コンベンション総消費額を90億円にします（※浜松まつりを除く）。							
	準指標2-1	コンベンション支援件数		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
				計画	件	171	166	180	180	180
				実績						
	コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		コンベンションの開催は経済効果が高いことから中期計画においても重点分野の一つとして位置付け、誘致に向けプロモーションを強化するとともに、地域の関連企業と連携してサポートプログラム等の充実を目指しています。							
	評価指標の過年度結果分析及び平成29年度の目標水準の設定根拠		<p>【過年度分析】今後のコンベンション誘致に繋がるキーパーソンに対してアプローチを積極的に行うとともに、助成金制度の見直しや担当職員のスキル向上に取り組んでいますが、現在、メイン施設となるアクティシティの稼働率が高いことが、誘致が増えない要因となっています。</p> <p>【目標水準の根拠】経済効果の高いコンベンションの誘致に向け、戦略的なセールス活動を積極的に展開していきませんが、現在、メイン施設となるアクティシティの稼働率が高く、今以上の誘致が困難な状況にあることから、現状維持としました。</p>							

		コミットメント名	評価指標						
外 郭 団 体	3	組織 外部環境の変化に即した組織体制整備 人材育成	外部及び内部研修の回数						
	概要	観光地域づくりのプラットフォームとして、また、日本版DMOの候補法人として登録された(仮称)浜松・浜名湖地域DMOの受け皿法人として機能強化に向けて検討するとともに、プロパー職員の専門知識の習得や能力の開発に努め、組織力の強化を図ります。	区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
			計画				18	20	22
			実績	回	12	16			
		コミットメントを達成するための取組内容及び期限	日本版DMOへの平成30年4月の移行を目指し、観光地域づくりプラットフォームとしての組織再編に取り組みます。あわせて、プロパー職員の専門性を高め、職員の資質向上を図ります。						
	コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性	「浜松・浜名湖地域DMO」が日本版DMOの候補法人として登録され、当財団がその受け皿となることから、一層の機能強化とプロパー職員の資質向上を図る必要があるため。中期計画においても、プロパー職員の育成を重点分野の一つとして掲げています。							
	評価指標の過年度結果分析及び 平成29年度の目標水準の設定根拠	【過年度分析】研修を受講できる機会を増やすとともに、積極的な参加を促しています。特に、日本版DMOに向けて職員の専門性を高めるため、関連するセミナーへの職員の参加等、職員の一層の意識改革に取り組んでいます。 【目標水準の根拠】 日本版DMOの候補法人の受け皿としてプロパー職員の資質向上を今以上に図るため、関連するセミナー等に積極的に参加していきます。							

【平成29～31年度】浜松市外郭団体 コミットメント（平成29年4月策定）



1. 団体基本情報（平成29年4月1日現在）

団体名	公益財団法人浜松市勤労福祉協会		市所管課	産業部	産業総務課
資本金	110,000	千円	市出資・出捐額 (市出資・出捐率)	50,000 千円 (45.5 %)	設立 年月
設立目的 (簡潔に記載)	勤労者の福祉の増進、勤労者の知識及び教養の向上のための事業を実施				
	昭和63年3月				

2. (政策実現のパートナーとして)市と外郭団体の関わり方

		廃止を検討すべき基準	該当状況
浜松市 (所管課)	外郭団体の必要性検証 (「浜松市外郭団体の設立及び 運営に対する関与の基本方針」 第5条第1項第1号)	設立目的について「達成した」場合、又は設立目標について「達成できないことが確定した」「外部的要因により達成若しくは消滅した」のいずれかに該当する場合は法人の廃止を検討	該当しない
		外郭団体の行う事業の大半の事業と同種又は類似の事業を行う民間法人がある場合は法人の廃止を検討	該当しない
		市から運営費補助、随意契約による委託及び職員派遣を現在行なっており、将来もこれらが不要と見込まれる場合は市の関与の廃止を検討	該当しない
		検証に対する考え方 本協会は、中小企業勤労者の福利厚生事業の中核機関として事業を実施し、中小企業と大企業との格差縮小に向けた取り組みを行っている。同種の事業を行う民間法人は従業員数の多い企業を対象に全国的な事業を展開する傾向がある中、本協会では会員の日常生活に密着した地元の施設やサービスを利用できる事業を展開している。また、会員のニーズに応じた健康維持事業や余暇活動などのメニューを用意し、勤労者の福祉の増進を図り、地域社会の発展に寄与している。よって、本外郭団体は必要であると判断する。	
外郭団体	経常収支状況の過年度 (H29年度)実績に関する評価	—	
浜松市 (所管課)	コミットメントの過年度 (H29年度)実績に関する評価	—	
浜松市 (政策法務課)	経営改革方針 の必要性	—	
外郭団体	理念	勤労者とその家族のための豊かな暮らしを保障する福利厚生の充実を図り、地域社会の活性化を目指します。	
	ビジョン (コミットメント期間において、目指す基本方向)	①勤労者とその家族の福利厚生の充実を図ります。 ②中小企業の振興及び地域社会の発展に寄与していきます。	
	(ビジョンに関連する外郭団体における計画等)	永続的な公益事業の推進を目指した、財務・組織の強化を図るための「自立化プラン」及び「実施計画」	
	上記計画における平成29年度の課題と重点目標	事務の効率化を目的に会計システムのクラウド化及びグループウェアを推進していきます。 理念並びにビジョンに基づき、浜松市・湖西市勤労者共済会の会員数の目標達成及び実施事業の充実を図っていきます。	

3 コミットメント設定の考え方

浜松市 (所管課)	市が 団体に 役割に 求める	役割		<ul style="list-style-type: none"> ・ 求職者の企業選択の条件として福利厚生の充実が重要視される中、中小企業単独では実施が困難な福利厚生事業を行い、中小企業の魅力を高めて労働力の確保に繋げられることを期待します。 ・ 中小企業の福利厚生事業の中核機関として事業を一層充実し、勤労者の福祉の増進を図り、地域社会の発展に寄与することを期待します。 		
		位置付け				
						
	対応 方針	浜松市が 定める 事業等の 目標	1	福利厚生事業等の一層の充実を図り、会員の満足度向上を目指します。		
2			より多くの中小企業勤労者が福利厚生サービスを受けられるよう、会員数の拡大に努めます。			
3						
						
外郭 団体	コ ミ ツ ト メ ン ト	外郭団体が策定 し、浜松市に 約束する内容		1	公益	事業満足度（5段階）を含むアンケート調査の実施により、会員のニーズに沿った事業を開催し、会員の満足度を高めます。
				2	組織	全職員による広報活動及び効果的な広報ツール検討と活用により会員の拡大に努めます。
				3		

公益…公益的な使命や市民（利用者）目線での達成する目標

財務…外郭団体の財務状況（市からの支出金含む）について達成する目標

組織…組織や業務プロセス改善等について達成する目標

その他…上記以外

4. コミットメント

コミットメント名			評価指標							
外郭団体	1	公益	満足度が高い事業の実施	5段階評価における評価4以上の割合						
	概要	事業満足度(5段階)を含むアンケート調査の実施により、会員のニーズに沿った事業を開催し、会員の満足度を高めます。		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
				計画	%	-	-	90	90	90
				実績						
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限		事業参加者へのアンケート調査を事業内容の充実に活かし、参加者の満足度が継続的に高水準を保てるよう努めます。							
	準指標1-1	アンケート調査の実施		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
				計画	回	-	-	15	15	15
				実績						
	コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		会員ニーズの把握により事業の見直しを行い、自立化プラン実施計画に掲げる会員の拡大に繋げていきます。							
	評価指標の過年度結果分析及び平成29年度の目標水準の設定根拠		<p>【過年度分析】 平成28年度は89.6%</p> <p>【目標水準の根拠】 高い満足度を維持し、会員の退会防止につなげます。</p>							
コミットメント名			評価指標							
2	組織	会員拡大策の実施		浜松市・湖西市勤労者共済会会員数						
概要	全職員による広報活動及び効果的な広報ツール検討と活用により会員の拡大に努めます。		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
			計画	人	-	-	21,150	21,900	22,700	
			実績							
コミットメントを達成するための取組内容及び期限		職員意識の向上と効率的な広報活動の実施により、平成31年度末までに会員数22,700人を達成します。								
準指標2-1	会員獲得戦略会議の開催		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
			計画	回	-	-	6	6	6	
			実績							
準指標2-2	新規事業所紹介キャンペーンの実施		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
			計画	回	-	-	6	6	6	
			実績							
準指標2-3	加入促進ダイレクトメールの発送		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
			計画	件	-	-	1,000	1,000	1,000	
			実績							
コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		会員数の拡大が自立化プラン第Ⅱ期(平成29年度～31年度)実施計画での最も重要な目標です。								
評価指標の過年度結果分析及び平成29年度の目標水準の設定根拠		<p>【過年度分析】 自立化プラン実施計画に掲げた目標会員数については、平成28年度まで各年度達成しました。</p> <p>【目標水準の根拠】 平成34年度までに25,000人を達成するために各年度目標を設定しました。</p>								
外郭団体			外郭団体							

【平成29～31年度】浜松市外郭団体 コミットメント（平成29年4月策定）



1. 団体基本情報（平成29年4月1日現在）

団体名	公益財団法人 浜松市花みどり振興財団	市所管課	都市整備部 緑政課
資本金	55,000 千円	市出資・出捐額 (市出資・出捐率)	55,000 千円 (100.0 %)
設立目的 (簡潔に記載)	花き類の栽培や展示等の事業を通して、花みどりの普及と情操教育の場の提供に努めるとともに、園芸文化の創造とその情報を発信することにより、浜松市及び浜名湖周辺の地域振興を図る団体として市民・地域の生活に潤いと安らぎを与え、もって地域社会の活性化に資すること。		
		設立年月	昭和44年10月

2. (政策実現のパートナーとして)市と外郭団体の関わり方

		廃止を検討すべき基準	該当状況
浜松市 (所管課)	外郭団体の必要性検証 (「浜松市外郭団体の設立及び運営に対する関与の基本方針」第5条第1項第1号)	設立目的について「達成した」場合、又は設立目標について「達成できないことが確定した」「外部的要因により達成若しくは消滅した」のいずれかに該当する場合は法人の廃止を検討	該当しない
		外郭団体の行う事業の大半の事業と同種又は類似の事業を行う民間法人がある場合は法人の廃止を検討	該当しない
		市から運営費補助、随意契約による委託及び職員派遣を現在行なっており、将来もこれらが不要と見込まれる場合は市の関与の廃止を検討	該当しない
		検証に対する考え方	設立目的については今後も継続して追求していきます。同種の事業については現時点で民間法人はありません。運営費補助や随意契約の委託、職員派遣等については市の関与は必要と考えています。よって外郭団体は必要です。
外郭団体	経常収支状況の過年度(H29年度)実績に関する評価	—	
浜松市 (所管課)	コミットメントの過年度(H29年度)実績に関する評価	—	
浜松市 (政策法務課)	経営改革方針の必要性	—	
外郭団体	理念	花き類の栽培展示、栽培技術指導及び優良種苗の生産配布による園芸文化の普及と情操教育の推進に関する事業を推進する。	
	ビジョン (コミットメント期間において、目指す基本方向)	感動分岐点を超える美しい花の装飾展示、公園福祉事業等を通じた社会貢献、浜名湖地域の活性化に寄与していくことを基本ビジョンに、より多くの市民に安らぎと感動を与える園づくりを実現する。	
	(ビジョンに関連する外郭団体における計画等)	フラワーパーク50周年記念整備事業(～32年度)	
	上記計画における平成29年度の課題と重点目標	フラワーパーク50周年となる平成32年度には50万人を超える来場者を目指しているが、その準備段階として29年度から31年度にかけては常に50万人近い来場者を着実に集客できる園づくりに努めます。	

3 コミットメント設定の考え方

浜松市 (所管課)	市が 団体に 役割に 求める	役割		来園者サービスを第一に、いつでも誰もが楽しめ感動できるおもてなしの心にあふれる憩いの場を実現し、情操教育の場としても活用されることを期待します。また、園芸文化の創造と積極的な発信により市民・地域の生活に潤いと安らぎを与え、浜松市及び浜名湖周辺の地域振興を図ることを期待します。	
		位置付け		浜松市緑の基本計画	
					
	対応 方針	浜松市が 定める 事業等の 目標	1	フラワーパーク50周年となる平成32年度に向けて施設の整備を進め、国内外から入園者を安定して獲得してください。	
2			様々な媒体を活用し、特に積極的にSNSを利用した情報発信を進めることで、より広く国内外にタイムリーなフラワーパーク情報を発信し浜名湖周辺の地域振興につなげ、「花と緑のまち・浜松」の推進に努めてください。		
3					
					
外郭 団体	コミ ット メン ト	外郭団体が策定 し、浜松市に 約束する内容	1	財務	フラワーパーク年間入園者50万人近い恒常的集客による安定経営の確立（公益法人移行前の入園者水準25～26万人から+25万人程度の入園者の安定的確保）をします。
			2	公益	新聞、テレビ、ラジオ、雑誌等宣伝媒体を幅広く活用し、園のタイムリーな魅力の積極的な情報発信等、国内外に向けた当園PRの強化による「花と緑のまち・浜松」推進拠点としての地位を確立します。
			3		

公益…公益的な使命や市民（利用者）目線での達成する目標

財務…外郭団体の財務状況（市からの支出金含む）について達成する目標

組織…組織や業務プロセス改善等について達成する目標

その他…上記以外

4. コミットメント

コミットメント名			評価指標							
外郭団体	1	財務	入園者の安定集客	フラワーパークの年間入園者数						
	概要	29年度から31年度のフラワーパーク年間入園者について、毎年50万人近くの恒常的集客を果たすことで安定経営の一層の確立を図ります(公益法人移行前の入園者水準25~26万人から+25万人程度の入園者の安定的確保を目標とす)。		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
				計画	万人	48.4万人	47万人	47万人	48万人	49万人
				実績						
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限			引き続き「世界一美しい桜とチューリップの庭園」の充実はもとより、周辺地域でも類を見ないフジの庭園づくりを進め、春～初夏の行楽シーズンにおける集客効果を一層高めます。						
	準指標1-1	インバウンド観光客の増加		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
				計画	人	3,000人	6,600人	7,000人	7,500人	8,000人
				実績						
	準指標1-2	フラワーパーク顧客満足度評価アンケート(5点満点)		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
				計画	点	4.5点	4.6点	4.6点	4.7点	4.7点
			実績							
コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性			選定理由は入園者増が財団の経営安定化に最も直結する指標であるためです。中期計画では主にハード面における施設整備を進め、次の50年の園運営に弾みを付ける計画を展開します。							
評価指標の過年度結果分析及び平成29年度の目標水準の設定根拠			<p>【過年度分析】 24年度まで入場実績は低迷していました。25年度以降入園者は増加し、28年度も当初計画を上回る47万人を達成するなど、V字回復を果たしています。</p> <p>【目標水準の根拠】 平成32年度に入園者50万人を達成すべく、28年度入園計画42万人から着実に来場者を増加させていくことで、目標達成の布石を打つ計画としました。</p>							
コミットメント名			評価指標							
外郭団体	2	公益	報道機関等への積極的情報発信	取材件数						
	概要	新聞、テレビ、ラジオ、雑誌等宣伝媒体を幅広く活用し、最新の開花具合等の積極的な状況発信と話題性の高い園情報のタイムリーな拡散に努めることで、国内外に向けた当園PRを一層強化し、「花と緑のまち浜松」推進拠点としての役割を担っていきます。		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
				計画	件	376	311	320	330	340
				実績						
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限			花の見頃や開花時期に応じたリアルタイムな情報発信等、マスコミ向けに積極的な投げ込みを行い、効率的な情報拡散に努めます。						
	コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性			取材件数増は、「浜名湖＝花の観光地」のイメージ定着によりシティプロモーションの役割を果たすとともに、館山寺温泉の代表的な情報発信拠点として、周辺の観光振興と地域PR・活性化を推進する最適な指標のためです。						
	評価指標の過年度結果分析及び平成29年度の目標水準の設定根拠			<p>【過年度分析】 花博直近の27年度と比較して昨今は取材件数が減少しているため、編集関係者を園に招待し懇親を深める等、マスコミ向け宣伝対応のテコ入れを要します。</p> <p>【目標水準の根拠】 花博時水準である350件超えを目標とし、メリハリのある宣伝活動を行います。施設認知度向上と地域の潜在能力を引き出す起爆剤になるような効果的PRを行い、新規顧客開拓、リピーター増、ファンの定着化につながる広報を行います。</p>						

【平成29～31年度】浜松市外郭団体 コミットメント（平成29年4月策定）



1. 団体基本情報（平成29年4月1日現在）

団体名	一般財団法人 浜松まちづくり公社		市所管課	都市整備部 都市計画課	
資本金	437,800	千円	市出資・出捐額 (市出資・出捐率)	110,000 (25.1%)	千円 設立年月
設立目的 (簡潔に記載)	地域のまちづくりを支援するとともに、都市整備事業の促進及び公共施設等の管理運営を行うことにより、地域の発展に貢献することを目的とする。				

2. (政策実現のパートナーとして)市と外郭団体の関わり方

		廃止を検討すべき基準	該当状況
浜松市 (所管課)	外郭団体の必要性検証 (「浜松市外郭団体の設立及び運営に対する関与の基本方針」第5条第1項第1号)	設立目的について「達成した」場合、又は設立目標について「達成できないことが確定した」「外部的要因により達成若しくは消滅した」のいずれかに該当する場合は法人の廃止を検討	該当しない
		外郭団体の行う事業の大半の事業と同種又は類似の事業を行う民間法人がある場合は法人の廃止を検討	該当しない
		市から運営費補助、随意契約による委託及び職員派遣を現在行なっており、将来もこれらが不要と見込まれる場合は市の関与の廃止を検討	該当しない
		検証に対する考え方	設立目標については、市との連携により市が直接実施するよりも効率的かつ効果的に政策実現させることです。同種の事業については、類似の事業を行う民間法人は存在しません。運営費補助や随意契約の委託、職員派遣等については、浜松駅前広場関連施設の管理、運営や指定管理者の構成員として公共施設の管理、運営を行うほか、リノベーションスクール開催等を実施しています。よって外郭団体は必要です。
外郭団体	経常収支状況の過年度(H29年度)実績に関する評価	—	
浜松市 (所管課)	コミットメントの過年度(H29年度)実績に関する評価	—	
浜松市 (政策法務課)	経営改革方針の必要性	—	
外郭団体	理念	地域のまちづくりを支援するとともに、都市整備事業の促進及び公共施設等の管理運営を行うことにより、地域の発展に貢献する。	
	ビジョン (コミットメント期間において、目指す基本方向)	公益目的支出計画を確実に遂行しながら、一方で新規事業の開拓に尽力、獲得し、公社全体でも非営利型一般財団法人として毎年度収支相償を目指す。	
	(ビジョンに関連する外郭団体における計画等)	公益目的支出計画	
	上記計画における平成29年度の課題と重点目標	平成27年度から指定管理者になっている市営駐車場管理及び北遠の市営住宅管理の次期管理者の選定が平成29年度にあり、引き続き事業が確保できるよう全力を尽くしていきます。	

3 コミットメント設定の考え方

浜松市 (所管課)	市が 団 体 に 求 め る	役割	市は、公益目的事業において市民が主体となったまちづくり活動の支援や都市整備に関する調査研究及び普及啓発について、浜松まちづくり公社が市と連携を図り地域の発展に寄与していくことを期待します。		
		位置付け	中心市街地活性化に関する法律に基づき「中心市街地整備推進機構」の指定を受け、浜松市中心市街地活性化協議会の構成員になっています。		
					
	対応 方針	浜松市が 定める 事業等の 目標	1	公益目的事業において、市民が主体となって行うまちづくり活動を支援し、地域社会の健全な発展を目指してください。	
		2	地域住民及び市と連携し新規事業を掘り起こしてください。		
		3			
外 郭 団 体	コ ミ ツ ト メ ン ト	外郭団体が策定 し、浜松市に 約束する内容	1	公益	公益目的支出計画上の実施事業である「まちづくり事業（まちづくり活動の相談窓口の設置等）」を充実させ、地域社会の健全な発展に貢献します。
			2	その他	主力事業である組合施行土地区画整理事業のうち、地元からの要望が強い新たな地区について支援し、区画整理組合の立ち上げを目指します。
			3		
					

公益…公益的な使命や市民（利用者）目線での達成する目標

財務…外郭団体の財務状況（市からの支出金含む）について達成する目標

組織…組織や業務プロセス改善等について達成する目標

その他…上記以外

4. コミットメント

コミットメント名			評価指標							
外 郭 団 体	1	公益	まちづくり事業の充実		まちづくり事業への充当額					
	概要	公益目的支出計画上の実施事業である「まちづくり事業(まちづくり活動の相談窓口の設置等)」を充実させ、地域社会の健全な発展に貢献します。		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
				計画	千円	33,797	34,476	30,000	30,000	30,000
				実績						
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限			一般財団法人認可時の公益目的支出計画に従い、公益目的であるまちづくり事業を平成68年度までの44年間、継続的に実施します。						
コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性			一般財団法人移行に伴い、静岡県に認可された公益目的支出計画に基づき実施することが必要です。							
評価指標の過年度結果分析及び 平成29年度の目標水準の設定根拠			<p>【過年度分析】 平成28年度までについては、順調に推移していると考えます。</p> <p>【目標水準の根拠】 まちづくり事業への充当額である年間30,000千円という値は、一般財団法人に認可時の公益目的支出計画上の年間予定額であり、今のところ見直す予定はありません。</p>							
外 郭 団 体	コミットメント名			評価指標						
	2	その他	新規組合施行土地区画整理事業の立ち上げ		平成31年度設立を100%とした場合の進捗率 (平成31年度に事業設立)					
	概要	主力事業である組合施行土地区画整理事業のうち、地元からの要望が強い新たな地区について支援し、区画整理組合の立ち上げを目指します。		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
				計画	%	50	60	70	80	100
				実績						
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限			<p>地元関係者及び浜松市と意見交換を重ね、事業の必要性を説明するとともに、事業認可手続きを進め、平成31年度中に新たな区画整理組合の設立を目指します。 (進捗率の説明) 平成29年度:関係機関との協議を進め、都市計画決定の変更協議を行い概ね合意を得られれば70% 平成30年度:設立認可申請書を作成して80% 平成31年度:権利者の90%以上の同意を得て事業認可申請を行い、組合が設立されれば100%</p>						
	準指標2-1	未同意者数の減少 (土地所有者総数158名)		区分 計画 実績	単位 名	27年度 —	28年度 34	29年度 25	30年度 15	31年度 10
コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性			新規組合区画整理事業は、平成30年度以降の主力事業となりうるものです。現在調査研究を行っている数か所の候補地のうち、(仮)浜北中央北地区については、組合設立に向け、動きを加速させ、実現化に向け動いています。							
評価指標の過年度結果分析及び 平成29年度の目標水準の設定根拠			<p>【過年度分析】 平成28年度までについては、順調に推移していると考えます。</p> <p>【目標水準の根拠】 平成29年度は、関係機関との協議を進め、都市計画決定の変更協議を行い概ねの合意を得られるようにします。</p>							

【平成29～31年度】浜松市外郭団体 コミットメント（平成29年4月策定）

1. 団体基本情報（平成29年4月1日現在）


団体名	株式会社 なゆた浜北		市所管課	産業部 産業振興課		
資本金	250,000	千円	市出資・出捐額 (市出資・出捐率)	195,000	千円 (78.0 %)	設立 年月
設立目的 (簡潔に記載)	遠州鉄道浜北駅前再開発ビル並びにその付帯設備の管理運営、不動産賃貸事業他					

2. (政策実現のパートナーとして) 市と外郭団体の関わり方

		廃止を検討すべき基準	該当状況
浜松市 (所管課)	外郭団体の必要性検証 (「浜松市外郭団体の設立及び 運営に対する関与の基本方針」 第5条第1項第1号)	設立目的について「達成した」場合、又は設立目標について「達成できないことが確定した」「外部的要因により達成若しくは消滅した」のいずれかに該当する場合は法人の廃止を検討	該当しない
		外郭団体の行う事業の大半の事業と同種又は類似の事業を行う民間法人がある場合は法人の廃止を検討	該当しない
		市から運営費補助、随意契約による委託及び職員派遣を現在行なっており、将来もこれらが不要と見込まれる場合は市の関与の廃止を検討	該当しない
		検証に対する考え方	設立目標については遠州鉄道浜北駅前再開発ビル並びにその付帯設備の管理運営、不動産賃貸事業です。同種の事業についてはなゆた浜北に限定すれば存在しません。運営費補助や職員派遣はありませんが、浜北区役所の移転により管理業務を随意契約で受託しています。よって外郭団体は必要です。
外郭団体	経常収支状況の過年度 (H29年度) 実績に関する評価	—	
浜松市 (所管課)	コミットメントの過年度 (H29年度) 実績に関する評価	—	
浜松市 (政策法務課)	経営改革方針 の必要性	—	
外郭団体	理念	わが社は「ありがとうの心」と「チャレンジの精神」をもって社業を推進し、社会（地域）に貢献する起業を目指す。	
	ビジョン (コミットメント期間において、目指す基本方向)	店舗資産の価値を高め、店舗稼働率を高めることにより来店客を増やし浜北駅前の賑わいを創設する。	
	(ビジョンに関連する外郭団体における計画等)	<ul style="list-style-type: none"> ・店舗での設備更新に向けた修繕引当金の計上（空調設備更新） ・店舗入居率90%の確保 ・平成31年度都市開発資金借入金完済 	

上記計画における平成29年度の課題と重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・店舗の入居者を確保するため不動産業者への空室情報発信やインターネットの活用により入居率100%を目指します。 ・周期的な修繕に要する費用の支出に備えるため所期の目標である利益の確保に努めます。
------------------------	--

3 コミットメント設定の考え方

浜松市 (所管課)	市が 団 体 に 求 め る	役割	副都心の拠点としての遠州鉄道浜北駅前再開発ビル並びにその付帯設備の管理運営、不動産賃貸事業の安定的、継続的運営		
		位置付け	浜松市商業集積ガイドラインにおいて広域集客ゾーンに位置づけています。		
					
外郭 団 体	コミ ツ ト メ ン ト	外郭団体が策定し、浜松市に約束する内容	1	公益	利用者満足度向上のため、施設を清潔に保ち、安心して安全に利用していただける環境を整え、親切な対応やわかりやすい説明をしサービスの向上に努めます。
			2	財務	店舗年間稼働率の向上を図ります。
			3		

公益…公益的な使命や市民（利用者）目線での達成する目標

財務…外郭団体の財務状況（市からの支出金含む）について達成する目標

組織…組織や業務プロセス改善等について達成する目標

その他…上記以外

4. コミットメント

コミットメント名			評価指標							
外郭団体	1	公益	利用者満足度の向上	お客様アンケートでの満足度評価						
	概要	施設を常に清潔に保ち、安全に利用していただけるように環境を整え、お客様への親切な対応やわかりやすい説明をし感謝の気持ちで接客をします。		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
				計画	%	-	-	80	80	80
				実績						
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限		お客様の声を拾い、対応や設備などの改善につなげます。							
	準指標1-1	お客様の声に対する改善率		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
			計画	%	-	-	85	90	90	
			実績							
	コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		平成29年度事業計画に基づきます。							
	評価指標の過年度結果分析及び平成29年度の目標水準の設定根拠		【過年度分析】 -							
【目標水準の根拠】 -										
外郭団体	コミットメント名			評価指標						
	2	財務	店舗年間稼働率の向上	店舗年間稼働率						
	概要	店舗の資産価値向上を図り、入居率100%、年間稼働率の向上を目指します。		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
				計画	%	98.5	92.4	93.5	95.7	97.8
				実績						
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限		あらゆる媒体を利用して情報発信をする。適切な賃料の設定をする。							
	準指標2-1	地元不動産業者への訪問活動実施（年間回数）		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
			計画	回	-	-	12	12	12	
			実績							
	準指標2-2	修繕引当金の計上		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
		計画	千円	4,000	4,000	1,000	1,000	1,000		
		実績								
コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		平成29年度事業計画に基づきます。								
評価指標の過年度結果分析及び平成29年度の目標水準の設定根拠		【過年度分析】 206区画は1年間空室のままとなっています。								
		【目標水準の根拠】 最低月1回の不動産業者への訪問をします。								

外郭団体コミットメント（平成29年3月総括）

団体名		個票ページ
公益財団法人	浜松国際交流協会	P.1～4
公益財団法人	浜松市文化振興財団	P.5～8
公益財団法人	浜松市体育協会	P.9～11
社会福祉法人	浜松市社会福祉協議会	P.12～17
公益社団法人	浜松市シルバー人材センター	P.18～19
社会福祉法人	浜松市社会福祉事業団	P.20～22
公益財団法人	浜松市医療公社	P.23～25
一般財団法人	浜松市清掃公社	P.26～29
公益財団法人	浜松地域イノベーション推進機構	P.30～32
公益財団法人	浜松観光コンベンションビューロー	P.33～37
公益財団法人	浜松市勤労福祉協会	P.38～40
公益財団法人	浜松市花みどり振興財団	P.41～44
一般財団法人	浜松まちづくり公社	P.45～48
株式会社	なゆた浜北	P.49～52

【平成26～28年度】浜松市外郭団体 コミットメント（平成29年3月総括）

1. 団体基本情報（平成29年3月31日現在）

団体名	公益財団法人 浜松国際交流協会		市所管課	企画調整部 国際課		
資本金	353,986	千円	市出資・出捐額 (市出資・出捐率)	150,000	千円	設立 年月
				42.4	%	平成3年10月
設立目的 (簡潔に記載)	浜松市の特性を生かし、経済、学術、文化等の国際交流事業及び在住外国人の生活支援事業を幅広く行い、国際都市浜松の創造に寄与する。					

2. (政策実現のパートナーとして)市と外郭団体の関わり方

		廃止を検討すべき基準	該当状況
浜松市 (所管課)	外郭団体の必要性検証 (「浜松市外郭団体の設立及び運営に対する関与の基本方針」第5条第1項第1号)	設立目的について「達成した」「達成できないことが確定した」「外部的要因により達成若しくは消滅した」のいずれかに該当する場合は法人の廃止を検討	該当しない
		外郭団体の行う事業の大半の事業と同種又は類似の事業を行う民間法人がある場合は法人の廃止を検討	該当しない
		市から運営費補助、随意契約による委託及び職員派遣を現在行なっており、将来もこれらが不要と見込まれる場合は市の関与の廃止を検討	該当しない
	外郭団体に期待する役割	○市民が主体となる国際交流活動や多文化共生活動の推進 ○市民活動と行政とをつなぐ中間支援組織としての機能 ○市の先導的・政策的な事業の実施組織	
外郭団体に求める事業等の目標	○協会の使命と役割を明確なものとし、関係団体やボランティアなど幅広い主体とお互いの強みを生かしながら連携・協働により事業を実施する。 ○組織・運営基盤の強化充実につなげる継続的な改善に取り組む。		
(外郭団体に期待する役割等に関連する市の計画・政策体系上の位置づけ)	・浜松市多文化共生都市ビジョン（計画期間：平成25～29年度） ・浜松市国際戦略プラン（計画期間：平成26～30年度）		
外郭団体	経常収支状況の過年度実績に関する評価	経常収益113,783千円（前年度：114,658千円）、経常費用110,318千円（前年度：112,740千円）、経常損益（当期経常増減額・経常増減差額）3,465千円（前年度：1,918千円）、当期純利益（当期一般正味財産増減額、当期活動増減差額）3,465千円（前年度：1,918千円） 昨年度と比較すると、講座参加料をはじめとした自主財源確保額の増加から黒字となりました。 翌年度においても、引き続き財源の確保に努めることで、今年度並みの経常収益を見込んでいます。	
(浜松市 所管課)	コミットメントの過年度実績に関する評価	コミットメント3項目中2項目において目標値を上回るなど、概ね計画を達成することができました。引き続き、協会がこれまで培ってきた国際交流や多文共生のノウハウをこれまで以上に活用し、防災、子供の教育及び青少年のキャリア支援、日本語学習支援、医療通訳や生活相談など、外国人住民の定住化や多国籍化などを背景とした多様化・複雑化する地域課題や行政課題に的確に対応するとともに、これまでの取組の成果を活かした、より効果的で発展的な事業展開を期待します。	
(浜松市 政策法務 課)	経営改革方針の必要性	無（“有”の場合、外郭団体は、アクションプランを策定すること） 【決算：当期一般正味財産増減額】 （平成27年度）1,918千円、（平成28年度）3,465千円 喫緊の経営改革の必要性は生じていません。	

外 郭 団 体	理念	多様性を認め活かし合うよりよい多文化共生社会の実現と、世界の人々とともに生きる広い視野を持った人材の育成		
	ビジョン (コミットメント期間において、目指す基本方向)	○協働による多文化共生のまちづくり ○グローバル感覚に優れたひとづくり		
	(ビジョンに関連する外郭団体における計画等)	中期計画 (平成26~28年度)		
	コミットメント概要 (外郭団体が策定し、浜松市に約束する内容)	1	公益	市民団体や多様な機関等との連携・協働事業の充実を図ります。
	2	財務	公益事業の充実により協賛金・負担金など自主財源の確保に努めます。	
	3	組織	国際交流・多文化共生事業の職務執行能力向上に必要な専門プログラムを計画的に実施します。	

公益…公益的な使命や市民（利用者）目線での達成する目標

財務…外郭団体の財務状況（市からの支出金含む）について達成する目標

組織…組織や業務プロセス改善等について達成する目標

その他…上記以外

3. コミットメント

		コミットメント名		評価指標						
外郭団体	1	公益	連携・協働事業の充実	連携・協働事業件数						
	概要	協会の有するノウハウやネットワークを活かし、市民団体や多様な機関などとの連携・協働による、新たな課題への対応や効率的かつ効果的な事業の充実を図ります。		区分	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
				計画	件	62	64	77	71	75
				実績						84
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限		協会の役割や事業の目的を明確にするなかで、多様な機関や活動団体との連携・協働によりそれぞれの特徴を活かした効果的な事業実施を図ります。							
	コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		中期計画に定めた協会ミッションに直結する指標です。また、公益性や市民協働だけではなく、収益性の観点からも重要な指標です。							
評価指標の過年度（平成28年度）結果分析		【過年度分析】文化庁や高等学校、外国人雇用企業など、多様な関係機関や活動団体との連携・協働による事業展開を意識して取り組み、目標値を達成することができました。								
		コミットメント名		評価指標						
外郭団体	2	財務	自主財源確保	自主財源獲得額						
	概要	公益事業の一層の充実を図ることにより、協会事業の必要性や効果を積極的にアピールし、他機関からの協賛金や負担金を得るなど財源の確保に努めます。		区分	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
				計画	千円	8,704	10,907	9,430	9,200	9,500
				実績						9,480
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限		協会活動の一層の理解浸透を図るとともに、自主財源確保に取組み、さらなる経営健全化につなげます。							
	コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		中期計画においても運営基盤の強化を掲げており、財産運用状況による収入増が見込めないなか、自主財源確保のための取組が求められています。							
評価指標の過年度（平成28年度）結果分析		【過年度分析】魅力ある講座の実施や協会活動の積極的な理解促進に努めた結果、目標値には僅かに達しなかったものの、前年度から189千円の増収となるなど、自主財源の確保に努めました。								
		コミットメント名		評価指標						
外郭団体	3	組織	専門人材育成と業務執行体制の強化・充実	研修実施時間数（人数×時間）						
	概要	国際交流・多文化共生事業における職務執行能力向上に必要な専門プログラムの計画的な実施により、職員の資質向上及び組織としての課題解決能力や業務執行体制の強化・充実を図ります。		区分	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
				計画	時間	111	96	111	116	120
				実績						174
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限		職務執行能力向上に必要な専門プログラムの計画的な実施による職員の資質向上やノウハウ継承のための取組は、組織としての安定的・継続的な事業実施の観点からも重要な指標です。							
	コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		中長期的に安定した事業実施のため、職員の資質向上及び協会の強みであるノウハウやネットワークの職員間での継承が必要です。中期計画においても専門性の高い人材育成の計画的な推進を掲げています。							
評価指標の過年度（平成28年度）結果分析		【過年度分析】防災や医療通訳、発達障害など、計画的なOJTの実施や外部研修への積極的な参加により、業務執行上必要な多様な分野にわたる専門知識習得に努め、目標値を大幅に上回ることが出来ました。								

4. 3カ年のコミットメント等の総括

外郭団体	3ヶ年のコミットメント取組総括	3ヶ年の総括としては、評価指標の達成に向けた取組について概ね計画どおり達成できたと評価しています。 今後も引き続き、魅力ある事業の実施や他機関と連携した新たな事業の開拓に努めるとともに、協会の役割・活動内容の発信・理解促進を図りながら、自主財源の獲得、業務執行体制の強化に取り組みます。
(所管課) 浜松市		3ヶ年の総括として各取組は順調に進捗してきたと評価しています。 引き続き、協会自らの使命と役割に基づき、今後取り組むべきテーマや施策についてまとめた第2次中期計画を踏まえ、組織体制の整備と財政基盤の充実にに向けた取組を期待します。
外郭団体	3ヶ年の経常収支状況総括	平成26年度については、経常損益が4,696千円、平成27年度についても1,918千円の黒字でした。3ヶ年では10,079千円の黒字であり、中期計画を踏まえた組織体制の整備と財政基盤の充実に取り組んできたことから、経営状態は安定していると考えています。

【平成26～28年度】浜松市外郭団体 コミットメント（平成29年3月総括）

1. 団体基本情報（平成29年3月31日現在）

団体名	公益財団法人 浜松市文化振興財団		市所管課	市民部 文化政策課		
資本金	2,139,769	千円	市出資・出捐額 (市出資・出捐率)	2,000,000	千円	設立 年月
				(93.5 %)		平成5年7月
設立目的 (簡潔に記載)	優れた芸術その他の文化（以下「芸術文化」という。）の提供、交流、創造、発信を行うこと並びに市民・地域の芸術文化活動の支援をととして市民文化の向上及び地域社会の活性化に資する。					

2. (政策実現のパートナーとして)市と外郭団体の関わり方

		廃止を検討すべき基準	該当状況
浜松市 (所管課)	外郭団体の必要性検証 (「浜松市外郭団体の設立及び運営に対する関与の基本方針」第5条第1項第1号)	設立目的について「達成した」「達成できないことが確定した」「外部的要因により達成若しくは消滅した」のいずれかに該当する場合は法人の廃止を検討	該当しない
		外郭団体の行う事業の大半の事業と同種又は類似の事業を行う民間法人がある場合は法人の廃止を検討	該当しない
		市から運営費補助、随意契約による委託及び職員派遣を現在行なっており、将来もこれらが不要と見込まれる場合は市の関与の廃止を検討	該当しない
	外郭団体に期待する役割	市は、浜松市文化振興ビジョンに「音楽の都・浜松」の推進を掲げており、(公財)浜松市文化振興財団には、これまで培ってきたノウハウを活用し、本市の音楽文化を都市資産として市内外に幅広く発信するとともに、「音楽の都・浜松」を牽引していく外郭団体として、高度な舞台芸術の提供や次代を担う人材育成、市内各所における音楽交流の推進を期待します。	
外郭団体に求める事業等の目標	市は、浜松市文化振興ビジョンにおける基本目標を実現するため、(公財)浜松市文化振興財団に対し以下のことを求めます。 ①「音楽の都・浜松」の牽引 「音楽の都・浜松」を市内外に発信する高度な舞台芸術の提供と次代を担う人材育成に積極的に取り組む。 ②中間支援組織の機能強化と市民の芸術文化活動の自立支援 市と文化団体及び文化団体同士の活動をつなぐ中間支援組織としての機能を強化するとともに、市民が主体となって行う文化・芸術活動の自立に向けた機動的な支援や、市内全域の文化活動や情報の収集及び提供の充実を図る。 ③すべての市民が文化を享受するための取組み 商業ベースに乗らない分野の文化活動や地理的条件等に拘らず、すべての市民が文化を享受するための取組を進める。		
(外郭団体に期待する役割等に関連する市の計画・政策体系上の位置づけ)	浜松市文化振興ビジョン		
外郭団体	経常収支状況の過年度実績に関する評価	平成28年度は、経常収益2,629,898千円(前年度：2,717,389千円)、経常費用2,618,578千円(前年度：2,685,317千円)、当期経常増減額11,320千円(前年度：32,072千円)、当期一般正味財産増減額11,249千円(前年度：32,001千円)。 昨年度と比較すると、科学館における特別展の入場料収益やアクティビティにおける施設利用料収益の減少等により、当期経常増減額は減少したものの黒字となりました。 翌年度は収支相償を見込んでいます。	
(所管課) 浜松市	コミットメントの過年度実績に関する評価	“本市は、平成26年12月にユネスコ創造都市ネットワークの音楽分野にアジアで初めて加盟しました。公益財団法人文化振興財団の充実した継続的な取組みが加盟要因のひとつであると高く評価します。(取り組み内容を下記に掲載) ・自らが培ったノウハウを基に、高度な舞台芸術と幅広い芸術文化を市民に提供 ・市内外に対して「音楽の都・浜松」を情報発信 ・中間支援組織としての機能を充実 ・様々な分野の文化活動を支援するとともに、中心市街地だけでなく、郊外、中山間地域においても芸術文化活動を提供”	
(政策法務課)	経営改革方針の必要性	無(“有”の場合、外郭団体は、アクションプランを策定すること) 【決算：当期一般正味財産増減額】 (平成27年度)32,001千円、(平成28年度)11,248千円 喫緊の経営改革の必要性は生じていません。	

外郭 団 体	理念	浜松市文化振興ビジョンに示されたミッションを果たしていく		
	ビジョン (コミットメント期間におい て、目指す基本方向)	浜松市の芸術文化活動に関わる様々な組織のプラットフォームとしての機能な ど、中間支援組織としての役割強化を図ることとあわせ、先端的な創造・発信に 関わる事業に取り組み「創造都市・浜松」を牽引する。		
	(ビジョンに関連する外郭団体 における計画等)	なし		
	コミットメント概要 (外郭団体が策定し、 浜松市に約束する内容)	1	組織	平成24年度から実施している鑑賞型事業に対する事業評価制度 を継続します。
	2	公益	浜松在住の演奏家と公演開催希望者とのマッチング事業を行 い、地域における演奏家活動の活発化等を支援します。	
	3	公益	浜松市が進める「創造都市・浜松」実現のために必要な芸術文 化事業を、浜松市と連携して開催します。	

公益…公益的な使命や市民（利用者）目線での達成する目標

財務…外郭団体の財務状況（市からの支出金含む）について達成する目標

組織…組織や業務プロセス改善等について達成する目標

その他…上記以外

3. コミットメント

コミットメント名			評価指標								
外郭団体	1	組織	良質な鑑賞型事業の実施		評価A判定事業の割合						
	概要	平成24年度から実施している鑑賞型事業に対する事業評価制度を継続します。平成26年度からは有識者による外部評価員を加え、今後の事業企画・運営に活用します。			区分	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
					計画	%	88	85	85	90	85
					実績						75
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限			従来の内部評価に加え、平成26年度より取り組んできた外部評価システムによる報告書が平成27年度末に完成しました（静岡文化芸術大学文化政策学部による委託研究事業。H26事業を評価）。H28年度からは本報告書も今後の事業運営・採択の指針に取り入れます。							
	コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性			良質な鑑賞型事業の実施にむけて法人が持つ事業企画ノウハウを顕在化するために、事業の採算性、広報・販促プロセス等を検証する事業評価制度を導入することが必要です。							
評価指標の過年度（平成28年度）結果分析			<p>【過年度分析】</p> <p>平成28年度は、12事業中3事業がA判定に達せず実績値が計画を下回りました。（主な要因：「能・狂言セミナー」等の普及事業の入場者数が目標に達せずB判定）普及事業ということで入場料を安価にして高い入場率を設定したものの、目標に届かず低い評価判定結果となりました。なお、いずれの事業も来場者の満足度は高いことから、今後は普及事業の広報・販促手段及び価格設定の更なる見直しを図ります。</p> <p>なお、静岡文化芸術大学と研究中の外部評価を活用し、指摘のあった事項（来場者の偏り、広報手段等）の改善に着手しました。（20・30代を意識したオンラインチケット販売のスマートフォン対応化（H29.4月サービス開始）、広報部門の組織体制見直し等）</p>								
外郭団体	2		公益	中間支援組織としての機能を強化します		演奏家マッチング数					
	概要	浜松在住の演奏家と公演開催希望者とのマッチング事業を行い、地域における演奏家活動の活性化、演奏会機会の増加、市内広域での芸術文化事業の実施を支援します。			区分	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
					計画	件	56	145	191	135	100
					実績						129
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限			平成26年度中にウェブサイト上に演奏家や公演開催希望者からの受付窓口を開設しました。平成28年度においては、演奏会主催者開拓やNPO法人等との連携に努めます。							
	コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性			「すべての市民が文化を享受する」ための取り組みとして、浜松市内で開催される芸術文化公演数を増やすとともに、浜松で活動する演奏家に演奏の機会を提供します。							
評価指標の過年度（平成28年度）結果分析			<p>【過年度分析】</p> <p>平成28年度は、前年度に引き続き大口演奏会派遣先が予算縮小したものの、新規の派遣先を開拓し、市内音楽家の中間支援の促進と地域イベント活性化に努めました。また過去年度同様、市内学校やフラワーパーク、高速道路SAをはじめとする教育・文化・公共機関にも事業提案や演奏者を派遣し、文化活動の場の提供と享受の機会を創出しました。</p>								

		コミットメント名	評価指標							
外郭団体	3	公益	「創造都市・浜松」を牽引します		市の策定する創造都市推進事業の共催・受託本数					
	概要	これまで培った人的ネットワークや事業開催ノウハウを活用し、浜松市が進める「創造都市・浜松」実現のために必要な芸術文化事業を、浜松市と連携して開催します。		区分	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
				計画	事業	—	—	—	6	4
						実績				
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限		浜松市が推進する創造都市ネットワーク加盟事業に資する事業、特に浜松から世界に発信する芸術文化事業の企画制作や芸術文化事業に関する他都市との連携事業等を、浜松市と連携し実施します。							
コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		先端的な創造・発信に関わる事業に取り組み、「創造都市・浜松」を牽引します。								
評価指標の過年度（平成28年度）結果分析		【過年度分析】 平成28年度は、「世界音楽の祭典 IN 浜松2016」開催の実働を担いました。また「音楽文化都市交流事業(札幌・ポローニヤ・宝塚)」、「パークリー音楽大学事業」、「ハノーバー人材育成プログラム(準備年)」を通じ、「創造都市・浜松」の中核事業を推進しました。また、創造都市推進会議にも委員として参加しました。								

4. 3カ年のコミットメント等の総括

外郭団体	3ヶ年のコミットメント取組総括	この3年間に於いて、コミットメント3点「良質な鑑賞型事業の実施」、「中間支援組織としての機能強化」、「『創造都市・浜松』の牽引」の目標指標値をほぼ達成したほか、外部評価制度の構築や演奏会マッチングの手法確立、「世界音楽の祭典in 浜松」事業においても具体的な成果を出し、演奏者・聴衆双方から好評をいただきました。 浜松市文化振興財団のコミットメントのビジョンである「浜松市の芸術文化活動のプラットフォーム機能と中間支援組織としての役割強化」を実現できたと考えております。
(所管課) 浜松市		本市は、平成26年12月にユネスコ創造都市ネットワークの音楽分野にアジアで初めて加盟しました。公益財団法人文化振興財団の充実した継続的な取組みが加盟要因のひとつであると高く評価します。（取組内容内容を下記に掲載） ・自らが培ったノウハウを基に、高度な舞台芸術と幅広い芸術文化を市民に提供 ・市内外に対して「音楽の都・浜松」を情報発信 ・中間支援組織としての機能を充実
外郭団体	3ヶ年の経常収支状況総括	平成26年度については、経常収益2,644,648千円、経常費用2,591,069千円、当期経常増減額53,579千円、当期一般正味財産増減額53,508千円、平成27年度については、経常収益2,717,389千円、経常費用2,685,317千円、当期経常増減額32,072千円、当期一般正味財産増減額32,001千円でした。3ヶ年ではいずれも黒字であり、公益財団法人に求められる収支相償を満たすため、特定費用準備資金の積立を行うなど経営状況は安定していると考えています。

【平成26～28年度】浜松市外郭団体 コミットメント（平成29年3月総括）

1. 団体基本情報（平成29年3月31日現在）

団体名	公益財団法人 浜松市体育協会		市所管課	市民部 スポーツ振興課	
資本金	331,513	千円	市出資・出捐額 (市出資・出捐率)	50,000 千円 (15.1 %)	設立 年月
設立目的 (簡潔に記載)	浜松市における健康・体力づくりを推進し、アマチュア精神を培い、スポーツの普及・向上を図る				

2. (政策実現のパートナーとして)市と外郭団体の関わり方

		廃止を検討すべき基準	該当状況
浜松市 (所管課)	外郭団体の必要性検証 (「浜松市外郭団体の設立及び 運営に対する関与の基本方針」 第5条第1項第1号)	設立目的について「達成した」「達成できないことが確定した」 「外部的要因により達成若しくは消滅した」のいずれかに該当する 場合は法人の廃止を検討	該当しない
		外郭団体の行う事業の大半の事業と同種又は類似の事業を行う民間 法人がある場合は法人の廃止を検討	該当しない
		市から運営費補助、随意契約による委託及び職員派遣を現在行なっ ておらず、将来もこれらが不要と見込まれる場合は市の関与の廃止 を検討	該当しない
	外郭団体に期待する役割	市は、浜松市スポーツ推進計画において、生涯スポーツの推進を中心に 「スポーツ文化都市 浜松」の実現を目指すこととしており、公益財団法 人浜松市体育協会には、生涯スポーツの普及・推進の中核的推進機関とし て活躍することを期待しています。	
外郭団体に求める事業等の目標	市は、浜松市スポーツ推進計画における生涯スポーツ推進の実現に向け て、以下のことを求めます。 ①「浜松市民スポーツ祭」の延べ参加者22,000人を目指す。 ②各種レクリエーション活動の延べ参加者3,500人を目指す。		
(外郭団体に期待する役割等に 関連する市の計画・政策体系上 の位置づけ)	浜松市スポーツ推進計画		
外郭 団体	経常収支状況の過年度実績に関 する評価	経常収益 991,267千円 (H27 962,789千円) 経常費用 946,518千円 (H27 930,241千円) 経常利益 44,748千円 (H27 32,549千円) 純利益(正味財産増減額) 28,962千円 (H27 31,824千円) 昨年度の黒字化により法人税等の増額がありましたが、新電力への切替え 等により光熱水料費を抑制できたことや、自主事業の収入増により黒字化 を達成できました。来年度は、電気、ガス単価の上昇など厳しい状況では ありませんが、その他経費の縮減、自主事業の見直しなどにより、若干の黒 字を見込んでいます。	
(浜松市 所管課)	コミットメントの過年度実績に 関する評価	経営改善の取組みは、平成28年度決算において計画を大きく上回る進捗 状況であり評価しています。今後も引き続き経営改善に取組み、安定的な事 業運営に努めていただきたいと思います。	
(政策 浜松市 法務課)	経営改革方針の必要性	無(“有”の場合、外郭団体は、アクションプランを策定すること) 【決算：当期一般正味財産増減額】 (平成27年度)31,824千円、(平成28年度)28,962千円 3年連続で黒字となり、アクションプランの実行により経営体質の改善が 図られたと考えます。引き続き健全で安定的な経営に努めてください。	

外郭団体	理念	市民が広くスポーツに参加できる機会を設けることにより体力の向上と健康の保持増進を図る。	
	ビジョン (コミットメント期間において、目指す基本方向)	公益財団法人に移行(平成26年度)したことを機会に、3カ年の中期経営計画アクションプランを策定し、それを着実に実行することにより安定した経営基盤の確立を図っていく。 また、当協会の設立目的を達成するため、「市民の健康・体力づくり事業」、「生涯スポーツの振興」「競技力の向上・競技人口の拡大」の公益目的事業を三本柱とし積極的に推進していく。	
	(ビジョンに関連する外郭団体における計画等)	中期経営計画アクションプラン	
	コミットメント概要 (外郭団体が策定し、浜松市に約束する内容)	1	公益
	2	-	-
	3	-	-

公益…公益的な使命や市民(利用者)目線での達成する目標
 財務…外郭団体の財務状況(市からの支出金含む)について達成する目標
 組織…組織や業務プロセス改善等について達成する目標
 その他…上記以外

3. コミットメント

外郭団体	コミットメント名		評価指標						
	1	公益	スポーツの普及・向上		市民スポーツ祭実参加者数				
	概要		区分	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		浜松市民スポーツ祭延べ参加者数を年間22,000人以上を目指します。	計画	人	20,335	20,688	21,190	22,522	22,000
			実績						22,079
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限	各競技団体と開催内容の検討、連絡・調整を密に行い、プロジェクトによる事業、広報活動の強化により延べ参加者数を22,000人以上を目指します。							
	コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性	教室やイベントに参加をしていただき、スポーツを始めるきっかけづくりから競技スポーツでの技術の向上を図り、大会参加者の増につなげます。また、ホームページやブログなどの広報活動を積極的に行い市民に広く周知します。							
	評価指標の過年度(平成28年度)結果分析	【過年度分析】 屋外競技において、天候不順により開催が出来なかった部門もありましたが、加盟競技団体の協力を得て参加者を募り計画値を達成することができました。							

4. 3カ年のコミットメント等の総括

外郭団体		初年度は計画値に達することはできませんでしたが、加盟競技団体と連携を図り参加者を募った結果、27年度、28年度は計画値に達することができました。
(所管課市)	3ヶ年のコミットメント取組総括	3ヶ年の総括として、天候に左右される種目がある中、市民スポーツ祭の参加者目標22,000人を2年連続で上回ったことは、市の生涯スポーツの普及や地域活性化に寄与していると評価しています。
外郭団体	3ヶ年の経常収支状況総括	当期一般正味財産増減額について、平成26年度は13,544千円、平成27年度は31,824千円、平成28年度は28,962千円と3期連続で単年度黒字でした。中期経営計画アクションプランに基づき経営改善に取り組んだ結果、安定した経営状態になったと考えています。

5. 経営改革アクションプラン

(政策 法務 課)	<p>【外郭団体の経営改革が必要と判断した理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成22年～25年の4カ年連続赤字決算となっていました。平成26年度は人件費削減等の効果により黒字となりました。 平成24年度決算において、法人会計の人件費約9千万円が赤字要因でしたが、平成26年度決算において、法人会計の人件費（事務局）を▲7,000千円減額し、黒字化に貢献しました。 法人が策定する中期経営計画アクションプランを、市としてフォローアップし、着実な経営改革が行われるよう注視する必要があります。 <p>【平成28年度決算に関する評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 当期一般正味財産増減額、計画値174千円に対して、実績値28,962千円となっており、3年連続の黒字を達成したことから、着実に経営改革が進んでいると評価します。 <p>【3年間の評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人員配置等の見直しによる人件費の削減、外部への委託料や光熱水料費の削減、営業・広報活動強化、自主事業の見直しなどにより収支改善を図りました。また、これを着実に遂行するため、会長をはじめとする四役会議を毎月開催、アクションプランの進捗管理を実施するなど、経営層のマネジメントにより、構造的な赤字体質から脱却したと判断します。 今後も、引き続き安定的な経営を実施する公算が高いことから、平成29年度以降、経営改善に関する市の関与（経営改善要請・アクションプランによる関与）は必要ないと判断します。 									
	外 郭 団 体	年度決算等		H24決算	H25決算	H26決算	H27決算	H28決算	H28-H27	
		資産の部（合計）		704,330	702,840	708,553	731,865	750,391	18,526	
		負債の部（合計）		167,371	170,317	162,486	153,973	143,536	▲10,437	
		正味財産の部（合計）		536,959	532,523	546,068	577,891	606,854	28,963	
		経常収益計		962,628	1,021,274	1,023,827	962,789	991,267	28,478	
		経常費用計		993,123	1,025,315	1,009,518	930,240	946,518	16,278	
		当期経常増減額		▲30,495	▲4,041	14,309	32,548	44,748	12,200	
		当期一般正味財産増減額		▲30,911	▲4,435	13,544	31,824	28,962	▲2,862	
		年度目標等		H27計画	H27実績	H28計画	H28実績			
当期経常増減額		▲9,486	32,548	898	44,748					
当期一般正味財産増減額		▲9,807	31,824	174	28,962					
アクションプラン				指標						
1	その他	経営機能の強化による経営改善		当期一般正味財産増減額						
内容	平成26年1月から、4つのプロジェクトを立ち上げ、組織横断的に現状分析と課題の抽出を行い経営問題の解決を図り経営改善を行います。経費削減については、委託契約、光熱水料費の削減、収益については、営業・広報活動の強化、自主事業の見直しによる改善を図ります。また、会長をはじめとする四役会議を毎月開催しアクションプランの進捗管理を行います。			区分	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
				計画	千円	▲30,911	▲4,435 <small>(参考：当初予算額 ▲38,344)</small>	13,544	31,824	174
				実績					28,962	
団体の中期計画等との関連性			中期経営計画アクションプランにおいて、平成28年度末までに黒字転換を達成します。							
取組の選定理由			平成22年度より赤字経営が続いており、公益事業を実施するため積立金を取り崩し事業を実施してきました。今後も、光熱水料費等のコストアップ要因や指定管理料の上限設定に伴う減収が見込まれている為、抜本的な対策をとり経営基盤を確立する必要があります。							
評価指標の過年度（平成28年度）結果分析			【過年度分析】 収支とも厳しい年ではありましたが、電気、ガスの契約変更等による光熱水料費の抑制、また、自主事業の収入増により、3年連続の単年度黒字化を達成できました。							

【平成26～28年度】浜松市外郭団体 コミットメント（平成29年3月総括）

1. 団体基本情報（平成29年3月31日現在）

団体名	社会福祉法人 浜松市社会福祉協議会		市所管課	健康福祉部 福祉総務課	
資本金	18,000	千円	市出資・出捐額 (市出資・出捐率)	0 千円 (0.0 %)	設立年月 昭和26年9月
設立目的 (簡潔に記載)	浜松市における社会福祉事業その他の社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化により、地域福祉の推進を図る。				

2. (政策実現のパートナーとして) 市と外郭団体の関わり方

		廃止を検討すべき基準	該当状況
浜松市 (所管課)	外郭団体の必要性検証 (「浜松市外郭団体の設立及び運営に対する関与の基本方針」第5条第1項第1号)	設立目的について「達成した」「達成できないことが確定した」「外部的要因により達成若しくは消滅した」のいずれかに該当する場合は法人の廃止を検討	該当しない
		外郭団体の行う事業の大半の事業と同種又は類似の事業を行う民間法人がある場合は法人の廃止を検討	該当しない
		市から運営費補助、随意契約による委託及び職員派遣を現在行っており、将来もこれらが不要と見込まれる場合は市の関与の廃止を検討	該当しない
	外郭団体に期待する役割	市が策定した第3次地域福祉計画において、地域福祉を推進するために目指す理念や目標像を示しており、(福)浜松市社会福祉協議会が策定した地域福祉活動計画と整合を図り連携しながら、効率的かつ実効性のある地域福祉を推進する組織として期待しています。	
外郭団体に求める事業等の目標	市は、地域福祉計画における地域福祉の推進に向け、以下のことを求めます。 ①コミュニティソーシャルワーカー(CSW)を配置し、地域における見守り・発見・つなぎ機能を強化し、地域福祉力の向上を求めます。 ②地域福祉に対する住民意識の向上(地区社協への参加意向、地域での支えあいの進展度)や企業の社会貢献活動への参加促進を求めます。		
(外郭団体に期待する役割等に関連する市の計画・政策体系上の位置づけ)	浜松市第3次地域福祉計画		
外郭団体	経常収支状況の過年度実績に関する評価	昨年度と比較すると補助金収入は7,000千円減額となったものの、コミュニティソーシャルワーカー事業の配置人員増に伴い市負担金が22,838千円増えたことや、介護保険事業等での事業収益が増えたことから収益全体では23,000千円を超える増収となりました。 また、事業費では元気はつつ教室送迎方法の見直し等により事業費56,506千円減、その他事業についても経費の節減を図ったことから、費用全体として147,800千円減にともない、経常収支増減差額が625千円、当期活動増減差額は昨年比62,401千円増の1,220千円となりました。	
(浜松市 所管課)	コミットメントの過年度実績に関する評価	平成28年度は、コミュニティソーシャルワーカーの配置については、目標を達成をできなかったものの、CSR活動の促進については、目標を3件上回る11件を達成し、地域たすけあい支援事業の推進でも、当初の目標を達成できました。 また、平成27年度決算から新たな会計基準を適用する中、事業経費の削減などの努力により、平成28年度には625千円ではありませんが、単年度で経常収支が黒字に転換することができたことは評価できます。	
(政策法務課)	経営改革方針の必要性	有(“有”の場合、外郭団体は、アクションプランを策定すること) 【決算：当期活動収支差額】 (平成27年度)▲61,180千円(赤字)、(平成28年度)1,220千円 平成26年度、平成27年度と赤字が続きましたが、平成28年度は黒字となりました。しかし、福祉基金の取崩しを行う中での黒字化ですので、引き続きアクションプランの着実な実行と執行管理により平成30年度の黒字化を目指してください。	

外郭団体	理念	市民の参加と支えあいによる誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり		
	ビジョン (コミットメント期間において、目指す基本方向)	地域福祉活動計画に基づく地域福祉事業の推進		
	(ビジョンに関連する外郭団体における計画等)	第3次浜松市地域福祉活動計画(平成26～30年度)		
	コミットメント概要 (外郭団体が策定し、浜松市に約束する内容)	1	公益	地区社協の活動支援と個別の生活課題・福祉課題を解決するための生活支援を行うコミュニティソーシャルワーカーを配置し、地域福祉の向上に努めます。
	2	公益	企業の社会貢献(CSR)活動の取り組みを地域福祉活動とつなぎ、福祉と企業がパートナーとなって協働して取り組む活動を促進します。	
	3	公益	地区社協が主体になり、地域の中でのちょっとした困りごとを住民の互助により解決する「家事支援サービス事業」を推進し、地域の中での助け合いの仕組みづくりを推進します。	

公益…公益的な使命や市民(利用者)目線での達成する目標

財務…外郭団体の財務状況(市からの支出金含む)について達成する目標

組織…組織や業務プロセス改善等について達成する目標

その他…上記以外

3. コミットメント

コミットメント名			評価指標						
1	公益	コミュニティソーシャルワーカーの配置(CSW)	配置人数						
概要	地区社協の活動支援と個別の生活課題・福祉課題を解決するための生活支援を行うコミュニティソーシャルワーカーを配置し、地域福祉の向上に努めます。		区分	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
			計画	人	未実施	未実施	調査研究	2	7
			実績						4
外郭団体	コミットメントを達成するための取組内容及び期限	平成26年度…先進地などの調査研究 平成27年度…モデル地区への配置、平成28年度…市内への順次配置							
外郭団体	コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性	地域における福祉ニーズの多様化、複雑化に伴い、専門職であるCSWの配置が必要になっています。(地域福祉活動計画の重点事業)							
外郭団体	評価指標の過年度(平成28年度)結果分析	<p>【過年度分析】</p> <p>平成28年度からは市委託事業ではなく市社協の事業となり、市が相応の負担をすることとなりました。配置については、平成27年度からの継続として2名、平成28年度新規に2名の計4名としました。計画値より少なくなったのは、個別支援の時間が多くなっているため、計画値までの増員の前にもう少し地域支援の部分の実績が必要との判断によるものです。</p> <p>平成28年度の新規相談件数は335件で、昨年度の約2倍となり、相談経路については、本人、民生委員・児童委員、地域包括支援センターが多くなっています。これは平成27年度と同じ傾向です。</p> <p>地域支援については、平成28年度から相談対応から区分け(地域支援・関係づくり・ネットワーク・会議研修)して件数をカウントし、今後の比較として使用していくこととしました。平成28年度は、地域支援は220件でした。また、地域診断については、コミュニティソーシャルワーカーが配置されていない区においても実施することとし、平成28年度は、市内8地区で実施しました。</p>							

コミットメント名			評価指標						
外郭団体	2	公益 企業の社会貢献(CSR)活動の促進	企業と地域・福祉団体とのマッチング数						
	概要	企業の社会貢献(CSR)活動の取り組みを地域福祉活動とつなぎ、福祉と企業がパートナーとなって協働して取り組む活動を促進します。	区分	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
			計画	社	未実施	未実施	機能構築	6	8
			実績						11
コミットメントを達成するための取組内容及び期限	<p>平成26年度…啓発のため、企業向けのセミナーを開催。CSR活動事例集の作成。</p> <p>平成27年度…啓発のため、企業向けのセミナーを開催し、モデル事業として5社をマッチング</p> <p>平成28年度…引き続き企業向けのセミナーを開催し、モデル事業として8社をマッチング。企業との連携を強化し、以下の内容に取り組みます。</p> <p>①企業に対してホームページ、メール等を活用し、積極的にCSR活動の周知を図ります。</p> <p>②引き続き企業向けのセミナーを開催し、そこから実績につながるような支援を進めます。</p> <p>③地域からのニーズを把握し、こちらから企業に対して事業提案ができるような仕組みづくりに取り組みます。</p>								
コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性	<p>企業が福祉分野にかかわるには、具体的な成果が見えることが大事です。地域でも活動のための資金や材料が必要であり、これらをコーディネートすることが、双方のよりよい関係構築に効果があります。</p> <p>また、企業の社会貢献(CSR)活動の促進は第3次地域福祉活動計画の重点事業になっています。</p>								
評価指標の過年度（平成28年度）結果分析	<p>【過年度分析】</p> <p>企業からの相談は年々増加しており、関心が高くなっていることがうかがえます。平成28年度については、相談件数は16件、そのうちのマッチングの件数が11件となり、目標値以上の件数となりました。ただし、その内容は昨年度と同様に地域とつながるものが少なく、寄付(物資も含める)に関するものが多くなっています。</p> <p>また、平成28年度も、企業や社会福祉法人を対象に、CSRセミナーを実施しました。特に社会福祉法人は、社会福祉法の改正に伴う地域貢献の取り組みもあり、参加数は増加傾向にあります。</p> <p>今後については、事業提案を工夫し、地域活動や生活支援等につなげたりして活動の範囲を広めていくことと、社会福祉法人の地域貢献の取り組みに寄与できるような内容にしていきます。</p>								
コミットメント名			評価指標						
外郭団体	3	公益 地域たすけあい支援事業の推進	家事支援サービス実施地区社協数						
	概要	地区社協が主体になり、地域の中でのちょっとした困りごとを住民の互助により解決する「家事支援サービス事業」を推進し、地域の中での助け合いの仕組みづくりを推進します。	区分	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
			計画	地区	18	20	24	25	27
			実績						27
コミットメントを達成するための取組内容及び期限	<p>平成26年度…協力員養成講座等の開催や地域への啓発をし、新たに4地区での実施を支援しました。</p> <p>平成27年度…同様にして、新たに1地区での実施を支援しました。</p> <p>平成28年度…同様にして、新たに2地区での実施を支援します。</p>								
コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性	<p>地域で生活することに不便を感じている高齢者が多いですが、制度のみでは解決できず、地域の中での助け合いによる仕組みづくりが重要です。浜松市では、地区社協が実施主体となり家事支援サービスとしてこれに取り組んでおり、市全域に広めていくことが地域福祉の推進を図るために必要です。(第3次地域福祉活動計画の基本計画に登載)</p>								

	評価指標の過年度（平成28年度）結果分析	<p>【過年度分析】</p> <p>平成27年度と比較して新たに2地区が増え、27地区において家事支援サービスが実施され、目標を達成できました。この事業は、家事支援サービスの実施主体である地区社会福祉協議会への支援をすることで、地域福祉の推進と生活支援の充実を図るものです。介護保険制度の改正により、今まで以上に地域での生活支援体制が求められるため、今後についても実施へ向けての支援を強化していきます。</p>
--	----------------------	---

4. 3カ年のコミットメント等の総括

外郭団体	3ヶ年のコミットメント取組総括	<p>3ヶ年の総括として、おおむね計画通り取り組むことができたと評価しています。</p> <p>達成できなかったコミットメントのコミュニティソーシャルワーカーの配置については、浜松市と協議しながら今後も増員することを視野に入れて、検討をしていきます。</p>
(所管課) 浜松市	3ヶ年のコミットメント取組総括	<p>3ヶ年の総括として、おおむね計画通りに進捗できていたと評価しています。</p> <p>達成できなかったコミュニティソーシャルワーカーの配置数については、平成29年4月より8名に配置が決まっており、今後も地域における支援状況を確認しながら、市社協と今後の配置について検討していきます。</p>
外郭団体	3ヶ年の経常収支状況総括	<p>3ヶ年の総括として、おおむね計画通りに進捗したと評価しています。</p> <p>経営の健全化に努めるとともに、事業費等の経費節減努力により平成28年度には経常収支差額が625千円、当期活動収支差額が1,220千円となり、経営状況は改善の方向に向かっていると考えています。</p>

5. 経営改革アクションプラン（社会福祉協議会）

（政策法務課） 浜松市

【外郭団体の経営改革が必要と判断した理由】
 ・平成23～24年度と2年連続の赤字となっています。
 （経営赤字のその他要因は、市の補助金削減及び基金を適正額にするためのものが含まれています）
 ・経営赤字の一因である介護保険事業における収支悪化について、まずは、介護保険事業をどの程度まで立て直すのか、目標の設定及び進捗管理が必要です。
 ・短期的に介護保険事業等の収支改善ができるわけではないため、事前措置として経営改革アクションプランの策定が必要です。

【平成28年度決算に関する評価】
 ・当期活動収支差額は計画額▲33,419千円のところ実績値が1,220千円となり、赤字から黒字に転換されたことを評価します。ただし、福祉基金の適正化（取崩し）を伴う中での黒字であるため、平成29年度以降も引き続き安定して収支相償を実現することが必要です。

【3年間の評価】
 ・平成28年度の当期活動収支差額が1,220千円の黒字となるなど、社会福祉法人の会計基準の変更に伴う影響額を除けば全体的に経営状況は改善していると判断します。
 ・引き続き厳しい財政運営が続いてはいますが、第3次強化発展計画を見直していく中で、福祉基金の適正化を含め、平成30年度の収支相償を目指すため、平成29年度以降も市の関与（経営改善要請・アクションプランによる関与）を継続していく必要があると判断します。

年度決算等	H24決算	H25決算	H26決算	H27決算	H28決算	H28-H27
資産の部（合計）	1,938,715	1,844,146	1,830,116	1,836,608	1,847,890	11,282
負債の部（合計）	394,823	339,004	371,067	391,647	401,994	10,347
正味財産の部（合計）	1,543,893	1,505,142	1,456,849	1,444,961	1,445,896	935
経常収益計（※1）	1,532,625	1,482,024	1,453,909	1,450,617	1,421,561	▲ 29,056
経常費用計（※2）	1,545,725	1,450,344	1,456,178	1,550,543	1,420,936	▲ 129,607
経常収支差額	▲ 13,100	31,681	▲ 2,269	▲ 99,926	625	100,551
当期活動収支差額	▲ 12,086	33,495	▲ 2,321	▲ 61,180 (▲26,180)	1,220	62,400
年度目標等	H27計画	H27実績	H28計画	H28実績		
経常収支差額	▲ 5,492	▲ 99,926	▲ 33,419	625		
当期活動収支差額	▲ 5,492	▲ 61,180 (▲26,180)	▲ 33,419	1,220		

アクションプラン			指標					
1	財務	経営健全化	当期活動収支差額					
内容	強化・発展計画に基づき、平成30年度を目標に収支均衡を目指します。	区分	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		計画	千円	▲ 12,086	33,495	▲ 2,321	▲ 61,180	▲ 33,419
		実績				(▲26,180)	1,220	
団体の中期計画等との関連性		強化・発展計画においては、平成30年度までに基金・繰越金を適正額にするとともに、収支均衡を図ることとしています。						
取組の選定理由		地域福祉を推進する中核的な団体として、その使命を果たすためには経営基盤の強化が求められています。						
評価指標の過年度結果分析		【過年度分析】 社協活動費補助金は減額となったものの、コミュニティソーシャルワーカーの増員による市負担金の増や介護保険事業並びに障害事業の経営努力により利用者が増え収益増となりました。また、元気はつらつ教室事業の送迎方法見直しにより事業費が大幅減となり、法人全体として計画値を上回る成果を得ることができました。						

アクションプラン			指標						
2	財務	基金の適正化	基金残高						
内容	福祉基金について、平成30年度までに適正額の413,520千円にします。		区分	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
			計画	千円	621,321	551,321	507,321	472,321	445,321
			実績						452,321
団体の中期計画等との関連性		強化・発展計画においては、平成30年度までに基金・繰越金を適正額にする とともに、収支均衡を図ることとしています。							
取組の選定理由		行革審答申により、繰越金の削減や基金の取り崩しによる補填が可能な範 囲を明確にし、補填の終了後には、単年度の経常収支で黒字を確保するこ ととされています。							
評価指標の過年度結果分析		【過年度分析】 平成28年度は福祉基金を20,000千円取崩し、当初の計画を上回る基金残高とな りましたが、経常収支での黒字化を達成できました。今後も平成30年度までに適正額 の413,520千円にするよう努めます。							

※1 事業活動収入＋（事業外活動収入－繰入金収入）

※2 事業活動支出＋（事業外活動支出－繰入金支出）

【平成26～28年度】浜松市外郭団体 コミットメント（平成29年3月総括）

1. 団体基本情報（平成29年3月31日現在）

団体名	公益社団法人 浜松市シルバー人材センター	市所管課	健康福祉部 高齢者福祉課
資本金	- 千円	市出資・出捐額 (市出資・出捐率)	- 千円 - %) 設立年月 昭和57年6月
設立目的 (簡潔に記載)	「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」の規定に基づき、定年退職者等の就業相談と就業機会の提供等により、対象者の能力の活用と生きがいづくりに資する		

2. (政策実現のパートナーとして)市と外郭団体の関わり方

		廃止を検討すべき基準	該当状況
浜松市 (所管課)	外郭団体の必要性検証 (「浜松市外郭団体の設立及び運営に対する関与の基本方針」第5条第1項第1号)	設立目的について「達成した」「達成できないことが確定した」「外部的要因により達成若しくは消滅した」のいずれかに該当する場合は法人の廃止を検討	該当しない
		外郭団体の行う事業の大半の事業と同種又は類似の事業を行う民間法人がある場合は法人の廃止を検討	該当しない
		市から運営費補助、随意契約による委託及び職員派遣を現在行なっておらず、将来もこれらが不要と見込まれる場合は市の関与の廃止を検討	該当しない
	外郭団体に期待する役割	市は、はままつ友愛の高齢者プランにおいて、高齢者の多様な就業・社会参加の機会を提供することとしており、浜松市シルバー人材センターは、就業支援の中核的推進機関として活躍することを期待しています。	
外郭団体に求める事業等の目標	市は、はままつ友愛の高齢者プランにおいて、高齢者の多様な就業・社会参加の機会を提供の実現に向けて、以下のことを求めます。 ①事務の効率化などにより、経費の削減を図る。 ②就業機会の拡大に努め、事業収入の増加を図る。 ③会費及び事務手数料の引き上げを検討する。 ④上記①～③により、自主財源の充実を図り、補助金の削減と自立的な運営を目指す。		
(外郭団体に期待する役割等に関連する市の計画・政策体系上の位置づけ)	はままつ友愛の高齢者プラン（浜松市高齢者保健福祉計画）		
外郭団体	経常収支状況の過年度実績に関する評価	<p>経常収益1,806,064千円（前年度：1,737,833千円）、経常費用1,812,372千円（前年度：1,731,689千円）、当期経常増減額▲6,308千円（前年度6,144千円、当期一般正味財産増減額▲6,308千円（前年度6,144千円）</p> <p>当期経常増減額▲6,308千円は、前年度の黒字分6,144千円の収支相償の原則による計画的執行▲6,144千円を含むものであり、28年度の単年度実質収支差額は▲164千円です。</p>	
(浜松市 所管課)	コミットメントの過年度実績に関する評価	<p>経常利益の赤字は計画的執行によるものであり問題ないと考えます。会員数は指標の計画数値に達しませんが、前年度実績を上回り過去最高となりました。また、契約金額は指標の計画数値及び前年度実績を上回り、概ね順調に事業の推進が図られたものと評価します。</p>	
(政策法務課)	経営改革方針の必要性	<p>無（“有”の場合、外郭団体は、アクションプランを策定すること）</p> <p>【決算：当期一般正味財産増減額】 （平成27年度）6,144千円、（平成28年度）▲6,307千円（昨年度の黒字分6,144千円を計画執行したことによる赤字） 本年度赤字になった要因は、昨年度の黒字分を収支相償とするためのものであり、喫緊の経営改革の必要性は生じていません。</p>	
外郭団体	理念	「自主・自立、共働・共助」	
	ビジョン (コミットメント期間において、目指す基本方向)	①会員の増強と育成 ②就業機会の拡大と開拓	
	(ビジョンに関連する外郭団体における計画等)	第3次5ヶ年計画（平成24～28年度）	
	コミットメント概要 (外郭団体が策定し、浜松市に約束する内容)	1	公益
	2	公益財務	就業機会の拡大に努め、就業先の確保と事業収入の増加を図る。契約金額を平成28年度に16億7千万円以上にします。
	3	-	-

公益…公益的な使命や市民（利用者）目線での達成する目標

財務…外郭団体の財務状況（市からの支出金含む）について達成する目標

組織…組織や業務プロセス改善等について達成する目標

その他…上記以外

3. コミットメント

		コミットメント名		評価指標						
外郭 団体	1	公益	会員数の増加	会員数						
	概要	高齢者の就業機会と社会参加を推進するために、会員数を平成28年度に4,450人以上にします。		区分	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
				計画	人	4,242	4,339	4,270	4,332	4,454
				実績						4,409
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限		マスコミ媒体を利用した入会の勧誘や会員一人ひとりによる勧誘を実施し、平成28年度までに会員数を4,450人以上にします。							
コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		シルバー人材センターの設立目的からしても、会員数の増加が、市の就業支援と社会参加を促進するために必要です。また、第3次5ヶ年計画においても会員の増強を掲げています。								
評価指標の過年度（平成28年度）結果分析		【過年度分析】達成率99.0% 会員拡大のため、会員一人ひとりのチラシ配布活動、自治会内での回覧、新聞折込(3回)を実施。新たな取り組みとして出張説明会を市内3ヶ所で実施した結果、計画目標値は達成できませんでしたが、過去最多会員数となりました。								
		コミットメント名		評価指標						
外郭 団体	2	公益 財務	就業先の確保と事業収入の増加	契約金額						
	概要	就業機会の拡大に努め、就業先の確保と事業収入の増加を図る。契約金額を平成28年度に16億7千万円以上にします。		区分	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
				計画	千円	1,637,662	1,670,659	1,682,367	1,630,015	1,670,217
				実績						1,699,668
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限		就業開拓員及び会員一人ひとりによる訪問活動。また、就業推進委員会の新設による就業機会拡大策を検討し、平成28年度までに契約金額を16億7千万円以上にします。							
コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		事業運営に係る自己財源の確保が厳しい中、就業先の確保と事業収入の増加を図ることにより、自立的な運営を目指していくことが必要です。また、第3次5ヶ年計画においても就業機会の拡大を掲げています。								
評価指標の過年度（平成28年度）結果分析		【過年度分析】・達成率101.8% 新聞折込等を活用したPRを実施するとともに、就業開拓員を中心に企業訪問等(296件)を行い、就業機会の拡大を図った結果、民間企業の契約額が伸び、計画を上回る結果となりました。								

4. 3カ年のコミットメント等の総括

外郭 団体	3ヶ年のコミットメント取組総括 (所管松 市)	会員数については最終年度の目標値に達成しなかったものの、各年度の目標達成率が着実に増加する取り組みができました。(26年度97.6% 27年度98.0% 28年度99.0%) また、契約金額については、最終年度の目標値を上回る数値となるなど、総体的な取り組みは及第と考えます。
		3ヶ年の総括として、概ね順調に事業の推進が図られたものと評価します。 企業の定年延長や再雇用等により会員確保は厳しい状況ですが、達成できなかったコミットメント(会員数)については、29~31年度のコミットメントにおいて達成することを期待します。
外郭 団体	3ヶ年の経常収支状況総括	期間内において、各年度の収支差額に大きな変化が見られましたが、3年間のトータル収支は概ね収支相償に沿った状況となりました。

【平成26～28年度】浜松市外郭団体 コミットメント（平成29年3月総括）

1. 団体基本情報（平成29年3月31日現在）

団体名	社会福祉法人 浜松市社会福祉事業団	市所管課	健康福祉部 障害保健福祉課
資本金	3,000 千円	市出資・出捐額 (市出資・出捐率)	3,000 千円 (100.0 %)
設立目的 (簡潔に記載)	障害の早期発見・早期療育、リハビリテーションまでの一貫した障害福祉支援を目的として、平成4年7月に開所した発達医療総合福祉センターの管理運営を行うため。		
		設立年月	平成4年2月

2. (政策実現のパートナーとして)市と外郭団体の関わり方

		廃止を検討すべき基準	該当状況
浜松市 (所管課)	外郭団体の必要性検証 (「浜松市外郭団体の設立及び運営に対する関与の基本方針」第5条第1項第1号)	設立目的について「達成した」「達成できないことが確定した」「外部的要因により達成若しくは消滅した」のいずれかに該当する場合は法人の廃止を検討	該当しない
		外郭団体の行う事業の大半の事業と同種又は類似の事業を行う民間法人がある場合は法人の廃止を検討	該当しない
		市から運営費補助、随意契約による委託及び職員派遣を現在行なっており、将来もこれらが不要と見込まれる場合は市の関与の廃止を検討	該当しない
	外郭団体に期待する役割	医療と福祉サービスの連携した障害福祉施策の中核的推進機関としての役割を担うことを期待しています。	
外郭団体に求める事業等の目標	市は、障害福祉施策を推進するにあたり、以下のことを求めます。 ① 医療と福祉サービスを一体的に提供できる強みを活かすため、専門性の更なる向上を目指す。 ② 安定した経営を行う。 ③ 時代のニーズを捉え、自ら事業を展開することで、地域課題を解決することを目指す。		
(外郭団体に期待する役割等に関連する市の計画・政策体系上の位置づけ)	浜松市障がい者計画		
外郭団体	経常収支状況の過年度実績に関する評価	事業活動収支計算書の経常収支(増減)差額は、平成27年度▲7,296千円、平成28年度34,190千円となりました。 平成28年度の指定管理料は32,000千円減額の198,585千円となりましたが、医療事業収益の増加、施設部門の安定した稼働率等により経常収支(増減)差額は順調に推移しました。	
(浜松市 所管課)	コミットメントの過年度実績に関する評価	専門性の向上においては、新規事業の実施や患者数が増加している診療部門を中心に専門職員を正規雇用した結果、目標を7人上回る85人となり、施設稼働率においては、昨年度と同程度の稼働率を達成しています。 また、平成27年度には赤字となった経常収支差額も黒字へ転じ、安定した経営がうかがえます。 今後も健全な経営に努め、医療と福祉サービスを一体的に提供していく役割を果たしていくことを期待します。	
(政策法務課)	経営改革方針の必要性	無(“有”の場合、外郭団体は、アクションプランを策定すること) 【決算：当期経常増減額】 (平成27年度)▲7,602千円(赤字)、(平成28年度)34,109千円 喫緊の経営改革の必要は生じていません。	

外郭団体	理念	すべての人の生命に安全を、すべての人の生活に安心を、すべての人の人生に輝きを		
	ビジョン (コミットメント期間において、目指す基本方向)	医療と福祉の専門性を通じて ①支援を必要とする人々のよき伴走者となる ②人生や地域をつなぐ軸となり安全網となる ③新たな価値観・文化を創造する		
	(ビジョンに関連する外郭団体における計画等)	浜松市社会福祉事業団中期経営計画		
	コミットメント概要 (外郭団体が策定し、浜松市に約束する内容)	1	組織	質の高いサービスを提供するため、利用者増加に応じた専門職員の適正な人材確保(正規化)により、専門性の更なる向上を図ります。
	2	財務	健全な経営を継続するため、施設部門で稼働率100%を維持することで、安定的な利用料金収入を確保します。	
	3	公益	地域課題を解決するため、新規事業(主に自主事業)を実施します。	

公益…公益的な使命や市民(利用者)目線での達成する目標

財務…外郭団体の財務状況(市からの支出金含む)について達成する目標

組織…組織や業務プロセス改善等について達成する目標

その他…上記以外

3. コミットメント

外郭団体	コミットメント名		評価指標								
	1	組織	専門性の向上			専門職員数(正規)					
	概要	質の高いサービスを提供するため、利用者増加に応じた専門職員の適正な人材確保(正規化)により、専門性の更なる向上を図ります。			区分	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
					計画	人	55	62	74	77	78
					実績						85
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限		正規職員の安定的採用と非正規職員の内部登用試験を実施し、平成28年度までに正規の専門職員数を78人以上にします。								
	コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		専門職員の人材確保に取り組むことが、専門性の更なる向上に必要です。また、中期計画にも、専門職の拡充を掲げています。								
評価指標の過年度(平成28年度)結果分析		【過年度分析】 新規事業の実施及び二つの診療所における患者数の増加に対応するための診療体制の強化として、内部登用も含めた専門職員の確保に努めました。									
外郭団体	コミットメント名		評価指標								
	2	財務	施設稼働率の維持			施設稼働率					
	概要	健全な経営を継続するため、施設部門(4施設)で稼働率100%を維持することで、安定的な利用料金収入を確保します。			区分	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
					計画	%	98	102	104	108	100
					実績						107
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限		施設毎に目標稼働率を設定し、稼働率を維持します。								
	コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		施設稼働率を維持し、安定した利用料金収入を確保することで、健全経営を継続することが必要です。								
評価指標の過年度(平成28年度)結果分析		【過年度分析】 施設部門(かがやき、はばたき、ふれんず、ひまわり)にて、障害者総合支援法、児童福祉法に基づく定員を遵守しながら、全ての施設で稼働率100%以上を達成しました。									

外郭団体	コミットメント名		評価指標							
	3	公益	新規事業の実施		新規事業実施数					
	概要	地域課題(市民が抱える様々な悩みや課題)を解決するため、市と協議を行い、既存の事業を見直しながら、新規事業を実施します。		区分	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
				計画	事業	1	4	1	1	1
				実績						1
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限	地域課題、ニーズに即応した新規事業(主に自主事業)を毎年1事業実施していきます。								
	コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性	中期計画にも、地域の福祉ニーズを先取りした取り組みを進めることを掲げています。								
	評価指標の過年度(平成28年度)結果分析	【過年度分析】 児童発達支援のニーズの増大を受け、新たに、児童発達支援事業所「ひまわりひくまの丘」(定員10名)を、平成28年4月に開設しました。								

4. 3カ年のコミットメント等の総括

外郭団体		浜松市社会福祉事業団が実施する医療、相談、療育、福祉のニーズが、年々増加していく中、計画的に専門職の人材確保を行う中で、安定した事業の運営に取り組みました。 3ヶ年の総括として、全てのコミットメントについて、達成できたと評価しています。
(所管課) 浜松市	3ヶ年のコミットメント取組総括	ニーズが増加している医療、療育等に対して、専門職員の人材確保や新規事業への取り組みなどを行い、いずれのコミットメントについても、目標達成に伴い、適切な医療と福祉サービスを提供できたことを評価しています。
外郭団体	3ヶ年の経常収支状況総括	平成26年度については48,120千円、平成27年度については▲7,296千円、平成28年度は34,190千円、3ヶ年では75,014千円でした。 経常増減差額において、平成27年度は施設の利用者増等に伴う職員増員や新規事業実施のための初期費用により一度赤字となったものの、平成28年度には医療収入の増加等により黒字化することができ、経営状況は改善しています。

【平成26～28年度】浜松市外郭団体 コミットメント（平成29年3月総括）

1. 団体基本情報（平成29年3月31日現在）

団体名	公益財団法人 浜松市医療公社		市所管課	健康福祉部 病院管理課			
資本金	530,000	千円	市出資・出捐額 (市出資・出捐率)	530,000 (100.00 %)	千円	設立年月	昭和47年11月
設立目的 (簡潔に記載)	浜松医療センターの運営団体として、医療及び公衆衛生活動に関する各種事業を行う。						

2. (政策実現のパートナーとして) 市と外郭団体の関わり方

		廃止を検討すべき基準	該当状況
浜松市 (所管課)	外郭団体の必要性検証 (「浜松市外郭団体の設立及び運営に対する関与の基本方針」第5条第1項第1号)	設立目的について「達成した」「達成できないことが確定した」「外部的要因により達成若しくは消滅した」のいずれかに該当する場合は法人の廃止を検討	該当しない
		外郭団体の行う事業の大半の事業と同種又は類似の事業を行う民間法人がある場合は法人の廃止を検討	該当しない
		市から運営費補助、随意契約による委託及び職員派遣を現在行っており、将来もこれらが不要と見込まれる場合は市の関与の廃止を検討	該当しない
	外郭団体に期待する役割	浜松医療センター中期計画に基づき、安心・安全な、地域に信頼される公立病院として、地域医療機関との連携及び役割分担のもと、質の高い救急医療、小児・周産期医療、感染症医療、災害その他の緊急時における医療等の政策的医療や高度専門医療を提供するとともに、民間のコスト意識やノウハウによる効率的な病院経営を期待します。また、市と協働による新病院建設を計画通り確実に実施するための協力を期待します。	
外郭団体に求める事業等の目標	安定経営の継続と、新病院建設の取り組みを円滑に進めるために、浜松医療センター中期計画で設定した目標値の達成を求めます。		
(外郭団体に期待する役割等に関連する市の計画・政策体系上の位置づけ)			
外郭団体	経常収支状況の過年度実績に関する評価	経常収益16,000,167千円（前年度：16,060,028千円）、経常費用16,000,167千円（前年度：16,060,028千円）、経常損益（当期経常増減額）0千円（前年度：0千円）、当期純利益（当期一般正味財産増減額）0千円（前年度：0千円） 昨年度と比較すると経常収益が△59,861千円の減となりましたが、実質的な利益である指定管理者変動負担金を市に納付することができ、結果収支相償となり、経常収支比率100%を達成することができました。翌年度も指定管理者変動負担金を市に納付した上での収支相償を見込んでいます。	
(所管課) 浜松市	コミットメントの過年度実績に関する評価	診療報酬が改正され、急性期病院にとって厳しい経営状況におかれていますが、新設の施設基準の取得や、診療報酬の上位基準を取得することにより収益を確保し、経費の節減に努めることで、経常収支比率100%の目標を達成することができました。	
(政策法務課)	経営改革方針の必要性	無（“有”の場合、外郭団体は、アクションプランを策定すること） 【決算：当期一般正味財産増減額】 (平成27年度)0千円、(平成28年度)0千円 喫緊の経営改革の必要性は生じていません。	

外 郭 団 体	理念	安全・安心な、地域に信頼される病院		
	ビジョン (コミットメント期間において、目指す基本方向)	(1) 患者の権利と尊厳を尊重し、患者中心の安全・安心な医療を提供します (2) オープンシステムを活用し、地域医療連携ネットワークを強化します (3) 地域の救急・災害医療を支え、小児・周産期医療を守ります (4) 時代の要請に応えた高度・先進医療を推進します (5) 医療に関する調査・研究を推進し、国内外に情報を発信します (6) 職員の教育・研修に努め、国際的に通じる真の医療人を育成します (7) 効率的な病院経営に努め、健全な財政基盤を確立します		
	(ビジョンに関連する外郭団体における計画等)	浜松医療センター中期計画 (H28~H32)		
	コミットメント概要 (外郭団体が策定し、浜松市に約束する内容)	1	財務	病院運営を的確に行うため、経常収支比率100%を維持します。
	2	-	-	
	3	-	-	

公益…公益的な使命や市民（利用者）目線での達成する目標

財務…外郭団体の財務状況（市からの支出金含む）について達成する目標

組織…組織や業務プロセス改善等について達成する目標

その他…上記以外

3. コミットメント

コミットメント名			評価指標							
外郭団体	1	財務	公立病院の持続可能な経営	経常収支比率100%の維持						
	概要	浜松医療センターの持続可能な経営を目指すため、指定管理者である(公財)浜松市医療公社の黒字経営を維持します。		区分	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
				計画	%	101.1	100.0	100.0	100.0	100.0
				実績						
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限			中期計画に掲げる事業期間中の経常収支比率100%を維持するため、適切な施設基準の取得などによる収入の確保、後発医薬品の採用促進などによる経費の節減に努めます。計画値の設定は、中期計画の終期(平成32年度)までとしています。						
コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性			業務運営の改善及び効率化等を進め、病院運営を的確に行うため、中期計画に掲げる「経常収支比率100%の維持」とします。							
評価指標の過年度(平成28年度)結果分析			【過年度分析】 経常収益の減少など厳しい経営環境でしたが、実質的な利益である指定管理者変動負担金を市に納付することができ、経常収支比率100%を達成することができました。							

4. 3カ年のコミットメント等の総括

外郭団体	3ヶ年のコミットメント取組総括	3ヶ年の総括として診療報酬のマイナス改定など経営環境が厳しさを増した中で、上位の施設基準の取得などによる収入の確保、コンサルティングを活用した契約の見直しなどによる支出の削減に努めた結果、期間を通じて経常収支比率100%を達成することができ、健全な経営を維持することができたと評価しています。
(所管松市)		国の医療制度改革や医療を取り巻く社会環境が大きく変化する中で、安定した経営基盤のもと安全・安心な、地域に信頼される病院として市民の期待に応えることができました。また、公立病院として地域医療に貢献する中で、経費の削減等に努め、経常収支比率100%を維持することができました。
外郭団体	3ヶ年の経常収支状況総括	実質的な利益である指定管理者変動負担金について、平成26年度については248,154千円、平成27年度については346,556千円、平成28年度については246,284千円でした。3ヶ年を通じて経常収支比率100%を達成することができ、経営状況は安定していると考えています。

【平成26～28年度】浜松市外郭団体 コミットメント（平成29年3月総括）

1. 団体基本情報（平成29年3月31日現在）

団体名	一般財団法人 浜松市清掃公社		市所管課	環境部 ごみ減量推進課		
資本金	10,000	千円	市出資・出捐額 (市出資・出捐率)	5,000 (50.00 %)	千円 (%)	設立年月 昭和44年4月
設立目的 (簡潔に記載)	環境衛生の向上及び環境保全に関する事業を行い、市民の快適な生活に寄与すること					

2. (政策実現のパートナーとして)市と外郭団体の関わり方

		廃止を検討すべき基準	該当状況
浜松市 (所管課)	外郭団体の必要性検証 (「浜松市外郭団体の設立及び 運営に対する関与の基本方針」 第5条第1項第1号)	設立目的について「達成した」「達成できないことが確定した」 「外部的要因により達成若しくは消滅した」のいずれかに該当する 場合は法人の廃止を検討	該当しない
		外郭団体の行う事業の大半の事業と同種又は類似の事業を行う民間 法人がある場合は法人の廃止を検討	該当しない
		市から運営費補助、随意契約による委託及び職員派遣を現在行なっ ておらず、将来もこれらが不要と見込まれる場合は市の関与の廃止 を検討	該当しない
	外郭団体に期待する役割	市は、清掃公社にし尿・浄化槽汚泥の一般廃棄物収集運搬業や浄化槽清掃 業の許可を交付しており、清掃公社は環境衛生の向上及び環境保全に関す る事業を行い、市民サービスの維持・向上に努めることを期待します。	
外郭団体に求める事業等の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・職員数の適正化を図り、業務の合理化に取り組むこと。 ・し尿収集業務は着実な収集作業に努めるとともに、浄化槽清掃について も業務を適切に実施すること。 ・市への寄附を除く当年度純利益を黒字とし、健全経営を維持すること。 ・清掃公社は、他の許可事業者のモデル的な役割を担うことや災害時に おける行政協力を行うこと。 		
(外郭団体に期待する役割等 に関連する市の計画・政策体系上 の位置づけ)	浜松市一般廃棄物処理実施計画		
外郭 団体	経常収支状況の過年度実績に関 する評価	経常収益785,382千円（前年度：787,807千円）、経常費用866,159千円 （前年度：946,749千円）、当期経常増減額▲80,787千円（前年度：▲ 159,157千円）、当期一般正味財産増減額▲53,160千円（前年度：▲ 107,518千円）となりました。 前年度と比較すると、市への寄附が1億円少ない2億円であり費用額が減少 したこともあり、赤字額は減少しました。	
(所管 課) 浜 松市	コミットメントの過年度実績に 関する評価	各コミットメントは計画どおり又はそれ以上に目標を達成し、良好な運営 がされています。	
(政策 法務課)	経営改革方針 の必要性	無（“有”の場合、外郭団体は、アクションプランを策定すること） (平成27年度) ▲107,518千円（公益目的支出計画に基づく市への寄附3 億円を控除すれば実質黒字）、（平成28年度）▲53,160千円（公益目的支 出計画に基づく市への寄附2億円を控除すれば実質黒字） 喫緊の経営改革の必要性は生じていません。	

外郭 団体	理念	市の外郭団体として、市民の快適な生活環境維持のため、市民サービスの向上に努めます。		
	ビジョン (コミットメント期間において、目指す基本方向)	①設立時の使命である「し尿及び浄化槽汚泥の安定・確実な収集作業」に努め、環境衛生の向上に努めます。 ②清掃公社の業務は、下水道の進捗により減少傾向にありますが、今後も独立採算の経営を継続し、一層の経営努力をしていきます。		
	(ビジョンに関連する外郭団体における計画等)	経営計画（平成24年度から平成28年度）		
	コミットメント概要 (外郭団体が策定し、浜松市に約束する内容)	1	組織	清掃公社業務は労働集約型のため、業務収入の推移を見極める中で、業務量に見合った職員数の適正化に努めます。
		2	公益	定日収集により、し尿収集業務を着実にを行います。
		3	財務	清掃公社の安定した経営のため、市への寄附を除く当年度純利益を黒字とします。

公益…公益的な使命や市民（利用者）目線での達成する目標

財務…外郭団体の財務状況（市からの支出金含む）について達成する目標

組織…組織や業務プロセス改善等について達成する目標

その他…上記以外

3. コミットメント

		コミットメント名	評価指標						
外郭団体	1	組織 職員数の適正化	業務量に見合った職員数の適正化						
	概要	清掃公社業務は労働集約型のため、業務収入の推移を見極める中で、業務量に見合った職員数の適正化に努めます。	区分	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
			計画	人	65	64	61	60	59
			実績						58
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限		経営計画において平成28年度までの業務量の推移を予測し、若年層の職員の採用や育成を考慮しつつ、業務量の減少に見合った職員数としていきます。						
	コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		清掃公社業務は労働集約型であり、人件費の占める割合が多く、将来の業務量が減少傾向にあることから、安定経営のため、職員数の適正化に努めます。						
評価指標の過年度（平成28年度）結果分析		【過年度分析】年度当初において計画より1名少ない職員数となり職員の募集を行いました但し採用まで至らず、必要な職員数を確保できなかったため、グループの担当業務を越えた応援体制により対応しました。							
		コミットメント名	評価指標						
外郭団体	2	公益 し尿収集業務の着実な実施	一般家庭のし尿の定日収集率						
	概要	定日収集により、し尿収集業務を着実に進めます。 (定日収集とは、毎月決まったサイクルにより家庭を訪問し収集業務を行うこと)	区分	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
			計画	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
			実績						100.0
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限		快適な生活環境を維持するため、利用者の便槽が溢れることがないように、着実なし尿の収集を行います。						
	コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		市民の快適な生活環境を維持するため必要なことであり、清掃公社の本来業務です。						
評価指標の過年度（平成28年度）結果分析		【過年度分析】計画どおり達成できました。							
		コミットメント名	評価指標						
外郭団体	3	財務 経営の安定化	市への寄附を除く当年度純利益の黒字						
	概要	清掃公社の安定した経営のため、市への寄附を除く当年度純利益を黒字とします。	区分	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
			計画	千円	145,982	153,865	203,033	192,482	77,099
			実績						146,840
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限		業務量の減少に伴う収入の減少に応じて経費を節減します。						
	コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		将来の業務量が減少傾向にありますが、清掃公社の安定経営に努めます。						
評価指標の過年度（平成28年度）結果分析		【過年度分析】前年度と比較すると、市への寄附が1億円少ない2億円であり費用額が減少したこともあり、赤字額は減少しました。							

4. 3カ年のコミットメント等の総括

外郭 団体		3ヶ年の総括として、全てのコミットメントについて、達成できたと評価しています。 掲げたコミットメントは公社運営の基本であるため、今後も継続して取り組んでいきます。
(所 管 課) 浜 松 市	3ヶ年のコミットメント取組総括	全てのコミットメントは計画どおり又はそれ以上に目標を達成し、良好な運営がされたと評価しています。
外 郭 団 体	3ヶ年の経常収支状況総括	公益目的支出計画の実施に伴い、市へ平成26年度に3億円、平成27年度に3億円、平成28年度に2億円の寄附を行い、赤字決算が続きましたが、いずれの年度も寄附を除く当年度純利益は黒字であり、健全経営を維持することができました。

【平成26～28年度】浜松市外郭団体 コミットメント（平成29年3月総括）

1. 団体基本情報（平成29年3月31日現在）

団体名	公益財団法人 浜松地域イノベーション推進機構	市所管課	産業部 産業振興課
資本金	965,700 千円	市出資・出捐額 (市出資・出捐率)	543,000 千円 (56.2 %)
設立目的 (簡潔に記載)	産学官との交流及び連携のもとに各種事業を通じて地域企業の経営基盤強化を図ることにより、浜松地域はもとより静岡県産の産業経済の発展に寄与することを目的とする。		
設立年月	昭和56年3月		

2. (政策実現のパートナーとして) 市と外郭団体の関わり方

		廃止を検討すべき基準	該当状況
浜松市 (所管課)	外郭団体の必要性検証 (「浜松市外郭団体の設立及び運営に対する関与の基本方針」第5条第1項第1号)	設立目的について「達成した」「達成できないことが確定した」「外部的要因により達成若しくは消滅した」のいずれかに該当する場合は法人の廃止を検討	該当しない
		外郭団体の行う事業の大半の事業と同種又は類似の事業を行う民間法人がある場合は法人の廃止を検討	該当しない
		市から運営費補助、随意契約による委託及び職員派遣を現在行っており、将来もこれらが不要と見込まれる場合は市の関与の廃止を検討	該当しない
	外郭団体に期待する役割	市は、「はままつ産業イノベーション構想」において、構想を実現するための地域の総合的な産業支援機関として、公益財団法人 浜松地域イノベーション推進機構を位置付けており、本市の産業振興施策の中核的な推進機関としての役割を期待しています。	
外郭団体に求める事業等の目標	「はままつ産業イノベーション構想」で目標とする成長市場・新産業の創出、既存産業の高度化・高付加価値化の実現等に向けて、以下のことを求めます。 ・新産業の創出や新事業展開の基礎となる、地域企業の研究開発を支援することによる製品試作数や事業化数の増加。		
(外郭団体に期待する役割等に関連する市の計画・政策体系上の位置づけ)	はままつ産業イノベーション構想		
外郭団体	経常収支状況の過年度実績に関する評価	経常収益444,418千円(前年度:491,325千円)、経常費用413,043千円(前年度:474,892千円)、経常損益(当期経常増減額・経常増減差額)31,375千円(前年度:16,433千円)、当期純利益(当期一般正味財産増減額、当期活動増減差額)109,122千円(前年度:7,983千円) 昨年度と比較すると、経常収益・経常費用ともに減額しているものの、県へ基金を返還するための自主事業の縮小、人員の適正配置・意識改革等による残業代の削減、兼務や企業からの派遣による人件費の削減などにより、経常損益については、3,100万円程の黒字につながりました。また、基金を返還するため有価証券の売却を行ったところ、売却益が約1億円程発生したため、一般正味財産増につながりました。しかしながら、指定正味財産であった基金8.4億円の返還をしたため、正味財産においては、7.3億円の減額になりました。	
(浜松市 所管課)	コミットメントの過年度実績に関する評価	浜松地域の経済状況において、大企業を中心に輸出の増加傾向、設備投資の着実な増加がみられますが、さらなる人手不足が懸念され、景気回復までには道半ばであり、依然として厳しい状況にあります。 この現状を打破し、地域経済を活性化するためには、中小企業に対する積極的な事業化支援とともに、将来を見据えた人材育成支援が必要であり、機構には市の産業施策の推進機関として、また地域の総合的な産業支援機関として、さらなる事業の充実が必要です。 コミットメントの目標は達成しており、さらに効果的な産業支援事業が展開できるよう指導していきます。	
(政策 法務課)	経営改革方針の必要性	無(“有”の場合、外郭団体は、アクションプランを策定すること) 【決算：当期一般正味財産増減額(経常外)】 (平成27年度)7,983千円、(平成28年度)109,122千円 喫緊の経営改革の必要性は生じていません。	
外郭団体	理念	「はままつ産業イノベーション構想」の実現に向けて、地域企業における経営資源の強化や成長分野への参入支援等を推進する。	
	ビジョン (コミットメント期間において、目指す基本方向)	経営・技術・知財・地域連携のコーディネーター等を配置し、創業から、人材育成、知財活用、新技術・新製品開発、新事業展開、補助金等の資金確保、販路開拓まで、企業の各段階のニーズに応じたきめ細かな支援事業の立案・実施を通じて、地域企業のイノベーションの実現を支援する。	
	(ビジョンに関連する外郭団体における計画等)	なし	
外郭団体	コミットメント概要 (外郭団体が策定し、浜松市に約束する内容)	1 公益	新産業の創出・新事業展開に向け、地域企業の研究開発を支援し、製品試作や事業化を支援します。
		2 公益	新産業の創出・新事業展開に向け、技術開発等に貢献する高度人材を育成します。
		3 財務	毎年度の決算において、財産の取り崩しを伴う「地場産業振興事業」を除いて、黒字決算を確保します。

公益…公益的な使命や市民（利用者）目線での達成する目標
 財務…外郭団体の財務状況（市からの支出金含む）について達成する目標
 組織…組織や業務プロセス改善等について達成する目標
 その他…上記以外

3. コミットメント

		コミットメント名		評価指標						
外 郭 団 体	1	公益	成長分野における新規事業化数の増加	支援の成果による製品試作数・事業化数						
	概要	新産業の創出・新事業展開に向け、地域企業の研究開発を支援し、製品試作や事業化を支援します。		区分	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
				計画						30
				実績	件数	25	23	28	31	35
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限		財団の経営、技術、知財、地域連携のコーディネーターが、国県市の施策と一体となって、地域企業の製品開発や事業化を支援します。							
コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		「はままつ産業イノベーション構想」が目指す新産業の創出・新事業展開には、個々の企業の製品化、事業化の積み重ねがベースとなります。								
評価指標の過年度（平成28年度）結果分析		【過年度分析】 新産業の創出・新事業展開に向け、地域企業の研究開発を通じた製品試作や事業化を支援した結果、目標数を達成しました。								
		コミットメント名		評価指標						
外 郭 団 体	2	公益	新産業創出に貢献する高度人材の育成	人材育成4講座の受講者アンケートにおける満足度						
	概要	新産業の創出・新事業展開に向け、技術開発等に貢献する高度人材を育成します。		区分	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
				計画						90.0
				実績	%	84.0	90.0	97.7	93.2	99.3
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限		講座の実施に当たっては、常に受講企業の意見を考慮して、講座内容、講師等の見直しを図ります。							
コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		「はままつ産業イノベーション構想」が目指す新産業の創出・新事業展開には、ものづくり中小企業に対する基盤技術や新技術の習得を支援することによる、企業の技術開発力等を向上させることが必要です。								
評価指標の過年度（平成28年度）結果分析		【過年度分析】 受講者のニーズを反映して、講座の見直しや新たな講座の企画・開設に反映させた結果100%に近い満足度を得ました。								
		コミットメント名		評価指標						
外 郭 団 体	3	財務	黒字決算による経営健全化の達成	「地場産業振興事業」を除いた決算の黒字化						
	概要	毎年度の決算において、財産の取り崩しを伴う「地場産業振興事業」を除いて、黒字決算を確保します。		区分	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
				計画						黒字
				実績	-	黒字	黒字 (特殊要因除く)	黒字	黒字	黒字
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限		財団運営の経費節減に努め、毎年度決算の上記黒字化を達成します。							
コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		財団が、産業支援機能を強化していくためには、継続的に経営の健全化を図ることが基本です。								
評価指標の過年度（平成28年度）結果分析		【過年度分析】 毎月作成している事業行程表で、事業の進捗管理を行い、経費の節減に努めた結果、特殊要因(地場産業振興事業)を除いて、黒字を達成しました。								

4. 3カ年のコミットメント等の総括

外郭団体	3カ年のコミットメント取組総括	3カ年の総括として、目標に向かって職員一丸となって取り組んだ結果、計画目標を達成することができました。
(所管課) 浜松市		3カ年の総括として、「成長分野における新規事業化数の増加」、「新産業創出に貢献する高度人材の育成」及び「黒字決算による経営健全化の達成」の全項目ともコミットメントを達成しており、達成に向けた取組の内容とその結果を評価します。
外郭団体	3カ年の経常収支状況総括	平成26年度については100万円、平成27年度1,600万円、平成28年度3,100万円の経常黒字でした。3カ年の合計では、4,800万円の黒字が達成できた状態で安定した経営状態であったといえます。しかしながら、公益財団として、累積の黒字については、解消をしていく方法を考える必要があり、また、8.4億円の基金の返還、国補助金のイハ戦略事業終了など、平成28年度と次年度では、事業も財産も大きく変動することとなりました。

【平成26～28年度】浜松市外郭団体 コミットメント（平成29年3月総括）

1. 団体基本情報（平成29年3月31日現在）

団体名	公益財団法人 浜松観光コンベンションビューロー	市所管課	産業部 観光・シティプロモーション課
資本金 基本財産	480,000 千円	市出資・出捐額 (市出資・出捐率)	100,000 千円 (20.8%)
設立目的 (簡潔に記載)	浜松市及びその周辺地域の有する文化的・社会的・経済的優位性を生かし、地域社会の健全な発展を目指し、国内外の観光客及びコンベンションの誘致等を行うことにより、観光コンベンションの振興を図り、もって国際相互理解の増進並びに地域経済の活性化及び文化の向上に資することを目的とする。		
		設立年月	平成元年6月

2. (政策実現のパートナーとして)市と外郭団体の関わり方

		廃止を検討すべき基準	該当状況
浜松市 (所管課)	外郭団体の必要性検証 (「浜松市外郭団体の設立及び運営に対する関与の基本方針」第5条第1項第1号)	設立目的について「達成した」「達成できないことが確定した」「外部的要因により達成若しくは消滅した」のいずれかに該当する場合は法人の廃止を検討 外郭団体の行う事業の大半の事業と同種又は類似の事業を行う民間法人がある場合は法人の廃止を検討 市から運営費補助、随意契約による委託及び職員派遣を現在行なっておらず、将来もこれらが不要と見込まれる場合は市の関与の廃止を検討	該当しない 該当しない 該当しない
	外郭団体に期待する役割	◆浜松市観光ビジョンに基づき、地域一体となった観光振興を進めるため、以下の役割を期待します。 ・地域の観光事業者を取りまとめ、浜松・浜名湖地域一体となった観光・コンベンション振興の取り組み ・市内の魅力ある観光資源を活用した地域全体のコーディネート ・地域・市民を巻き込んだ地域全体の盛り上げ ⇒上記により、当地域への誘客を拡大し、地域全体に必要とされる組織となる。	
	外郭団体に求める事業等の目標	◆市は、観光ビジョンに基づき、地域一体となった観光振興を進め、地域に必要とされる組織となるため、以下のことを求めます。 ①地域の魅力ある観光資源の情報一元化を進めるとともに、コンテンツの充実を図ることで、平成28年度に浜松観光情報サイト「浜松だいすきネット」のページビュー数430万件を達成する。 ②地域の回遊性向上や滞在時間の延長を図るため、平成28年度に滞在プログラム参加者数1,100人や視察旅行の受け入れ数600人を達成する。 ③コンベンションを積極的に誘致することにより地域経済の活性化を図るため、平成28年度にコンベンション支援件数180件、総消費額95億円を達成する。 ④事業の継続性を確保するため、プロパー職員の専門知識・能力の向上に努め、職員の資質向上を図る。	
	(外郭団体に期待する役割等に関連する市の計画・政策体系上の位置づけ)	浜松市観光ビジョン	
外郭団体	経常収支状況の過年度実績に関する評価	経常収益 165,851千円 (前年度: 173,654千円) 経常費用 166,435千円 (前年度: 173,184千円) 当期一般正味財産増減額 ▲602千円 (前年度: 451千円)	※平成28年度は、地域活性化準備資金を取り崩したことから収支相償となりました。翌年度も引き続き収支相償の達成を目指し、効果的な事業推進を図ります。

(所管課) 浜松市	コミットメントの過年度実績に関する評価	コミットメントに関しては、経営状況等も含め、概ね計画どおりの進捗となっています。29年度のDMO移行に伴い、事業内容等が大きく変わる可能性があるため、的確なコミットメントの設定に取り組んでいきたい。		
(政策法務課)	経営改革方針の必要性	無（“有”の場合、外郭団体は、アクションプランを策定すること） 【決算：当期一般正味財産増減額】 （平成27年度）451千円、（平成28年度）▲602千円（収支相償のために地域活性化準備資金を取り崩したため赤字） 喫緊の経営改革の必要性は生じていません。		
外郭団体	理念	国内外から、観光目的として、コンベンションの開催地として、信頼され、好まれ、そして選ばれる「浜松」!!		
	ビジョン (コミットメント期間において、目指す基本方向)	財団の柔軟性と機動力を活用し、 ①「人」をつなぐ ②「地域」をつなぐ ③「情報」をつなぐ		
	(ビジョンに関連する外郭団体における計画等)	中期計画（平成27年度～29年度）		
	コミットメント概要 (外郭団体が策定し、浜松市に約束する内容)	1	公益	観光地域づくりプラットフォームとして、地域にある民間事業者をとりまとめ、プラットフォームに求められている重要な機能のひとつである観光情報の集約、一元化及びコンテンツの充実を図り、来訪者に適切な情報提供を行います。（平成28年度末までに、ホームページビュー数430万件を達成）
		2	公益	地域全体のコーディネーターとして、地域に多数存在する魅力ある観光資源の掘り起こしを行うとともに、地域独自の価値に基づいた滞在プログラムを造成し、情報発信することによって、来訪者の回遊性の向上や滞在時間の延長を図ります。（平成28年度に滞在プログラム参加者年間1,100名、視察旅行受入れ年間600名を達成）
3		公益	スポーツコミッションも含めた国内外のコンベンションを誘致するため、企画提案型のセールス活動や視察コーディネートなどを行い、地域への経済効果を生み出します。（平成28年度までにコンベンション総消費額95億円、支援件数180件を達成）	
4		組織	組織について、引き続き地域関係事業者を含めて検討を行うとともに、あわせてプロパー職員の専門知識・能力を開発し、組織力の強化につなげていきます。	

公益…公益的な使命や市民（利用者）目線での達成する目標

財務…外郭団体の財務状況（市からの支出金含む）について達成する目標

組織…組織や業務プロセス改善等について達成する目標

その他…上記以外

3. コミットメント

		コミットメント名		評価指標						
外郭団体	1	公益	「地域」と「地域」をつなぐ	「浜松だいすきネット」 ページビュー数						
	概要	観光地域づくりプラットフォームとして、地域にある民間事業者をとりまとめ、プラットフォームに求められている重要な機能のひとつである観光情報の集約、一元化及びコンテンツの充実を図り、来訪者に適切な情報提供を行います。地域と地域をつなぐことの証として、情報の一元化によるWEBサイトの「見える化」を実現します。		区分	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
				計画	万件	264	264	293	418	430
				実績						452
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限	当財団が運営する観光情報サイト「浜松だいすきネット」において、当地域の観光情報の一層の一元化を進めるとともに、地域独自の価値に基づくコンテンツの充実を図り、ページビュー数を430万件にします。								
コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性	「視野の広い複合産業としての観光ビジネス」において、顧客接点の幅を広げ、新しい価値観を創造していくことを中期計画で掲げていきます。									
評価指標の過年度（平成28年度）結果分析	【過年度分析】観光地域づくりプラットフォームとして、当地域における観光情報の一層の集約化・一元化を進めています。また、地域の取りまとめとプロデュースを行う役割を担い、各観光協会との連携を強化する取り組みを行っています。当財団が運営するWEBサイト「浜松だいすきネット」においては、新たな切り口として「女子旅特集」をスタートさせるとともに、大河ドラマ放送に合わせて「井伊直虎特設サイト」を設けるなど、来訪者に対して適切で魅力ある情報提供・発信を行っています。また、SNS（フェイスブック）により、当地ならではの旬の情報の発信回数を増やし、来訪の動機付けとなるよう努めています。									
		コミットメント名		評価指標						
外郭団体	2	公益	地域をつなぐ「プラットフォーム」戦略	（上段）滞在プログラム、（下段）視察受け入れ数						
	概要	地域全体のコーディネーターとして、地域に多数存在する魅力ある観光資源の掘り起こしを行うとともに、地域独自の価値に基づいた滞在プログラムを造成し、情報発信することによって、来訪者の回遊性の向上や滞在時間の延長を図ります。		区分	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
				計画	人	未実施	29	2,879	3,778	1,100
				実績						3,055
				計画	人	未実施	169	815	594	600
実績	1,232									
コミットメントを達成するための取組内容及び期限	地域の回遊性、滞在時間の向上を図るため、着地型旅行や体験メニュー等を集約し、当地域における滞在プログラムや視察受け入れの参加者数を、平成28年度に、年間1,700名にします。									
コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性	本市の観光地としての魅力をさらに向上させるためには、多彩な資源をネットワーク化し集約することが重要です。市内唯一の観光地域づくりプラットフォームとして、地域間の連携促進や魅力的な滞在プログラムを提供することにより、ブランド観光地を目指します。									
評価指標の過年度（平成28年度）結果分析	【過年度分析】地域内の関係団体との連携強化を図りながら、引き続き当地域のブランドコンセプト「海の湖」の具現化を目指して、地域独自の価値に基づいた観光資源の掘り起こしと、新たな体験プログラムの造成に取り組んでいます。昨年度はモニターツアーの活用によりメニューも増加しており、あわせて着地型ツアーのオンライン化による24時間受付の実現などにより利用者も着実に増加しています。また、海外の旅行エージェントとも深い信頼関係を築き上げ、韓国や台湾に加えてベトナムからの視察者が増加するなど、東南アジアからの視察者が増加しています。									

コミットメント名			評価指標							
外郭団体	3	公益	戦略的コンベンション セールスマーケティング活動	コンベンション「総消費額」(支援件数)						
	概要	スポーツコミッションも含めた国内外のコンベンションを誘致するため、企画提案型のセールス活動や視察コーディネートなどを行い、地域への経済効果を生み出します。		区分	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
				計画	億円	—	85 (110)	89(111)	90(171)	100(200)
				実績	件	—	85 (110)	89(111)	90(171)	83(166)
コミットメントを達成するための取組内容及び期限			コンベンション関連産業とのネットワークを構築し、平成28年度までに、支援するコンベンションを年間200件に増加させ、コンベンション総消費額を100億円にします(※浜松まつりを除く)。また、コンベンション開催件数全体の把握に努めます。							
コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性			市場の変化に的確に反応し、サービスやアイデアを地域の関連産業とともに創りあげ、戦略的なセールス活動により、継続的なコンベンション誘致を実施します。							
評価指標の過年度(平成28年度)結果分析			【過年度分析】当財団では、経済波及効果の高いコンベンションを誘致するために、戦略的なセールス活動を積極的に展開しています。とりわけ、今後のコンベンション誘致に繋がるキーパーソンに対して、実際に当地域におけるコンベンション施設及び宿泊施設等を視察していただくなど、数年先を見据えたアプローチを積極的に行っております。また、昨年、競争力向上を図るため、コンベンション宿泊助成金制度の上限額の見直しに取り組みました。あわせて担当職員のスキル向上にも取り組んでいるところです。但し、昨年度は大型コンベンションが少なかったことから、総消費額は約83億円になりました。今後も、引き続き大型コンベンションの誘致に向けて積極的に取り組んでまいります。現在、メイン施設となるアクトシティの稼働率が高いことが、誘致が増えない要因となっています。							
コミットメント名			評価指標							
外郭団体	4	組織	外部環境の変化に即した組織体制整備 人材育成	外部及び内部研修の回数						
	概要	組織について、引き続き地域関係事業者を含めて検討を行うとともに、あわせてプロパー職員の専門知識・能力を開発し、組織力の強化につなげていきます。		区分	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
				計画	—	—	—	10	12	10
				実績	—	—	—	10	12	16
コミットメントを達成するための取組内容及び期限			当財団の理事及び評議員について見直しを図るとともに、引き続き組織活性化の検討を行います。あわせて、プロパー職員の専門性を高め、職員の資質向上を図ります。							
コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性			当財団の理事及び評議委員の見直しを行った上で、引き続き組織の効率的な運営や地域に根ざした組織作りを目指します。また、プロパー職員の専門性を高め、資質向上を図るためにその育成に取り組めます。							
評価指標の過年度(平成28年度)結果分析			【過年度分析】プロパー職員が、高いモチベーションを維持できる環境づくりの充実に努めています。また、人材は、財団における大きな財産であるとの認識のもと、研修受講できる機会を増やすとともに、積極的な参加を促しています。とりわけ、昨年5月に「(仮称)浜松・浜名湖地域DMO」が日本版DMOの候補法人として観光庁に登録されました。当財団がその受け皿となることから、さらに職員の専門性を高めるため、大正大学地域構想研究所が主催するセミナーへ職員を参加させています。このような取り組みを通じて、職員の一層の意識改革に取り組んでいます。							

4. 3カ年のコミットメント等の総括

外郭団体	3ヶ年のコミットメント取組総括	3ヶ年の総括として、概ね目標を達成することができたのは、地域の関係団体との連携強化を図り、魅力的な商品造成や的確な情報提供に努めた結果と評価しています。 達成できなかったコミットメントのコンベンション「総消費額」については、職員が創意工夫しながら取り組んでいるところであり、引き続き数年先を見越して、大型コンベンションの誘致に向けて積極的に取り組んでいきます。
(所管課) 浜松市		3ヶ年の総括として、目標の達成に向けた着実な取り組みにより、コンベンションの総消費額を除き、各項目において計画を上回る実績を上げたと判断している。達成できなかったコミットメントについては、学校行事等で大型コンベンション開催会場であるアクトシティの稼働率が高いことが要因であり、営業活動にも支障が生じていますが、営業努力は重ねていくようにします。
外郭団体	3ヶ年の経常収支状況総括	一般正味財産増減額について、平成26年度についてはコンベンション助成金準備資産及び組織活性化準備資産を取り崩したことにより▲7,595千円、平成27年度については451千円であった。3ヶ年では▲7,746千円であり、これは特定資産を取り崩したものであり、収支相償を達成しており経営状況は安定していると考えている。

【平成26～28年度】浜松市外郭団体 コミットメント（平成29年3月総括）

1. 団体基本情報（平成29年3月31日現在）

団体名	公益財団法人 浜松市勤労福祉協会		市所管課	産業部 産業総務課	
資本金	110,000 千円	市出資・出捐額 (市出資・出捐率)	50,000 千円 (45.5 %)	設立 年月	昭和63年3月
設立目的 (簡潔に記載)	<ul style="list-style-type: none"> 勤労者の福祉の増進、勤労者の知識及び教養の向上のための事業を実施 浜松市が設置する労働福祉施設の管理運営の実施 				

2. (政策実現のパートナーとして) 市と外郭団体の関わり方

		廃止を検討すべき基準	該当状況
浜松市 (所管課)	外郭団体の必要性検証 (「浜松市外郭団体の設立及び運営に対する関与の基本方針」第5条第1項第1号)	設立目的について「達成した」「達成できないことが確定した」「外部的要因により達成若しくは消滅した」のいずれかに該当する場合は法人の廃止を検討	該当しない
		外郭団体の行う事業の大半の事業と同種又は類似の事業を行う民間法人がある場合は法人の廃止を検討	該当しない
		市から運営費補助、随意契約による委託及び職員派遣を現在行なっておらず、将来もこれらが不要と見込まれる場合は市の関与の廃止を検討	該当しない
	外郭団体に期待する役割	勤労者の福利厚生事業は、中小企業単独では実施が困難であり、大企業との格差を縮小することが求められています。(公財)浜松市勤労福祉協会には、中小企業の福利厚生事業の中核機関として、事業を一層充実し、勤労者の福祉向上を図り、もって地域社会の活性化に寄与するための団体として、将来的にも安定した運営が可能となるように経営の健全化を期待しています。	
外郭団体に求める事業等の目標	市は、勤労者福利厚生事業において、中小企業勤労者の永続的な福祉向上の実現のため、団体に経営の健全化を期待し、以下のことを求めます。 ①平成28年度末までに会員数20,000人を目指す。 ②自立化プランの基本方針に基づく実施計画の推進。		
(外郭団体に期待する役割等に関連する市の計画・政策体系上の位置づけ)	なし		
外郭団体	経常収支状況の過年度実績に関する評価	<p>経常収益486,058千円(前年度:462,834千円)、経常費用485,471千円(前年度:461,127千円)、経常損益(当期経常増減額・経常増減差額)586千円(前年度:1,707千円)、当期純利益(当期一般正味財産増減額、当期活動増減差額)586千円(前年度:1,040千円)</p> <p>昨年度と比較すると通常事業における正味財産は大幅な増加であったが、共済会会員2万人達成事業を記念事業積立基金(3,191千円)を取り崩して実施したため、若干の減額となりました。</p>	
(所管課) 浜松市	コミットメントの過年度実績に関する評価	中小企業勤労者の「永続的な福祉向上の実現に向け」団体の経営健全化が図られているものと評価します。	
(政策法務課)	経営改革方針の必要性	<p>無(“有”の場合、外郭団体は、アクションプランを策定すること)</p> <p>【決算:当期一般正味財産増減額】 (平成27年度)1,040千円、(平成28年度)586千円 喫緊の経営改革の必要性は生じていません。</p>	

外郭団体	理念	勤労者とその家族のための豊かな暮らしを保障する福利厚生の実現を図り、地域社会の活性化を目指します。		
	ビジョン (コミットメント期間において、目指す基本方向)	①勤労者とその家族の福利厚生の実現を図ります。 ②中小企業の振興及び地域社会の発展に寄与していきます。		
	(ビジョンに関連する外郭団体における計画等)	持続的な公益事業の推進を目指した、財務・組織の強化を図るための「自立化プラン」及び「実施計画」		
	コミットメント概要 (外郭団体が策定し、浜松市に約束する内容)	1	財務	勤労者の福祉向上を継続的に推進するため、平成34年度末までに会員数25,000人を達成し、経営の健全化を目指します。
		2	財務 組織	協会の健全経営を目指す「自立化プラン」に基づく、協会の財務・組織の強化を図る「実施計画」を推進します。
		3	-	-

公益…公益的な使命や市民（利用者）目線での達成する目標
財務…外郭団体の財務状況（市からの支出金含む）について達成する目標
組織…組織や業務プロセス改善等について達成する目標
その他…上記以外

3. コミットメント

外郭団体	コミットメント名		評価指標						
	1	財務	勤労者共済会の会員の拡大	浜松市・湖西市勤労者共済会会員数					
概要	勤労者の福祉向上を継続的に推進するため、平成34年度末までに会員数25,000人を達成し、経営の健全化を目指します。		区分	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
			計画	実績	人	17,149	18,156	19,109	20,018
コミットメントを達成するための取組内容及び期限			広報活動の実現により、平成34年度末までに浜松市・湖西市勤労者共済会会員数を25,000人以上にします。						
コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性			自立した経営を目指して会員数の計画的な増強に取り組むことが、浜松地域の勤労者の福祉向上を図り、もって地域社会の活性化に寄与することと考えています。						
評価指標の過年度（平成28年度）結果分析			【過年度分析】 実施計画に基づく会員拡大策により、目標会員数を達成しました。						
外郭団体	コミットメント名		評価指標						
	2	財務 組織	自立化に向けた財務・組織の強化	当期一般正味財産増減額					
概要	協会の健全経営を目指す「自立化プラン」に基づく、協会の財務・組織の強化を図る「実施計画」を推進します。		区分	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
			計画	実績	千円	▲10,180	173	60	1,040
コミットメントを達成するための取組内容及び期限			「自立化プラン」に基づく「実施計画」を推進し、平成28年度は共済事業のアウトソーシング化を拡大していきます。						
コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性			「自立化プラン」に基づく「実施計画」を推進し、持続的な公益事業を推進するための経営基盤の強化を図ります。						
評価指標の過年度（平成28年度）結果分析			【過年度分析】 実施計画に基づく収益事業における収益の拡大並びに事業実施の効率化による経費削減により、決算時黒字を達成しました。						

4. 3カ年のコミットメント等の総括

外郭団体		3ヶ年の総括としてコミットメントは達成され、順調な事業運営であったと評価しています。
(所管課) 浜松市	3ヶ年のコミットメント取組総括	会員の拡大目標を順調に達成するとともに、中小企業の福利厚生事業を充実させ、勤労者の福祉の向上が図られたものと評価します。
外郭団体	3ヶ年の経常収支状況総括	3ヶ年とも決算時黒字を達成しており、経営状況は安定していると考えています。

【平成26～28年度】浜松市外郭団体 コミットメント（平成29年3月総括）

1. 団体基本情報（平成29年3月31日現在）

団体名	公益財団法人 浜松市花みどり振興財団		市所管課	都市整備部 緑政課		
資本金 基本財産	55,000 千円	市出資・出捐額 (市出資・出捐率)	55,000 千円 (100.0 %)	設立 年月	昭和44年10月	
設立目的 (簡潔に記載)	花き類の栽培や展示等の事業を通して、花みどりの普及と情操教育の場の提供に努めるとともに、園芸文化の創造とその情報を発信することにより、浜松市及び浜名湖周辺の地域振興を図る団体として市民・地域の生活に潤いと安らぎを与え、もって地域社会の活性化に資すること。					

2. (政策実現のパートナーとして)市と外郭団体の関わり方

		廃止を検討すべき基準	該当状況
浜松市 (所管課)	外郭団体の必要性検証 (「浜松市外郭団体の設立及び運営に対する関与の基本方針」第5条第1項第1号)	設立目的について「達成した」「達成できないことが確定した」「外部的要因により達成若しくは消滅した」のいずれかに該当する場合は法人の廃止を検討	該当しない
		外郭団体の行う事業の大半の事業と同種又は類似の事業を行う民間法人がある場合は法人の廃止を検討	該当しない
		市から運営費補助、随意契約による委託及び職員派遣を現在行なっておらず、将来もこれらが不要と見込まれる場合は市の関与の廃止を検討	該当しない
	外郭団体に期待する役割	浜松市花みどり振興財団には、館山寺総合公園の指定管理者として、来園者サービスを第一に、いつでも誰もが楽しめ、感動できる、おもてなしの心にあふれる憩いの場の実現に期待しています。	
外郭団体に求める事業等の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度入園者実績を今後も維持する。 ・当初目標である経営の健全化推進と平成28年度から指定管理が更新となったことを新たなスタートとし、以後5年に向けて経営の安定を目指す。 		
(外郭団体に期待する役割等に関連する市の計画・政策体系上の位置づけ)	浜松市緑の基本計画		
外郭団体	経常収支状況の過年度実績に関する評価	<p>経常収益552,426千円（前年度：624,114千円）、経常費用570,511千円（前年度：619,550千円）、経常損益（当期経常増減額・経常増減差額）▲18,084千円（前年度：4,564千円）、当期純利益（当期一般正味財産増減額、当期活動増減差額）▲48,996千円（前年度：20,407千円）</p> <p>28年度は特定費用準備資金に基づく整備事業費16,575千円や、フラワートレイン1台を市へ無償譲渡した経費33,229千円を特別損失として計上したため、計50,000千円程が赤字となりました。</p> <p>なお、翌年度収支については、28年度に発生した上記特殊事情がなくなるため、収支相償となることを見込んでいます。</p>	
(浜松市 所管課)	コミットメントの過年度実績に関する評価	当初計画を大幅に上回る47万人の来客があったこと、桜、チューリップ、フジなどによる美しい花の装飾展示が継続して実施されていること、いずれも評価できます。	
(政策 法務課)	経営改革方針の必要性	<p>無（“有”の場合、外郭団体は、アクションプランを策定すること）</p> <p>【決算：当期一般正味財産増減額】 （平成27年度）20,407千円、（平成28年度）▲48,996千円（収支相償のための平成26年度分収支差益執行とフラワートレインの無償譲渡による特別損失の発生のため） 喫緊の経営改革の必要性は生じていません。</p>	

外 郭 団 体	理念	花き類の栽培展示、栽培技術指導及び優良種苗の生産配布による園芸文化の普及と情操教育の推進に関する事業を推進する。		
	ビジョン (コミットメント期間において、目指す基本方向)	「感動分岐点を超える美しい花の装飾展示」「公園福祉事業等を通じた社会貢献」「浜名湖地域の活性化」に寄与していくことを基本ビジョンに、より多くの市民に安らぎと感動を与える園づくりを実現する。		
	(ビジョンに関連する外郭団体における計画等)	指定管理基本計画書		
	コミットメント概要 (外郭団体が策定し、浜松市に約束する内容)	1	財務	フラワーパーク年間入園者45万人超を目安とした恒常的集客による安定経営の確立(公益法人移行前の入園者水準25~26万人から+20万人程度の入園者の安定的確保)
	2	公益	感動分岐点を超える美しい花の装飾展示(50万球のチューリップ展示等の継続実施)	
	3	-	-	

公益…公益的な使命や市民(利用者)目線での達成する目標

財務…外郭団体の財務状況(市からの支出金含む)について達成する目標

組織…組織や業務プロセス改善等について達成する目標

その他…上記以外

3. コミットメント

		コミットメント名		評価指標						
外郭団体	1	財務	入園者の安定集客	フラワーパークの年間入園者数						
	概要	平成28～32年度の指定管理期間5年間で、公益法人移行前から20万人増の45万人超の安定集客を実現します。		区分	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
				計画	万人	28万人	39万人	77万人	48万人	42万人
				実績		47万人				
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限		<ul style="list-style-type: none"> ・市と連携して園内施設の整備充実等による園のアメニティ機能の向上 ・花の美しさに応じた入園料変動料金制の継続実施によるリピーターの確保 ・「世界一美しい桜とチューリップの庭園」の一層の充実 ・4年後に見頃となる「フジの虹のトンネル」の肥培・植栽管理の実施 							
	コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		<ul style="list-style-type: none"> ・「さらに成長し続ける園」を引き続き具現化するとともに、東京オリンピック開催年であり、また第2期指定管理最終年の平成32年度（パーク開園50周年）に入園者50万人を達成していくため、その布石を打つ計画としました。 							
評価指標の過年度（平成28年度）結果分析		<p>【過年度分析】</p> <p>24年度まで入場実績は低迷していました。25年度以降は入園者は増加し、28年度も当初計画を上回る47万人を達成するなど、V字回復を果たしています。</p>								
外郭団体	2	公益	感動分岐点を超える美しい花の装飾展示	チューリップの展示数量						
	概要	「世界一美しい桜とチューリップの庭園」をさらに定着させるため、50万球のチューリップの継続展示とフジ棚の増設等により、美しさの増殖を行います。		区分	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
				計画	万球	15万球	30万球	50万球	50万球	50万球
				実績		50万球				
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限		<p>1,300本の桜と50万球のチューリップの庭園は全国的にも当園でしか見ることができないものです。チューリップ植栽等には多額の経費を要するが、経営の安定化に努めながら、今後も50万球の庭園を継続実施していくことが必要です。</p>							
	コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		<p>フラワーパーク園づくりの一大コンセプトである「世界一美しい桜とチューリップの庭園」実現のため、圧倒的なボリュームに満ちた庭園創出に取り組んでいます。平成26年度の花博期間だけに終わらせることなく、同程度の展示規模を維持しつつ、来園者に感動を与える園づくり・運営が必要です。</p>							
評価指標の過年度（平成28年度）結果分析		<p>【過年度分析】</p> <p>24年度までは入園者の減少により、「管理費削減→花壇削減→魅力低下と入場者減少」という負のスパイラルを招いていましたが「世界一美しい桜とチューリップの庭園」として園の方向性を明確に定め、圧倒的ボリューム感に満ちた感動空間の創出に努めています。</p>								

4. 3カ年のコミットメント等の総括

外郭団体	3ヶ年のコミットメント取組総括	3ヶ年の総括として、入園者の安定集客及び感動分岐点を超える美しい花の装飾展示（チューリップ50万球の植栽実施）とともに順調に推移していると評価している。
（所管課） 浜松市		3ヶ年の総括として、桜やチューリップ、フジなどの、感動分岐点を超える美しい花の装飾展示が継続して実施されており、45万人超の安定した集客が実現されたと評価している。
外郭団体	3ヶ年の経常収支状況総括	平成26年度は花博開催による来場者の大幅増があり、27年度は「世界一美しい桜とチューリップの庭園」の定着等により当期一般正味財産増減額はそれぞれ120,000千円、20,000千円のプラスとなりました。28年度は特定費用準備資金取崩による臨時整備事業（16,575千円）のほか、フライトレイン1台の市への無償譲渡費33,229千円を特別損失として計上し、約50,000千円のマイナスとなりました。しかし3ヶ年の経営状況は以前に比べ格段に改善したものと考えています。

【平成26～28年度】浜松市外郭団体 コミットメント（平成29年3月総括）

1. 団体基本情報（平成29年3月31日現在）

団体名	一般財団法人 浜松まちづくり公社	市所管課	都市整備部 都市計画課
資本金 基本財産	437,800 千円	市出資・出捐額 (市出資・出捐率)	110,000 千円 (25.1 %)
設立目的 (簡潔に記載)	地域のまちづくりを支援するとともに、都市整備事業の促進及び公共施設等の管理運営を行うことにより、地域の発展に貢献することを目的とする。		
設立年月	昭和37年4月		

2. (政策実現のパートナーとして) 市と外郭団体の関わり方

		廃止を検討すべき基準	該当状況																					
浜松市 (所管課)	外郭団体の必要性検証 (「浜松市外郭団体の設立及び運営に対する関与の基本方針」第5条第1項第1号)	設立目的について「達成した」「達成できないことが確定した」「外部的要因により達成若しくは消滅した」のいずれかに該当する場合は法人の廃止を検討	該当しない																					
		外郭団体の行う事業の大半の事業と同種又は類似の事業を行う民間法人がある場合は法人の廃止を検討	該当しない																					
		市から運営費補助、随意契約による委託及び職員派遣を現在行なっておらず、将来もこれらが不要と見込まれる場合は市の関与の廃止を検討	該当しない																					
	外郭団体に期待する役割	市は、公益目的事業において市民が主体となったまちづくり活動の支援や都市整備に関する調査研究及び普及啓発について、浜松まちづくり公社が市と連携を取り地域の発展に寄与していくことを期待します。																						
外郭団体に求める事業等の目標	①公益目的事業において、市民が主体となって行うまちづくり活動を支援し、地域社会の健全な発展を目指す。 ②既存事業に囚われず、地域住民及び市と連携し新規事業を掘り起こす。																							
(外郭団体に期待する役割等に関連する市の計画・政策体系上の位置づけ)	中心市街地活性化に関する法律に基づき「中心市街地整備推進機構」の指定を受け、浜松市中心市街地活性化協議会の構成員になっている。																							
外郭団体	経常収支状況の過年度実績に関する評価	<p>平成28年度決算見込</p> <table border="0"> <tr><td>経常収益</td><td>537,267千円</td><td>(前年度 465,064千円)</td></tr> <tr><td>経常費用</td><td>466,665千円</td><td>(前年度 403,455千円)</td></tr> <tr><td>当期経常増減額</td><td>70,602千円</td><td>(前年度 61,609千円)</td></tr> <tr><td>経常外収益</td><td>17千円</td><td>(前年度 0千円)</td></tr> <tr><td>経常外費用</td><td>105,735千円</td><td>(前年度 518千円)</td></tr> <tr><td>当期経常外増減額</td><td>105,718千円</td><td>(前年度 518千円)</td></tr> <tr><td>一般正味財産増減額</td><td>▲35,116千円</td><td>(前年度 61,091千円)</td></tr> </table> <p>28年度は経常増減の部では前年度を上回る黒字となりましたが、経常外増減の部で過年度固定資産減価償却修正損を計上したため、一般正味財産は減額となりました。29年度も引き続き、経常増減の部については黒字を見込んでいます。</p>		経常収益	537,267千円	(前年度 465,064千円)	経常費用	466,665千円	(前年度 403,455千円)	当期経常増減額	70,602千円	(前年度 61,609千円)	経常外収益	17千円	(前年度 0千円)	経常外費用	105,735千円	(前年度 518千円)	当期経常外増減額	105,718千円	(前年度 518千円)	一般正味財産増減額	▲35,116千円	(前年度 61,091千円)
経常収益	537,267千円	(前年度 465,064千円)																						
経常費用	466,665千円	(前年度 403,455千円)																						
当期経常増減額	70,602千円	(前年度 61,609千円)																						
経常外収益	17千円	(前年度 0千円)																						
経常外費用	105,735千円	(前年度 518千円)																						
当期経常外増減額	105,718千円	(前年度 518千円)																						
一般正味財産増減額	▲35,116千円	(前年度 61,091千円)																						
(浜松市 所管課)	コミットメントの過年度実績に関する評価	公益目的事業におけるまちづくり活動の支援において「まちづくり活動助成制度」の導入やまちづくり団体の活動支援などにより、市民主体となった活動助成や都市整備に対する普及啓発に寄与しています。新規組合施行土地区画整理事業の立ち上げについては、対象地域住民への事業に対する説明会で理解度を高め、市との連携や意見交換を重ねることにより、権利者の同意を一層高めることを期待します。																						
(政策法務課)	経営改革方針の必要性	無（“有”の場合、外郭団体は、アクションプランを策定すること） 【決算：当期一般正味財産増減額】 (平成27年度) 61,092千円、(平成28年度) ▲35,116千円（過年度固定資産減価償却修正損を計上したための赤字） 喫緊の経営改革の必要性は生じていません。																						

外 郭 団 体	理念	地域のまちづくりを支援するとともに、都市整備事業の促進及び公共施設等の管理運営を行うことにより、地域の発展に貢献する。		
	ビジョン (コミットメント期間において、目指す基本方向)	公益目的支出計画を確実に遂行しながら、一方で新規事業の開拓に尽力、獲得し、公社全体でも非営利型一般財団法人として毎年度収支相償を目指す。		
	(ビジョンに関連する外郭団体における計画等)	公益目的支出計画		
	コミットメント概要 (外郭団体が策定し、浜松市に約束する内容)	1	公益	公益目的支出計画上の実施事業である「まちづくり事業（まちづくり活動の相談窓口の設置等）」を充実させ、地域社会の健全な発展に貢献します。
	2	その他	主力事業である組合施行土地区画整理事業のうち、地元からの要望が強い新たな地区について支援し、区画整理組合の立ち上げを目指します。	
	3	-	-	

公益…公益的な使命や市民（利用者）目線での達成する目標

財務…外郭団体の財務状況（市からの支出金含む）について達成する目標

組織…組織や業務プロセス改善等について達成する目標

その他…上記以外

3. コミットメント

コミットメント名			評価指標							
外郭団体	1	公益	まちづくり事業の充実	まちづくり事業への充当額						
	概要	公益目的支出計画上の実施事業である「まちづくり事業(まちづくり活動の相談窓口の設置等)」を充実させ、地域社会の健全な発展に貢献します。		区分	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
				計画	千円	30,882	30,400	31,676	33,797	30,000
				実績						34,476
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限			一般財団法人認可時の公益目的支出計画に従い、公益目的であるまちづくり事業を平成68年度までの44年間、継続的に実施します。						
	コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性			一般財団法人移行に伴い、静岡県に認可された公益目的支出計画に基づき実施することが必要です。						
評価指標の過年度（平成28年度）結果分析			【過年度分析】平成28年度までについては、順調に推移していると考えます。							
コミットメント名			評価指標							
外郭団体	2	その他	新規組合施行土地区画整理事業の立ち上げ	平成31年度設立を100%とした場合の進捗率 (平成31年度に事業設立)						
	概要	主力事業である組合施行土地区画整理事業のうち、地元からの要望が強い新たな地区について支援し、区画整理組合の立ち上げを目指します。		区分	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
				計画	%	10	20	40	50	60
				実績						60
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限			<p>地元関係者及び浜松市と意見交換を重ね、事業の必要性を説明するとともに、事業認可手続きを進め、平成31年度中に新たな区画整理組合の設立を目指します。 (進捗率の説明) 平成26年度:住民アンケートを行い区域決定で40% 平成27年度:事業実施に対する権利者の同意を得られれば60% 平成28年度:権利者の同意により浜松市に対し技術的援助申請を行えば60% 平成29年度:関係機関及び都市計画決定の変更協議を行い概ね合意を得られれば70% 平成30年度:設立認可申請書を作成して80% 平成31年度:権利者の90%以上の同意を得て事業認可申請を行い、組合が設立されれば100%</p>						
	コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性			新規組合区画整理事業は、平成30年度以降の主力事業となりうるものです。現在調査研究を行っている数か所の候補地のうち、(仮)浜北中央北地区については組合設立に向け、動きを加速させ、実現化に向け動いています。						
評価指標の過年度（平成28年度）結果分析			【過年度分析】平成28年度までについては、順調に進捗していると考えます。							

4. 3カ年のコミットメント等の総括

外郭 団体		3ヶ年の総括として、「まちづくり事業の充実」に関しては、毎年30,000千円以上の充当を継続できており、順調であると考えます。「新規組合施行土地区画整理事業の立ち上げ」に関しても、3ヶ年については順調に進捗したであろうと評価しています。
(浜松 市 所管課)	3ヶ年のコミットメント取組総括	3ヶ年の総括として、「まちづくり事業の充実」に関しては、まちづくり団体の活動支援、また、市民主体となったまちづくりへの活動助成等、毎年30,000千円以上の充当を継続できており、順調に進捗したであろうと評価しています。「新規組合施行土地区画整理事業の立ち上げ」に関しても、事業実施に向けて慎重を期し、当初の計画を見直す中で順調に進捗したであろうと評価しています。
外郭 団体	3ヶ年の経常収支状況総括	平成26年度は経常増減額として26,959千円、平成27年度は経常増減額として61,609千円、平成28年度も経常増減額としては70,602千円を計上しました。3ヶ年、経常増減の部は大幅な黒字であり、経営状況は安定していると考えています。

【平成26～28年度】浜松市外郭団体 コミットメント（平成29年3月総括）

1. 団体基本情報（平成29年3月31日現在）

団体名	株式会社 なゆた浜北	市所管課	産業部 産業振興課
資本金	250,000 千円	市出資・出捐額 (市出資・出捐率)	195,000 千円 (78.0 %)
設立目的 (簡潔に記載)	遠州鉄道浜北駅前再開発ビル並びにその付帯設備の管理運営、不動産賃貸事業他		
		設立年月	平成11年11月

2. (政策実現のパートナーとして) 市と外郭団体の関わり方

		廃止を検討すべき基準	該当状況
浜松市 (所管課)	外郭団体の必要性検証 (「浜松市外郭団体の設立及び運営に対する関与の基本方針」第5条第1項第1号)	設立目的について「達成した」「達成できないことが確定した」「外部的要因により達成若しくは消滅した」のいずれかに該当する場合は法人の廃止を検討	該当しない
		外郭団体の行う事業の大半の事業と同種又は類似の事業を行う民間法人がある場合は法人の廃止を検討	該当しない
		市から運営費補助、随意契約による委託及び職員派遣を現在行なっておらず、将来もこれらが不要と見込まれる場合は市の関与の廃止を検討	該当しない
	外郭団体に期待する役割	副都心の拠点としてのにぎわい創出	
外郭団体に求める事業等の目標	平成31年度における都市開発資金の一括返済		
(外郭団体に期待する役割等に関連する市の計画・政策体系上の位置づけ)	浜松市商業集積ガイドラインにおいて広域集客ゾーンに位置づけています。		
外郭団体	経常収支状況の過年度実績に関する評価	経常収益147,881千円(前年度243,700千円)経常費用141,118千円(前年度220,595千円)経常利益6,763千円(前年度23,104千円)当期純利益4,473千円(前年度15,418千円)の黒字でした。前年度と比較しますと、前年度は指定管理業務があり、118,471千円の収入がありましたが今年度はゼロとなりました。これが大きな減収となりました。浜北区役所の移転により区役所専有部、なゆた・ホール、駐車場の管理業務を受託し管理受託収入は90,084千円となり前年比145.8%となりました。テナント賃貸事業では今年度1店舗が廃業したため2店舗の空室となり、店舗年間稼働率は92.4%となりました。テナント賃貸収入は33,269千円(前年度38,755千円)となりました。	
(浜松市 所管課)	コミットメントの過年度実績に関する評価	指定管理業務の終了、テナント2店舗の空室等により収入は減少しましたが、浜北区役所の移転により管理受託収入が増加したことにより、利益は減少したものの黒字は維持し、内部留保の確保に一定の成果が見られました。	
(政策法務課)	経営改革方針の必要性	無(“有”の場合、外郭団体は、アクションプランを策定すること) 【決算：当期純利益】 (平成27年度)15,418千円、(平成28年度)4,473千円 喫緊の経営改革の必要性は生じていません。	

外 郭 団 体	理念	我が社は「ありがとうの心」と「チャレンジの精神」をもって社業を推進し、社会（地域）に貢献する起業を目指す。	
	ビジョン （コミットメント期間において、目指す基本方向）	無借金会社への早期実現と所有資産の価値を高め、最高の商品（店舗・貸室等）を提供して適正な利益を確保する。	
	（ビジョンに関連する外郭団体における計画等）	<ul style="list-style-type: none"> ・店舗での設備更新の推進（空調設備、電気メーター等の更新） ・平成31年度 都市開発資金借入金の完済を目指す ・店舗入居率90%の確保 	
	コミットメント概要 （外郭団体が策定し、浜松市に約束する内容）	1	公益
	2	財務	店舗年間稼働率の向上
	3		

公益…公益的な使命や市民（利用者）目線での達成する目標

財務…外郭団体の財務状況（市からの支出金含む）について達成する目標

組織…組織や業務プロセス改善等について達成する目標

その他…上記以外

3. コミットメント

		コミットメント名	評価指標							
外 郭 団 体	1	組織	指定管理における貸施設稼働率の向上	貸施設の稼働率						
	概要	積極的な営業活動により、貸施設の稼働率の向上を図ります。		区分	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
				計画	%	58.9	62.0	58.5	57.4	-
				実績						-
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限		平成27年度末で指定管理者制度導入施設でなくなったことから、平成28年度は「-」としています。							
	コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		経営効率化に向けた収入増加のため							
評価指標の過年度（平成28年度）結果分析		【過年度分析】 —								
		コミットメント名	評価指標							
外 郭 団 体	2	組織	店舗年間稼働率の向上	店舗年間稼働率						
	概要	資産価値向上のための設備更新を計画的に行うことにより、入居率100%、年間稼働率97%を維持します。		区分	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
				計画	%	97.8	98.2	100.0	98.5	97.0
				実績						92.4
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限		平成28年度に、施設全体の大規模修繕(屋根・外壁・塗装)を早期に実施し、リニューアル化を図ります。							
	コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		経営効率化に向けた収入増加のため							
評価指標の過年度（平成28年度）結果分析		【過年度分析】昨年度に1店舗、今年度に1店舗の計2店舗が空室となりました。2店舗とも飲食業で、なゆた・浜北オープン時のままの店舗で独特な店構えをしており面積も大きいため、入居者が決まりませんでした。飲食業に絞らず、あらゆる業種で入居者を募集し、早期に埋めたいと営業活動をしています。								
		コミットメント名	評価指標							
外 郭 団 体	3	財務	委託費の削減	管理委託費						
	概要	管理委託費の検証及び委託先の検討により、委託費を削減します。		区分	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
				計画	千円	73,990	69,834	72,979	73,679	66,144
				実績						68,468
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限		委託業務内容の見直しと自社での振替を行います。							
	コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		経営効率化に向けた経費削減のため							
評価指標の過年度（平成28年度）結果分析		【過年度分析】指定管理業務がなくなり、大幅な経費削減になりましたが、新たに区役所移転により臨時駐車場の委託業務が発生したため、計画を上回る結果となりました。								

4. 3カ年のコミットメント等の総括

外郭団体		平成26年度より指定管理施設の休館日が週1日から月1日に変更となり開館日数が年間39日増加しました。この影響で指定管理施設の稼働率の低下や委託経費が増額となりました。テナントの稼働率は90%を超えほぼ空室がない状況でありコミットメントは達成できたと考えています。今後も早期に100%の入居になるように努めていきます。
(所管課) 浜松市	3ヶ年のコミットメント取組総括	3ヶ年の総括として順調に内部留保の増大を達成し、健全な経営であったと評価しています。 指定管理業務の終了等、状況が大きく変化する中で、管理受託は安定的な収入になるものの、テナント収入により利益幅が大きく左右されることから、店舗年間稼働率の向上を最優先課題として取り組みます。
外郭団体	3ヶ年の経常収支状況総括	純利益が平成26年度7,621千円、平成27年度15,418千円、平成28年度4,473千円でした。26年度、27年度は経費削減に努め順調に利益を確保することができました。28年度は指定管理業務がなくなり、純利益は減少しましたが、所定の利益を確保することができ、経営は安定していると考えています。